

石見銀山近代史料集

要書録(二)

第二集

石見銀山近代史料集第二集

要書録(二)

例言

一、島根県教育委員会・大田市教育委員会は石見銀山遺跡総合調査研究事業の一環として石見銀山の近代開発の歴史について調査研究を行っている。本史料集は石見銀山の近代史を解明する上で基本となる史料を翻刻・刊行するものである。

一、本書では、第一集に続き上野家（下博多屋）所蔵の「要書録」を所載した。

一、「要書録」は、藤田組（現DOWAホールディングス株式会社）が明治期に石見銀山を開発するにあたり官公署宛てに提出した文書の控えである。藤田組による開発の初期段階の実情をよく示しており石見銀山の近代史を研究する上で史料的价值が高いものである。

一、「要書録」は、上野家文書13-4（明治十九年九月～同二十二年一月）と同13-6（明治二十二年一月～同二十四年十二月）の二冊が伝存している。（以下、前者を「史料1」、後者を「史料2」とする）

一、第二集では「史料1」の後半部分（No.277～407）と「史料2」の前半部分（No.408～534）を掲載した。

一、史料は縦帳で、「史料1」は、縦二四・〇センチ、横一六・五センチ、厚さ六・〇センチ、「史料2」は、縦二四・八センチ、横一七・三センチ、厚さ三・五センチで、両者とも表紙に表題と書類の連続期間が記載されている。

一、料紙には「藤田組」（「史料1」のみ）、「藤田組大森鉦山所」の罫紙が主に用いられているほか、部分的に「藤田組大森鉦山所便箋」が使用されている。また図面類には無地の白紙に記載されているものもある。

一、本書の刊行にあたり史料所蔵者の上野寛司氏、史料寄託機関の石見銀山資料館の協力を得た。記して感謝する。

一、本書の編集に際し撮影した写真類、解説文その他関係資料等は島根県教育委員会にて保管している。

一、本書掲載部分の翻刻作業は以下の体制で輪読形式で行った。（所属・職名は作業当時のもの）

島根県教育庁文化財課世界遺産室

熱田貴保（主席研究員）、大庭俊次（同）、東山信治（専門研究員）、矢野健太郎（同）、小杉紗友美（嘱託）、小川斉子（同）

大田市教育委員会石見銀山課

山手貴生（主任技師）、渡邊良介（主事）、西尾克己（嘱託）、

新川 隆（同）、尾村 勝（同）

なお輪読会は平成二十六年九月三十日から隔週で開催した。

一、本書の編集は矢野、小川の協力を得て熱田が行った。

掲載した史料には、個人の名前と明治時代の戸籍に記されていた族籍名である平民・士族という現代には存在しない身分呼称が頻出する。本史料は鉦業活動に伴い作成された文書の写しであり、本書の性格上、歴史的事実を正確に伝えることが必要であると考えことから原文のまま掲載した。史料の利用にあたっては個人及び関係者の人権を保護することを念頭に適切な配慮をもっていただきたい。

凡例

で区別して注記した。

A 「藤田組大森鉦山所割印」

B 「藤田組大森鉦山事務所割印」

C 「大森鉦山藤田組出張所割印」

- 一、漢字は原則として新字体を使用し、人名は旧字体のままとした。
- 一、異体字・俗字・略字・合字のうち、メ（しめ）、扣（ひかえ）・并（ならびに）・ム（より）・ㇿ（こと）・ㇿ（とも）・ㇿ（とき）についてはそのままとした。

- 一、文字の配列は原文をできるだけ尊重したが、編集の都合上、適宜体裁を整えた。

- 一、繰り返し記号については、漢字は「々」、平仮名は「ゝ」、片仮名は「ゝ」を用いた。

- 一、本文には適宜読点（、）や並列点（・）を加えた。

- 一、史料中の個々の文書には、第一集から続く通し番号を付けた。
- 一、翻刻文のいくつかの語句に注を付け簡単な解説を文末に掲載した。
- 一、参考として石見銀山遺跡の位置図と明治二十二年の町村制施行前後の邇摩郡・安濃郡の村配置図を掲載した。

- 一、文章が通じない部分には（ママ）、文字が重複する場合は（衍）と注記した。誤字や脱字が明らかな場合は正しい字を（ ）内に記した。

- 一、朱書については、その部分を「 」で囲むかまたは文末に注記した。貼紙や付箋は「 」で囲んで右肩に（貼紙）、（付箋）と注記した。

- 一、史料中の（ ）はそのままとし、「」は『』に置き換えた。

- 一、史料の抹消部分については二重線で見え消しとし、判読できない場合は□□とした。訂正された文字は該当部分の右側にポイントを下げて表記した。ただし左側に訂正文字が書かれている場合は原文通りとした。なお内容的に必要なと判断された場合は訂正部分をそのまま本文とした。

- 一、印紙貼用と割印が手書きされている箇所については、割印の朱書・墨書の区別は省略した。

- 一、文書の表題付近に朱の丸印が押されたものがあるが、翻刻では割愛した。

- 一、罫紙の欄外に押された割り印には、印面の字配りから三種類が使われていたと推定された。翻刻では文書の後に左記のアルファベット

目次

例言	i
凡例	ii
図1 石見銀山遺跡の位置	viii
図2 明治二十二年町村制施行前後の邇摩郡・安濃郡	ix
要書録(一)	
277 寄留取消御届	1
278 入籍御届	1
279 鉱業用火薬類買入願	1
280 御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	1
281 印鑑証明願	2
282 地所登記済証下付願	2
283 地所譲渡二付登記願	3
284 地所譲渡証	3
285 地所譲渡二付登記願	4
286 地処譲渡証	4
287 御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	4
288 御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	5
289 印鑑証明願	5
290 地処登記済証下付願	5
291 印鑑証明願	6
292 地券書換願	6
293 地券書換願	7
294 御届(火薬類買入許可願にかかる代理につき)	7
295 副申(火薬運搬許可証返納につき)	7
296 地所譲渡二付登記願	7
297 地所譲渡証	7
298 御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	8
299 地所登記済証下付願	8
300 地所譲渡二付登記願	9
301 地所譲渡証	9
302 御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	9
303 地所登記済証下付願	9
304 地所譲渡二付登記願	10
305 御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	10
306 地所登記済証下付願	10
307 地所譲渡二付登記願	11
308 地所譲渡証	11
309 御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	12
310 地所登記済証下付願	12
311 印鑑証明願	13
312 委任状	13
313 地券書換願	13
314 地券書換願	14
315 地券書換願	14
316 御届(大原順之助帰山により代理解任につき)	14
317 副申(火薬運搬許可証還納につき)	15
318 「建築届」	15
319 地券書換願	16
320 地券書換願	16

347	地券書換願	25
346	地券書換願	25
345	〔回答〕(鉱山事務所使役人にかかる御照会につき)	24
344	鉱業調	24
343	〔添状〕(調書進達につき)	24
342	〔回答〕(鉱業用車製造方法等につき)	23
341	〔添状〕(第三回内国勸業博覧会出品調書進達につき)	23
340	第三回内国勸業博覧会出品取調書	23
339	御答(雷管の運搬許可証無之理由御尋問につき)	22
338	御届(火薬買入のため出頭代理につき)	22
337	〔回報〕(電報発受信数照会につき)	22
336	副申(五月十二日付の残量火薬運搬許可証還納につき)	22
335	〔書簡〕(藤田浅太郎負傷事件の御取調時間照会につき)	21
334	地処開墾願	21
333	開申(火薬運搬許可証の記載内容にかかる御尋問につき)	21
332	副申(火薬運搬許可証還納につき)	21
331	地所開墾願	20
330	自用車鑑札御下附并御検印願	20
329	地目変換実測図帳	20
328	地目変換届	19
327	自用車鑑札御下附并御検印願	19
326	地目変換実測図帳上書	19
325	地目変換届	18
324	御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき)	18
323	官地御払下願	17
322	証明書(加藤医師、負傷者医察のため他出成り難きにつき)	17
321	〔概況報告〕(本年一月より三月に至る)	17

374	地券書換願	26
349	転籍御届	26
350	鉱業用火薬類買入願	27
351	地目変換届	27
352	野取実測絵図面帳	28
353	転籍御届	29
354	建築届	30
355	明治廿一年自四月至八月鉱業概況報告	30
356	地処開墾願	31
357	鉱業用火薬買入願	31
358	委任状之事	32
359	委任状之事	32
360	委任状之事	32
361	委任状之事	32
362	委任状之事	33
363	委任状之事	33
364	印鑑証明願	33
365	地所譲与二付登記願	34
366	地処登記済証下附願	34
367	地所譲与二付登記願	35
368	地所開墾願	35
369	地券書換願	35
370	副申(火薬運搬許可証還納につき)	36
371	副申(官有地払下願にかかる図面訂正につき)	37
372	委任状之事	37
373	委任状ノ事	37
374	建物譲渡証書	38

375	〔建物譲渡証書にかかる図面〕	38
376	建物登記済下付願	39
377	御証明願（登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき）	39
378	〔建物譲渡登記にかかる図面〕	39
379	建物譲与二付登記願	40
380	鉱業用火薬類買入願	40
381	家屋解払届	41
382	副申（火薬運搬免許証還納につき）	41
383	死亡御届	41
384	保証証書	42
385	副申（火薬運搬許可証還納につき）	42
386	証（事業上借用につき）	42
387	建物届（新築・増築等につき）	43
388	御届（屋敷番号公称すべき告示につき）	45
389	鉱業用火薬類買入願	45
390	御証明願（登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき）	45
391	別紙図面（登記法第四〇条の証明願につき）	46
392	地処登記済証下付願	47
393	地所売買二付登記願	48
394	地券書換願	48
395	〔証明書〕（加藤医師、重症患者の治療のため他出成り難きにつき）	49
396	角力興行之義二付御届	49
397	鉱業用火薬買入願	49
398	御届（本谷工場で爆発物破裂のため負傷者あるにつき）	49
399	御払下地御引渡二付請書	50
400	副申（火薬運搬許可証返納につき）	50
401	記（事業上借用につき）	50
402	〔請書〕（火薬取扱方取締御注意につき）	50
403	副申（火薬運搬許可証返納につき）	51
404	証（事業上借用につき）	51
405	委任状	51
406	御届（事務所の移転及び大森鉱山藤田組出張所と改称につき）	52
407	追伸（火薬取扱人名届けにつき）	52
408	御届（事務所の移転及び大森鉱山藤田組出張所と改称につき）	53
409	追伸（火薬取扱人名届けにつき）	53
410	〔自廿一年九月至全十二月鉱業概況報告〕	53
411	御払下地賦税御検査願	54
412	〔図面〕（払下地賦税検査願につき）	54
413	代理人御届	55
414	建築届（開坑役処、坑夫上り小屋につき）	55
415	建築届（坑夫飯場につき）	56
416	委任状之事	56
417	御証明願（登記法第四〇条に基づき所有者たることにつき）	56
418	地所譲渡二付登記願	57
419	地所譲渡証	57
420	地処登記済証下付願	58
421	地処証明願	59
422	副書（官署名誤記のまま御受理願につき）	59
423	地処変更登記願	60
424	地処変更登記願	60
425	登記謄本下渡願	60
426	証（預金受取につき）	61
427	荒地起返地位御検査願	61
428	右絵図面写（荒地起返地検査願につき）	61

429	〔届〕(第三回内国勸業博覧会出品品名につき)……………	62
430	地券書換願……………	62
431	鉱業用火薬類買入願……………	63
432	廃乗馬届……………	63
433	〔図面〕(荒地起返地検査願につき)……………	63
434	御届(大原順之助上阪不在中の代理につき)……………	64
435	運搬許可証還納届……………	65
436	〔報告〕(統計調査につき)……………	65
437	証(鉱業上使用金の借用につき)……………	65
438	〔記〕(山神社修繕金の寄付につき)……………	66
439	証(鉱業上使用金の借用につき)……………	66
440	証(鉱業上使用金の借用につき)……………	66
441	副申(鉱業用火薬類買入願の至急許可取計い願につき)……………	66
442	鉱業用火薬類買入願……………	67
443	死亡届……………	67
444	上申書(本谷部ダイナマイト爆発につき)……………	67
445	上申書(本谷部ダイナマイト爆発の現況につき)……………	68
446	御届(大原順之助帰山により代理解任につき)……………	68
447	村道変更願……………	68
448	〔図面〕(村道変更願につき)……………	69
449	明治村大字大国土森村迄村道之内変更目論見書……………	70
450	明治村大字大国土森村迄村道之内潰地取調書……………	70
451	明治村大字大国土森村迄村道之内潰地絵図面……………	71
452	証(鉱業上必要金の借用につき)……………	73
453	運搬許可証還納届……………	73
454	証(鉱業上必要金の借用につき)……………	73
455	証(鉱業上使用金の借用につき)……………	73
456	石見国邇摩郡明治村地内大国土森村迄村道之内変更落成届……………	74
457	地種組替願……………	74
458	明治村大字大国土森村迄村道之内変更道路敷地絵図面……………	74
459	潰地野取絵図……………	75
460	道路敷地御下渡願……………	77
461	明治村大字大国土森村迄村道之内変更道路旧道敷地絵図面……………	77
462	回答(村費未納雇人につき)……………	78
463	原籍異動御届……………	78
464	第三回内国勸業博覧会出品願……………	78
465	第三回内国勸業博覧会出品願……………	79
466	鉱業用火薬類買入願……………	79
467	運搬許可証還納届……………	80
468	鉱業用火薬類買入願……………	80
469	大森鉱山坑内諸職夫労働時間表……………	80
470	大森鉱山鉱業夫負傷一覽表……………	80
471	大森鉱山鉱業夫新旧稼方難易比較調并二実況図……………	81
472	出品申出書……………	82
473	〔添状〕(衛生品展覧会出品申出につき)……………	83
474	委任状……………	83
475	〔書簡〕(委任状の調印につき)……………	83
476	〔答申〕(第三回内国勸業博覧会出品取調につき)……………	84
477	〔答申〕(銀銅輸出高、白炭輸入高につき)……………	84
478	〔願〕(衛生品展覧会出品の一部取下げにつき)……………	84
479	〔副申〕(衛生品展覧会出品の一部取下げにつき)……………	85
480	運搬許可証還納届……………	85
481	第三回内国勸業博覧会出品追加願……………	85
482	鉱業用火薬買入願……………	85

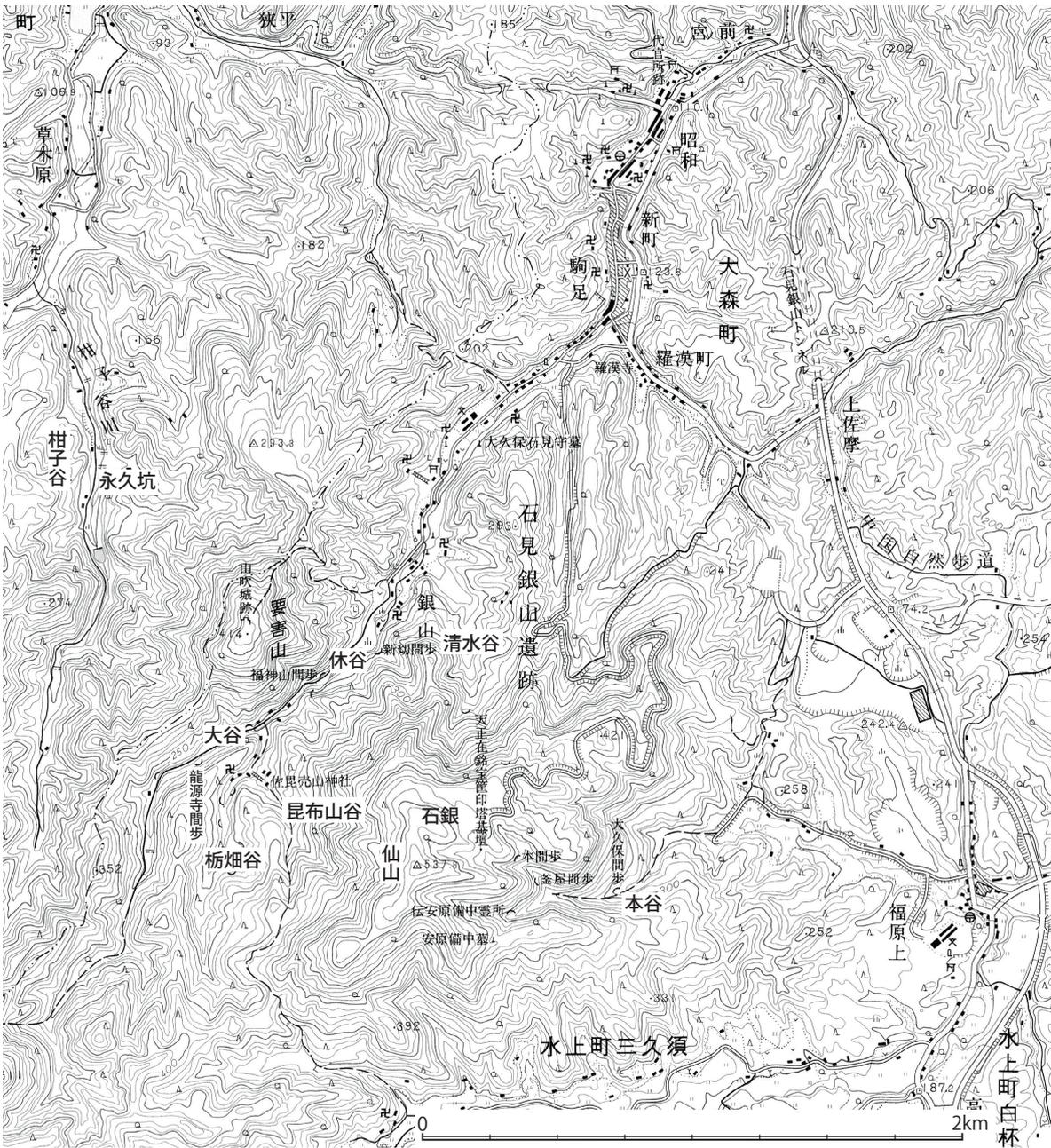
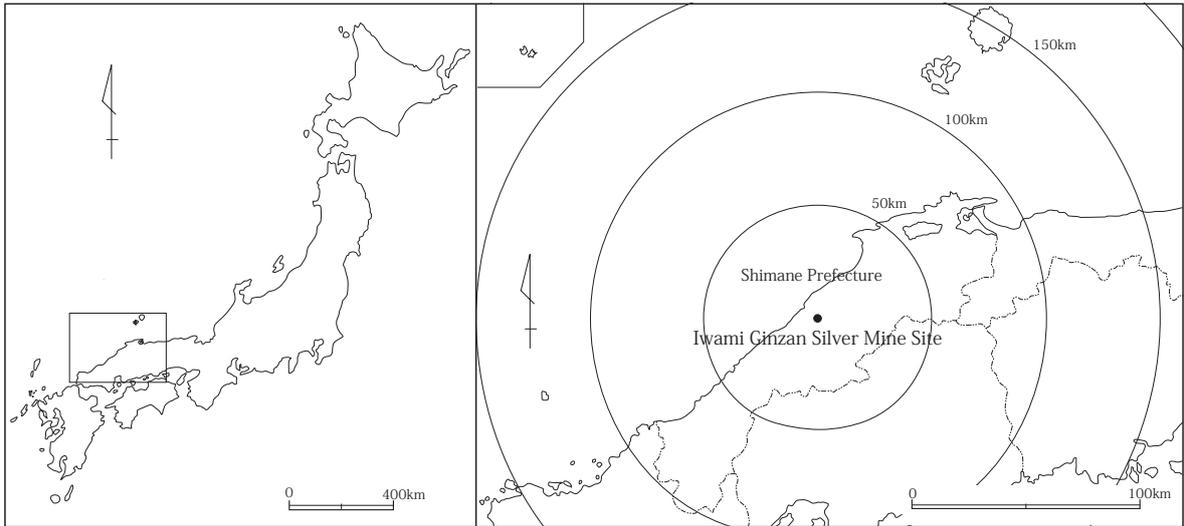


図1 石見銀山遺跡の位置

要書錄(二)

277 寄留取消御届

私義是迄邇摩郡佐摩村百八十九番地三宅丈一郎方へ寄留罷在候処、今般当地へ入籍致候二付寄留御取消被下度、此段御届仕候也

佐摩村百三十八番屋敷平民

明治廿一年二月八日

谷川千代松

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

278 入籍御届

邇摩郡佐摩村百三十八番屋敷

谷川千代松

安政貳年五月七日生

妻 チカ

文久貳年閏八月廿六日生

右之者東京府芝区西久保巴町廿八番屋敷平民谷川寿三郎伯父之処、今般分家入籍致候間、此段御届仕候也

明治廿一年二月八日

右

谷川千代松

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

279 鉱業用火薬類買入願

一、タイナマイト和量三拾貫目

一、雷管千五百発

右八借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、栃畑谷、出シ辻谷、仙之山、石銀山及大谷龍源寺通洞、当郡大國村字柑子谷永久通洞等各坑内開鑿場へ支用之為メ、大阪府東区高麗橋壺丁目榎南勇太郎方ヨリ買入之上拙者所有之火薬庫へ貯藏其時々支用可致候間、免手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

全郡全村百九十番屋敷寄留

兵庫県土族 大原順之助代

全郡全村百三十八番屋敷

平民 谷川千代松

明治廿一年三月廿六日

鳴根県大田警察署御中

280 御証明願

邇摩郡佐摩村ホ三百八拾九番

字隠居ノ上工

一、山反別四畝歩

地価金貳錢五厘

地租金壹厘

同郡同村ホ三百八拾五番

字虎岸寺ノ上工

一、山反別壹畝廿四歩

地価金壹錢壹厘

地租金厘位未滿

同郡同村ホ三百八拾六番
字中曾根

一、山反別三反歩

地価金貳拾四錢^九匣

地租金六厘

同郡同村ホ百五十八番

字神楽山

一、荒地壹畝貳拾七歩

同郡同村ニ貳百七拾番

字昆布山谷

一、荒地四畝廿四歩八合

右之地所今般大坂府東区今橋貳丁目藤田組頭取藤田傳三郎^{○及右物件ニ故障ナキ}へ讓渡候ニ付
登記願出度候間、登記法第四十条ニ依り所有者タル^一。御証明被成下度、
此段相願候也

和歌山県紀伊国海部

郡湊村当時邇摩郡佐

摩村

鈴木正吉

廿一年三月
佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿 同文貳通

281 印鑑証明願

印鑑 石見国邇摩郡佐摩村
鈴木正吉

右印鑑御証明被成下度、此段奉願候也

廿一年三月廿二日

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

同文三通

282 地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村ホ三百八拾九番

字隠居ノ上工

一、山反別四畝

地価金貳錢五厘

同郡同村ホ三百八拾五番

字虎岸寺ノ上工

一、山反別壹畝廿四歩

地価金壹錢壹厘

同郡同村ホ三百八拾六番

字中曾根

一、山反別三反歩

地価金貳拾四錢九厘

同郡同村ホ百五十八番

字神楽山

一、荒地反別壹畝貳拾七歩

同郡同村ニ貳百七拾番

字昆布山谷

一、荒地反別四畝廿四歩八合

邇摩郡佐摩村
和歌山県士族

鈴木正吉

右之地所今般和歌山県紀伊国海部郡湊村千式百拾番地鈴木正吉ノ讓受候
ニ付地券書換願出致候間、登記済ノ証御下付被下度、此段奉願候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村式百番屋敷ノ一

寄留

北林兼司

廿一年三月

283

当時嶋根県石見国邇摩郡佐

摩村百九拾壹番地寄留

和歌山県土族

鈴木正吉

地所讓渡ニ付登記願

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

当時石見国邇摩郡佐摩

村百五拾式番地寄留

秋田県土族

北林兼司

此相当時価五円也

此手数料 五錢

284

地所讓渡証

邇摩郡佐摩村ホ三百八拾九番

字隠居ノ上工

一、山反別四畝歩

地価金式錢五厘

全郡全村ホ三百八拾五番

字虎岸寺ノ上工

一、山反別壹畝廿四歩

地価金壹錢壹厘

同郡同村ホ三百八拾六番

字中曾根

一、山反別三反歩

地価金式拾四錢九厘

同郡同村ホ百五拾八番

字神樂山

一、荒地反別壹畝式拾七歩

同郡同村ニ式百七拾番

字昆布山谷

一、荒地反別四畝式拾四歩八合

右之地所拙者所有地ニ御座候處、今般双方熟議ノ上無代価讓渡候處実正也、然ル上ハ自今貴殿自由ニ所持可被成候、就テハ向後該地ニ係ル稅租ハ都テ貴殿ノ御上納可被成候、且ツ又右地所是迄ニ書入質入其他ノ義ニ付故障ケ間敷事更ニ無之、万一異議申者有之候節ハ拙者引受取捌毫モ貴殿へ御迷惑筋相掛申間敷候、依テ地所讓渡証一札相渡申候處如件

紀伊国海部郡湊村

廿一年三月

鈴木正吉

大坂府東区今橋式丁目
藤田組頭取
藤田傳三郎殿

襦 285

福岡県筑前国博多中
嶋町六拾式番地

平民

橋本小市代理

嶋根県石見国邇摩郡

佐摩村百九十番地

平民

須田浅市

地所讓渡二付禁^登記願

大坂府下東区今橋式丁目壹番地

藤田傳三郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐

摩村百五拾式番地寄留

平民

北林兼司

此相当時価三円也

此手数料金五銭

286 地処讓渡証

邇摩郡佐摩村二式百式十七番
字岩屋堂

一、市街荒地地式拾三步七厘

右之地処拙者処有地ニ御座候処、今般双方熟議^之上無代価讓渡候処実正也、然ル上ハ自今貴殿自由ニ所持可相成候、就テハ向後該地ニ係ル税租ハ都ヘテ貴殿ヨリ御上納可相成候、且又右地所是迄他ニ書入質入其他之儀故障ケ間敷事更ニ無之、万一異儀申者有之候節ハ拙者引受取捌毫モ貴殿ヘ御迷^被惑相掛ケ申間敷、依而地所讓渡証一^〇札相渡申処如件

福岡県筑前国博多中嶋町

六拾二番地平民 橋本小市代理

代理

邇摩郡佐摩村百五十九番

地屋敷平民

須田浅市

明治廿一年

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎殿

287 御証明願

邇摩郡佐摩村二式百式十七番

字岩屋堂

一、市街荒地地式拾三步七厘

右之地処今般大坂府東区今橋式丁目藤田傳三郎讓渡候ニ付登記願出度候^登間、^〇記法第四十条ニ依リ所有者タル^〇。及右物件ニ故障ナキ^一御証明被下度、此段相願候也

福岡県筑前国博多中
嶋町六拾貳番地

平民橋本小市代理

石見国邇摩郡佐摩村

百五拾九番地平民

須田浅市

明治廿一年

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光壽殿

288 御証明願

邇摩郡佐摩村貳貳百貳十七番

字岩屋堂

一、市街荒地地貳拾三步七厘

右之地処今般大坂府東区今橋式丁目藤田傳三郎讓渡候二付登記願出度候
間、登祭記法第四十条ニ依リ所有者タルヲ。○及右物件ニ故障ナキ御証明被下度、此段相願候也

福岡県筑前国博多中島

町六拾貳番地平民

橋本小市代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九拾番地平民

須田浅市

明治廿一年

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光壽殿

289 印鑑証明願

福岡県筑前国博多中島

印鑑 町六十貳番地

橋本小市

右印鑑御証明被成下度奉願候也

明治廿一年二月

福岡県筑前国博多中島

町六拾貳番地平民

橋本小市

福岡区長

山中立木殿

右印鑑相違無之候也

明治廿一年二月十八日 福岡区長山中立木

290 地処登記済証下附願

邇摩郡佐摩村貳百貳拾七番

字岩屋堂

一、市街荒地地貳拾三步七厘

右之地処今般福岡県筑後国博多中島町平民橋本小市ニ讓受候二付、地券
書換願出度候間、○登記済証御下付被成下度、此段奉願候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村二百番屋

佐摩登記所御中

敷之一寄留
北林兼司

291

印鑑証明願

印鑑

須田浅市
五
邇摩郡佐摩村百九拾九番
屋敷平民

右印鑑御証明被成下度、此段奉願候也

明治廿一年三月

邇摩郡佐摩村百五十
九番地屋敷平民
須田浅市

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光壽殿 同文二通

292

地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村百三百八拾九番

字隠居ノ上工

一、山反別四畝歩

地価金貳錢五厘

地租金壹厘

同国同郡同村百三百八拾五番

字虎岸寺ノ上工

一、山反別壹畝廿四歩

地価金壹錢壹厘

地租金厘位未滿

同国同郡同村百三百八拾六番

字中曾根

一、山反別三反歩

地価金貳拾四錢九厘

地租金六厘

同国同郡同村百五拾八番

字神楽山

一、荒地反別壹畝廿七歩

同国同郡同村二貳百七拾番

字昆布山谷

一、荒地反別四畝廿四歩八合

右之地所今般紀伊国海部郡湊村鈴木正吉所有之處、明治廿一年三月廿日讓受候二付別紙地券状五枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国東区今橋式丁目

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

三月廿三日

石見国邇摩郡佐摩村貳百番屋

敷ノ一寄留

北林兼司

邇摩

郡長宛

正副式通

安濃

293 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村二式百式拾七番
字岩屋堂

一、市街荒宅地廿三歩七厘

右之地所福岡県筑前国博多中嶋町橋本小市所有之処、明治廿一年三月廿日
讓受候ニ付別紙地券状壹枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国邇摩郡佐摩村

東区今橋式丁目

藤田組頭取

廿一年

藤田傳三郎代理

三月廿三日

石見国邇摩郡佐摩村

式百番屋敷ノ一寄留

北林兼司

邇摩 郡長宛 正副式通
安濃

294 御届

拙者義

火薬并ニダイナマイト、雷管買入免手形下渡願本月一日附及ビダイナマ
イト、雷管買入免シ手形下渡願本月十八日附ノ両度共下渡願ノ為メ出頭
可致候処、事務之都合ニ依リ高橋豊次郎ヲ以テ代理為致候間、此段御届
仕候也

大原順之助代

谷川千代松

明治廿一年三月廿三日

大森分署宛

295 副申

鉱業用タイナマイト買入之義、明治廿一年三月十三日御許可ノ上、火薬
類売買免許商大阪府下榎南勇太郎ヨリ買入運搬濟二付、別紙運搬許可証
壹葉御還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同郡同村百九十番地寄留

大原順之助代

明治廿一年三月廿四日

谷川千代松

島根県大田警察署御中

296

鳴根県石見国邇摩郡佐摩村式百
三拾番屋敷平民

田中正容

地所讓渡ニ付登記願

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

此相当時価金 当時石見国邇摩郡佐摩村式百番

此手数料金 屋敷ノ一寄留秋田県平民

北林兼司

297

邇摩郡佐摩村二百八拾三番

地所讓渡証

字大谷

一、宅地反別壹畝拾五歩六厘

地価金六拾三錢八厘

地租金壹錢六厘

右之地所拙者所有ノ処、今般双方熟議ノ上無代価ニテ讓渡候処実正也、然ル上ハ自今貴殿御自由ニ所持可被成候、就テハ向後該地ニ係ル税租ハ都テ貴殿ノ御上納可被成候、且又右地所是迄書入質入其他ノ義ニ付故障ケ間敷事更ニ無之、万一異儀申出候者有之候節ハ拙者引受取捌毫モ貴殿ヘ御迷惑相掛ケ間敷候、依テ地所讓渡証一札相渡申候処如件
明治廿一年

石見国邇摩郡大田村

讓渡人

同国同郡

保証人

藤田組

頭取宛

298 御証明願

邇摩郡佐摩村二式百七拾五番

百八拾三番

字大谷

一、宅地反別壹畝拾五歩六厘

地価金六拾三錢八厘

地租金壹錢六厘

右之地所今般大坂府東区今橋式丁目藤田組頭取藤田傳三郎ヘ讓渡候ニ付登記願出度候間、登記法第四拾条ニ依リ所有者タルノ及右物件ニ故障ナキヲ御証明被成下度、此段相願候也

明治廿一年三月

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

同文式通

嶋根県石見国邇摩郡大田村式百三拾番屋敷
田中正容

299 地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村二百八拾三番

字大谷

一、宅地反別壹畝拾五歩六厘

地価金六拾三錢八厘

地租金壹錢六厘

右之地所今般嶋根県石見国邇摩郡佐摩村式百三拾番屋敷平民田中正容ヨリ讓受候ニ付地券書換願出度候間、登記済ノ証御下付被下度、此段奉願候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村式百番屋敷ノ一

寄留

北林兼司

明治廿一年三月

佐摩登記所宛 二通

300

嶋根県石見国邇摩郡佐摩村大田村
式百七拾四番屋敷平民

田中義太郎

地所讓渡二付登記願

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

此相当時価金

当時石見国邇摩郡佐摩村式百番

此手数料金

屋敷ノ一寄留秋田県平民

北林兼司

301 地所讓渡証

邇摩郡佐摩村ホ四百拾九番

字満教院

一、山反別式拾四歩

地価金八厘

地租金厘位未満

右之地所拙者所有ノ処、今橋^般双方熟議ノ上無代価讓渡候処実正也、然ル

上ハ自今貴殿自由ニ所持可被成候、就テハ向後該地ニ係ル税租ハ都テ貴
殿ヨリ御上納可被成候、且又右地所是迄書入質入其他ノ義ニ付故障ケ間
敷事更ニ無之、万一異儀申出ル者有之候節ハ拙者引受取捌毫モ貴殿へ御
迷惑ノ筋相掛ケ申間敷候、依テ地所讓渡証一札相渡申候処如件

廿一年三月

石見国邇摩郡大田村

讓渡人

同国同郡

保証人

藤田組
頭取宛 一通

302 御証明願

邇摩郡佐摩村ホ四百拾九番

字満教院

一、山反別式拾四歩

地価金八厘

地租金厘位未満

右之地所今般大坂府東区今橋式丁目藤田組頭取藤田傳三郎へ讓渡候二付
登記願出度候間、登記法第四拾条ニ依リ所有者タルノ及右物件ニ故障ナ
キノ御証明被成下度、此段相願候也

嶋根県石見国邇摩郡大田村
式百七拾四番屋敷平民
田中義太郎

廿一年三月

佐摩外四ヶ村

戸長宛

二通

303 御証明願

地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村ホ四百拾九番

字満教院

一、山反別式拾四歩

地価金八厘

地租金厘位未満

右之地所今般嶋根県石見国邇摩郡大国村貳百七拾四番屋敷平民田中義太郎が譲受候二付地券書換願出度候間、登記済ノ証御下付被下度、此段奉願候也

大坂府東区今橋貳丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

廿一年三月

邇摩郡佐摩村貳百番屋敷ノ一

寄留秋田県平民

北林兼司

登記所宛 式通

304

嶋根県出雲国意宇郡松江本町

七拾七番屋敷

宮次観一郎代理^①

全県石見国邇摩郡大国村

貳百三拾番屋敷平民

田中正容

地所讓渡二付登記願

大坂府東区今橋貳丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

此相当時価金

当時石見国邇摩郡佐摩村二百番屋敷ノ一寄留

秋田県平民

北林兼司

305 御証明願

邇摩郡佐摩村二百貳拾番

字休谷

一、宅地反別三畝七步五厘

地価金壹円三拾六錢五厘

地租金三錢四厘

右之地所今般大坂府東区今橋貳丁目藤田組頭取藤田傳三郎へ讓渡候二付登記願出度候間、登記法第四拾条ニ依リ所有者タルノ及右物件ニ故障キ御証明被成下度、此段奉願候也

嶋根県出雲国意宇郡松江本町

七拾七番屋敷

宮次観一郎代理

全県石見国邇摩郡大国村貳百五拾六

番屋敷平民

田中正容

廿一年三月

佐摩外四ヶ村 二通

戸長宛

306 地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村二百貳拾番

字休谷

一、宅地反別三畝七步五厘

地価金壹円三拾六錢五厘

地租金三錢四厘

右之地所今般嶋根県出雲国意宇郡松江本町七拾七番屋敷宮次観一郎が譲

受候二付地券書換願出度候間、登記済ノ証御下付被成下度、此段奉願候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

廿一年三月

邇摩郡佐摩村式百番屋敷ノ一

寄留

北林兼司

登記所宛 式通

307

嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾六番屋敷平民

橋本武一郎

地所讓渡二付登記願

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村式百番屋敷ノ一寄留

秋田県平民

北林兼司

此相当時価金

此手数料金

308

地所讓渡証

邇摩郡佐摩村二式百六拾五番

字昆布山谷

一、荒宅地反別壹畝廿六步九厘

同郡同村二式百六拾八番

字昆布山谷

一、荒宅地反別三畝〇步式厘

同郡同村二式百七拾壹番

字昆布山谷

一、荒宅地反別三畝三步式厘

同郡同村二式百七拾五番

字昆布山谷

一、荒宅地反別壹畝廿九步四厘

同郡同村亦三百九拾壹番

字宝莱山ノ上

一、山反別六畝步

地価金

地租金

同郡同村亦三百八拾式番

字村上ノ前

一、山反別式畝拾式步

地価金

地租金

右之地所拙者所有二御座候処、今般双方熟議ノ上無代価ニテ讓渡候処実正也、然ル上ハ爾今自由ニ御所持可被成、就テハ向後該地ニ係ル租稅ハ都テ貴殿ヨリ御上納可被成候、且又右地所是迄他ニ書入質入其他ノ義ニ付故障ケ間敷事更ニ無之、万一異儀申出者有之候節ハ拙者引受取捌毫モ貴殿へ御迷惑筋相掛申間敷候、依テ地所讓渡証一札相渡申候処如件

石見国邇摩郡佐摩村

廿一年三月

讓渡人

藤田組頭取宛

同国同郡同村
保証人

309 御証明願

邇摩郡佐摩村二式百六十五番

字昆布山谷

一、荒宅地反別壹畝廿六歩九厘

同郡同村二式百六拾八番

字昆布山谷

一、荒宅地反別三畝〇歩式厘

同郡同村二式百七拾壹番

字昆布山谷

一、荒宅地反別三畝三步式厘

同郡同村二式百七拾五番

字昆布山谷

一、荒宅地反別壹畝廿九歩四厘

同郡同村二式百九十壹番

字宝萊山ノ上

一、山反別六畝歩

地価金

地租金

同郡同村二式百八拾式番

字村上ノ前

一、山反別式畝拾式歩

地価金

地租金

右之地所今般大坂府東区今橋式丁目藤田組頭取藤田傳三郎へ讓渡候二付
登記願出度候間、登記法第四十条ニ依リ所有者タルノ及右物件ニ故障ナ
キノ御証明被成下度、此段奉願候也

鳴根県石見国邇摩郡佐摩村百五十
六番屋敷平民

橋本武一郎

廿一年三月

佐摩外四ヶ村

戸長宛 式通

310 地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村二式百六十五番

字昆布山谷

一、荒宅地反別壹畝廿六歩九厘

同郡同村二式百六拾八番

字昆布山谷

一、荒宅地反別三畝歩式厘

同郡同村二式百七十壹番

字昆布山谷

一、荒宅地反別三畝三步式厘

同郡同村二式百七拾五番

字昆布山谷

一、荒宅地反別壹畝廿九歩四厘

同郡同村二式百九拾壹番

字宝萊山ノ上

一、山反別六畝歩

地価金

同郡同村ホ三百八拾弍番

字村上ノ前

一、山反別弍畝拾弍歩

地価金

右之地所今般嶋根県石見国邇摩郡佐摩村百五拾六番屋敷平民橋本武一郎ヨリ譲受候ニ付地券書換願出度候間、登記済ノ証御下付被成下度、此段奉願候也

大坂府東区今橋弍丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

廿一年三月

邇摩郡佐摩村弍百番屋敷ノ一

寄留

北林兼司

佐摩登記所宛

二通

311

印鑑証明願

右印鑑証明被下度奉願候也

佐摩村百五拾六番屋敷平民

橋本武一郎

廿一年三月

佐摩外四ヶ村

戸長宛

二通

312

委任状

拙者義地処讓渡登記請求事件ニ付石見国邇摩郡大國村田中正容ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者ノ名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ代理為致候事

一、島根県石見国邇摩郡佐摩村二百弍拾番字休谷宅地三畝七歩五厘、今

般大坂府下東区今橋弍丁目壹番地藤田組頭取藤田傳三郎へ讓渡候ニ

付、佐摩登記処へ登記請求ノ事

一、地処所有証明願ニ代印ノ事

一、地処讓渡証へ代印ノ事

一、登記簿へ押印シ登記ニ付必要ナル一切ノ事件ヲ致弁スル事

右代理ノ委任状、仍而如件

廿一年三月十六日

宮次觀一郎

313

地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村ホ四百拾九番

字満教院

一、山弍拾四歩

地価金八厘

地租金厘位未滿

右之地所石見国邇摩郡大國村田中義太郎所有之所、明治廿一年三月三十一日譲受候ニ付別紙地券状壹枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国東区今橋弍丁目

藤田組頭取

明治廿一年四月

邇摩
郡長中村秀年殿
安濃

石見国邇摩郡佐摩村式百番屋敷一寄留

藤田傳三郎代理

北林兼司

314 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村二百式拾番
字休谷

一、宅地三畝七步五厘

地価金壹円三拾六錢五厘

地租金三錢四厘

右之地所出雲国意宇郡松江本町宮次觀一郎所有之所、明治廿一年三月卅一日讓受候ニ付別紙地券状壹枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国東区今橋式丁目

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村式百番屋敷一寄留

北林兼司

明治廿一年四月

邇摩
郡長中村秀年殿
安濃

315 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村二百八拾三番

字大谷

一、宅地壹畝拾五步六厘

地価金六拾三錢八厘

地租金壹錢六厘

右之地所石見国邇摩郡大國村田中正容所有之處、明治廿一年三月三十一日讓受候ニ付別紙地券状壹枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国東区今橋式丁目

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村式百番屋敷一寄留

北林兼司

明治廿一年四月

邇摩
郡長中村秀年殿
安濃

316 御届

私儀

社用之為メ過般上阪仕不在中社員谷川千代松ヲ以テ代理為致居候處、昨日帰山本日ヨリ事務取扱仕候、就テハ右代理任致候、此段御届仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鋳業人

藤田傳三郎代理

明治廿一年四月六日

大原順之助

大森分署御中

邇摩 郡長中村宛
安濃
佐摩外四ヶ村戸長宛

317 副申

鋳業用タイナマイト三拾貫目、火薬式百貫目買入之義明治廿一年四月一日御許可相成ノ上、火薬類売買免許商大阪府下西成郡榎南勇太郎ヨリ買入運搬済ニ付、別紙運搬許可証式葉御還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鋳業人

藤田傳三郎代理

同郡同村百九拾番屋敷寄留

兵庫県士族

大原順之助

明治廿一年四月六日
嶋根県大田警察署御中

318 「建築届」

邇摩郡佐摩村ホ百六拾三番
字天井道ノ左リ
畑七畝拾八歩之内

自分所有地

桁行式間半



長瀬川

邇摩郡佐摩村ニ式百八拾三番
字出シ辻
荒地三畝廿三歩之内

地主 大坂府平民

桁行十間
炭庫
板葺

長瀬川

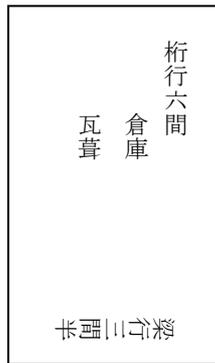
浅田市兵衛
佐賀県士族
久間琢馬
共有地

邇摩郡佐摩村ニ式百廿七番

字岩屋堂

自分所有地

市街荒地式拾三歩三厘



長瀬川

右建築致候間、此段御届仕候也
明

大坂府下藤田組頭取

藤田傳三郎代人

佐摩村百九十番舍寄留

大原順之介代理

同村百三拾八番舍

谷川千代松

明治廿一年四月

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

319 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村二式百七拾壹番

字昆布山谷

一、荒地三畝三步貳厘

同国同郡同村二式百七拾五番

字昆布山谷

一、荒地壹畝廿九步四厘

同郡^国同村二式百六拾五番

字昆布山谷

一、荒地壹畝廿六步九厘

同国同郡同村二式百六十八番

字昆布山谷

一、荒地三畝步貳厘

同国同郡同村^番三^百九^十壹^番

字宝萊山ノ上^上

一、山六畝步

地価金三錢七厘

地租金一厘^八

同国同郡同村^番三^百廿^七十^三番

字村上ノ前

一、山式畝拾貳步

地価金壹錢五厘

地租金厘位未滿

右之地所石見国邇摩郡佐摩村橋本武一郎所有之所、明治廿一年四月廿一日讓受候二付別紙地券狀六枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国東区今橋式丁目

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

当時石見国邇摩郡佐摩村寄留

北林兼司

明治廿一年五月
邇摩安濃郡長中村秀年殿

320 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村二式百七十六番

字昆布山谷

一、宅荒地壹畝廿八步六厘

同国同郡同村二式百七十三番

字昆布山谷

一、市衛宅^番地壹畝廿九步壹厘

地価金六拾九錢壹厘

地租金壹錢七厘

右之地所石見国邇摩郡佐摩村福田吉太所有之处、明治廿一年四月廿一日讓受候二付別紙地券狀六枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国東区今橋式丁目

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

当時石見国邇摩郡佐摩村寄留

北林兼司

明治廿一年四月

邇摩
郡長中村秀年殿

安濃

321 「概況報告」

昨年十二月中報告以来著シキ異動ナク別而烈挙スヘキ事項無之候へ者、予而御下命ニ基キ、本年一月ヨリ三月ニ至ルノ概況左之通り報告仕候

一、曩ニ報告セシ如ク銀山全区之主要ナル大國村字柑子谷ノ永久ハ土木工事概ネ竣功シ坑道疏水ノ工事ハ予定ノ計画ニ異ナラス、漸ヲ追テ進歩シ猶昼夜間断ナク奮勵シ遠カラス功ヲ奏スルノ見込ニシテ、其他銀山部ハ目下猶^{概シテ}開坑及坑路ノ修補器械設置等ヲ專ラトシ、採鉱ニ力ヲ尽スニ至ラサルカ故ニ未タ多量ノ出鉱ヲ見ス

一、従来借区許可地ノ外尚見込之処有ルヲ以テ益鉱業ノ擴張ヲ計リ、今回更ニ坑道三ヶ所^③及拾式万余坪ノ増借区ヲ出願セントスル所ナリ

一、工事ニ使用スル諸器械器具ハ総テ当所ニ於テ調製シ

一、職員ハ合セテ卅四名ニシテ、職工ハ曩ノ報告ヨリ多数ノ増減ナシ

一、職工ノ内偶ニ負傷スル者有ルカ故ニ医師名ヲ雇入シ之レカ治療ニ充テリ

右報告仕候也

明治廿一年四月廿五日

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

邇摩

郡長中村秀年殿
安濃

322 証明書

当鉱山所ニ使用スル職員諸職工之内執業中負傷スル者往々有之候へ共、近傍ニ医師ナク火急之場合不都合不尠候ニ付、邇摩郡佐摩村五百廿壹番

地医師加藤準吉氏ニ治療ヲ頼居候処、過般新潟県者名非常之大負傷致目下甚難症ニシテ一日モ難離、殊ニ其他患者数多有之医察甚頻繁ニシテ片時之閑隙ナク就而他出難相成候、此段証明候也

明治廿一年四月廿六日

藤田組大森鉱山所

*欄外上部に割印A

323 官地御払下願

石見国邇摩郡佐摩村ホ四百拾番

字石銀薬師跡

一、荒蕪地壹畝廿四歩

右之地所鉱業用井使冊ニ使用仕度候ニ付、相当之代価ヲ以テ御払下相成候様特別御詮議被成下度、図面相添此段戸長與印ヲ以テ奉願候也

明治廿一年五月十三日

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

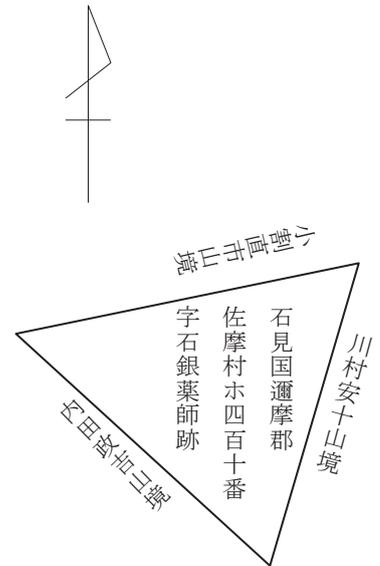
藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡^{佐摩村}百九拾番地寄留

兵庫県士族

大原順之助

島根県知事籠手田安定殿



324 御証明願

石見国邇摩郡佐摩村 字石銀葉師跡 地目百六拾三番

字天井道ノ左リ

一、畑七畝拾八歩

地価金貳円三銭

同国同郡同村 字石銀葉師跡 地目百六拾九番

字馬場西ノ横相

一、山凡九反三畝九歩

地価金九拾八銭六厘

右之地処今般大坂府東区高麗橋壺丁目藤田傳三郎へ譲渡候ニ付登記願出候間、登記法第四十条ニヨリ所有者タルノ及右物件ニ故障ナキヲ御証明被成下度、此段奉願候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時島根県邇摩郡佐摩村 字石銀葉師跡 地目百六拾三番地ノ一寄留

明治廿一年五月十五日
佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

北林兼司

325 地目交換届

石見国邇摩郡佐摩村 字石銀葉師跡 地目百六拾三番

元畑反別七畝拾八歩

地価貳円三銭

地租金五銭壹厘

内反別貳拾三步四厘

地価三拾貳銭四厘

地租金八厘

一、畑市街宅地 成反別貳拾三步四厘

地価三拾貳銭八厘

地租金八厘

残反別六畝貳拾四歩六厘

地価壹円八拾貳銭壹厘

地租金四銭六厘

右地目交換仕候ニ付、該地反別ノ丈量ヲナシ近傍類地之比較ヲ以テ適當之地価取調候処、彼我権衡上不平準無之候間、実地御検査之上地価額御査定相成度、絵図面相副へ此段御届申上候也

大坂府東区高麗橋壺丁目壹番地

藤田組頭取

〔廣田義二郎氏ノ誤〕

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村 字石銀葉師跡 地目百九拾番地寄留

明治廿一年五月廿一日
鳥根県知事籠手田安定殿

兵コ県士族
大原順之助

326

図面八白紙

(地目変換実測図帳) 上書

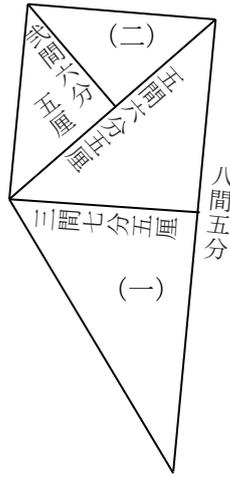
佐摩村赤百六拾三番字天井道ノ左リ

元畑反別七セ拾八歩之内

一、宅地成反別式拾三步四厘

地主

藤田傳三郎



(一) 三拾壹坪八合七勺五才
(二) 二十四坪九合七勺式才五

計四拾六坪八合四勺七才五
此二除
廿三坪式合式勺三才五

右之地処変換致候ニ付地盤丈量仕候処、前書之通り相違無御座候也

大坂府東区高麗橋壹丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

鳥根県石見国邇摩郡佐摩村百九拾番地

兵庫県士族

大原順之助

明治廿一年五月

鳥根県知事籠手田安定殿

*本文・図中の()内の番号は朱書

327 自用車鑑札御下附并御検印願

一、大七車 壹輛

一、手車 壹輛 運鋳用

右工業用諸物品運輸其他之自用ニ供スル為前記之通り調製致候ニ付、免
税鑑札御下附并御検印被成下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

明治廿一年五月

頭取代理大原署名

中村郡長宛

*表題上に朱書「〇」

*欄外朱書「免税課税之義ニ付引直シ更ニ出ス、扣へ後ニ在リ」

328

表紙 (地目変換届)

地目変換届

石見国邇摩郡佐摩村赤三百六拾六番之内第一

元原野四畝拾式歩

地価金式錢六厘

地租金壹厘

石見国邇摩郡佐摩村

一、原野宅地成反別四畝廿七歩三合

小割安三郎

内拾五歩三合 丈量増

地価金壹円九拾壹錢五厘

地租金四錢八厘

類地比較
二式百五十八番
反金三円九十八錢

右地目変換仕候ニ付、該地反別之丈量ヲナシ近傍類地之比較ヲ以テ適當

之地価取調候処、彼我権衡上不平準無之候間、実地御検査之上地価額御
査定相成度、絵図面相副へ此段御届申上候也

明治廿一年五月

島根県知事籠手田安定殿

石見国邇摩郡佐摩村百六拾七番地平民

小割安三郎

*欄外朱書「地目開墾之者ニ付役場々返戻ニ付更ニ開墾願ニ製シ差出ス」

329

表紙(地目変換実測図帳)

佐摩村ホ三百六拾六番之内第一字長福寺

元原野四畝拾式步

地主

一、宅地成反別四畝廿七步三合

小割安三郎

内拾五步三合 丈量増

(一) 八拾式坪壹合

(二) 拾式坪六合九勺

計式百九拾四坪七合九勺

二除百四拾七坪三合九勺

右之地処変換致候ニ付地盤丈量仕候処、前書之通り相違無御座候也

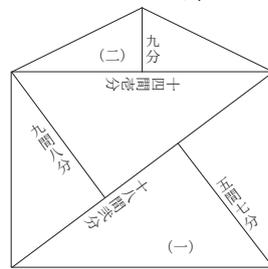
石見国邇摩郡佐摩村

小割安三郎

明治廿一年五月

島根県知事籠手田安定殿

*欄外に朱書「✓」



330 自用車鑑札御下附并御検印願

一、大七車 壹輛

一、手車 壹輛

右工業用諸物品運輸之為鉾山借区内及製造所内ニテ自用ニ供スル為前記
之通り調製致候ニ付、免税鑑札御下附并御検印被成下度、此段戸長奥印
ヲ以テ奉願候也

大坂府今橋式丁目壹番地

藤田組頭取藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九拾番地寄留

兵庫県士族

明治廿一年五月廿五日

大原順之助

邇摩 郡長中村秀年殿

安濃

331 地所開墾願

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百六拾六番ノ内第一

字長福寺

一、原野反別四畝拾式步

地価金貳錢六厘

地租金壹厘

右ハ近隣其他故障之筋一切無之ニ付書面反別市街宅地ニ開墾仕度、尤
些々タル開墾ニ付工事ハ五月廿七日頃着手六月廿六日頃落成之見込ニ有
之候間、開墾御許可被成下度、此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

明治廿一年五月

右地主 小割安三郎

島根県知事籠手田安定殿

*上部に付箋脱落の痕跡あり

332 副申

鉱業用タイナマイト買入之義願済之上火薬類売買免許商大坂府下苗成郡
榎南勇太郎が買入運搬済二付、別紙運搬許可証壹葉御還納仕候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同国同郡同村百九拾番屋敷寄留

大原順之助代理

同村百三拾八番屋敷

谷川千代松

明治廿一年六月十三日

島根県大田警察署御中

333 開申

去五月十二日付タイナマイト三拾貫目、雷管千五百発買入之免手形ニ該
当スヘキ運搬許可証先般還納仕候処、タイナマイトハ式拾四貫匁、雷管
ハ記載^{無之}云々之義ニ付御尋問相成候処、右雷管ハ落着致候へ者記載無シ、
ダイナマイトハ現品廿四貫匁運搬致来候、此段開申候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同村百九拾番地寄留

兵庫県士族

大原順之助代

同村百三拾八番地

谷川千代松

明治廿一年六月十七日
島根県大田警察署御中

334 地処開墾願

石見国邇摩郡佐摩村イ千六百式拾八番

字竹田下ノ切南向山

元山反別式町歩之内

一、山反別三畝拾九歩

〔廿一年七月許可〕

右者隣地其他故障之筋一切無之二付書面反別郡村宅地ニ開墾仕度、尤
些々タル開墾ニ付工事ハ七月七日頃着手七月廿日頃落成之見込ニ有之候
間、開墾御許可被成下度、此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

橋本為造

明治廿一年六月

島根県知事籠手田安定殿

335 「書簡」

明治廿一年六月廿六日

尊書拜見仕候処、藤田浅太郎負傷事件ニ付二ノ番ノモノ御取調可相成次
第二テ明廿六日午前第九時出頭致候様達方御取計云々拝承仕候、然ルニ
只今一時頃郵便到達已ニ時間ヲ經過致候間如何取謀可申候哉、入坑時間
之都合モ有之候間可相成ハ明日ニ致度、此段御照会及ヒ候也

藤田組大森鉱山所

大田警察署大森分署長

警部補佐々田豊殿

谷川千代松

* 藤田組大森鉦山所便箋に書かれた別葉を貼り付け

* 印刷文字をゴチック体で表記

336 副申

去ル五月十二日付ヲ以ダイナマイト三拾貫目、雷管千五百発買入免手形ニ対スル運搬許可証式拾四貫目之分還納致置候処、本日残量六貫目回送敷相成候ニ付別紙運搬許可証還納仕候間、本月十七日付ヲ以開申致置候ダイナマイト之義ハ悉皆運搬相済候、此段添申候也

邇摩郡佐摩村銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

同村百九拾番地寄留

兵庫県土族

大原順之助代

同村百三十八番地平民

谷川千代松

太田警察署御中

明治廿一年

六月廿七日

337 [回報]

拝復

過ル廿六日付ヲ以、当処より本店其他江往電及返報之電報度数一ヶ月平

均数取調御通知可致云々御依頼之趣キ了承致候、則チ別記之通ニ有之候
条御了置相成度、右及御回報ニ候也

明治廿一年六月廿九日

藤田組大森鉦山処

大森郵便局御中

一ヶ月平均往復電報度数調

一、当処発電七ヶ度

一、各処発電拾ヶ度

右ハ昨年より本月迄之平均数ニ有之候也

* 欄外上部に割印A

338 御届

鉦業上火薬類買入之件付御尋之儀有之ニ付本日午前八時迄ニ出頭可致御達之趣拝承仕候、然ルニ目下儂麻質斯ニ罹リ歩行難渋致候ニ付、北林兼司ヲ以テ御尋之事件御答解為致候間、此段御届申上候也

邇摩郡佐摩村鉦業人

藤田傳三郎代理大原順之助代

明治廿一年七月五日

島根県大田警察署御中

谷川千代松

339 御答

過ル五月十二日付ヲ以ダイナマイト和量三拾貫目、雷管壹千五百発買入

免許手形御下付ヲ得候ニ付、大坂府下東区高麗橋火薬免許商榷南勇太郎江買入申込置候処、六月四日ダイナマイト和量式拾四貫目并ニ雷管壹千五百発回送相成、則チ運搬許可証ハ還納致置候為メ、六月廿七日ダイナマイト残和量六貫目回送相成候ニ付該運搬許可証も還納致置候、然ルニ雷管之運搬許可証無之理由御尋問奉拝承候、該品ハ昨年八月以後現品ハ到達致候得共運搬許可証ニハ記入不相成候、仍而今回御尋問之次第ヲ以買先キ江照会致置候、右御答申上候也

邇摩郡銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

大原順之助代

谷川千代姿

右代人

北林兼司

明治廿一年七月五日

太田警察署御中

340

第三回内国勸業博覧会出品取調書

品名	数量	産地	出品人住所姓名
鉦石	三拾塊凡六貫目	石見国邇摩郡佐摩村銀山町	大坂府東区今橋式丁目壹番地 藤田組頭取藤田傳三郎

右之通ニ候也

出品人

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

明治廿一年七月十五日
佐摩外四村戸長

宗岡光壽殿

大原順之助

341 「添状」

客月三十日付勸玄第三十七号及本月十四日付号外ヲ以御達相成候第三回内国勸業博覧会ニ出陳スヘキ品類、乍延引別紙之通り調書進達仕候間、可然御取計被成下度奉願候、尚出品方ニ就テハ客年農商務省告示第拾壹号ニ基キ、其出品之期ニ至リ明細取調進達可致候

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿一年七月十五日
佐摩外四村戸長

宗岡光壽殿

342 「回答」

租玄第百五拾式号ヲ以テ御達相成候当鉦山鉦業用即今使用ノ車各種ニ就キ、製造方法外四件別紙之通り取調進達仕候間、其筋可然御取計被成下候度、右御答申上候也

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿一年七月十五日
佐摩外四村戸長宗岡光壽殿

一、車ノ製造方法

運鋳用箱車ハ松板ニテ造リ、板鉄ヲ張り、車輪ハ銑鉄ノ鑄物ヲ用キ、荷車^(大八)ハ荷積台及輪トモ松木ヲ用ユ、当処製作場ニテ製造セリ

一、使用方法

鋳業用諸物品運搬用ニ専用ス、坑外ニテハ荷車^(大八)ニ使用ス、坑内ニテハ板車道ニ使用セリ、又運鋳及捨石車アリ、共二人力ヲ以テ運輸セリ、将来鉄條ヲ布設シ、人力ニ耐サルモノハ馬力ヲ用テ運輸スルノ期アルヘシ

一、鋳石等ヲ入ルヘキ容積

荷車^(大八)之構造タル外箱ヲ要セスニ付容積ヲ算出シ、タタシ荷車^(手)ハ尺立方四・八、運鋳車及捨石車共現今^(使)支用之分ハ尺立方壹〇乃至七・九トス、重量力ハ荷車各種百六拾貫乃至六拾貫目トス、運鋳及捨石車ハ式百貫目乃至百式拾貫目ナリトス

一、新調費用

荷車各種トモ金拾円乃至三円五拾銭トス、運鋳及捨石車ハ現今^(使)支用之分金三拾円乃至六円ナリトス
一、使用ニ供シ得ラルヘキ年限
尚車各種四十八ヶ月乃至十六ヶ月トス、運鋳及捨石車ハ現今之分二十ヶ月乃至十ヶ月ナリトス

*この文書の途中から数項にわたり野紙上部に弧状の焦跡がある

343 [添状]

昨一日付号外ヲ以御達ニ相成候調書別紙進達致候条、其筋可然御取計被

下度、右回答申上候也
明治廿一年八月二日

廻摩郡佐摩外四村戸長役場
庶務係御中

藤田組
大森鋳山事務所

*欄外上部に割印A

344

所名	年別	使役人夫数	採掘高	製煉高	産出高	輸出高	全上価格
佐摩郡 廻摩村 森鋳 事務	廿年	四万八千零百七拾式人七歩	五万八千三百四拾七貫式百目	五万八千三百四拾七貫式百目	含銀銅 式百八拾貳貫 式百八拾貳貫 山吹銀 百九拾老匁	式百八拾貳貫 式百八拾貳貫 百九拾老匁	七百貳拾四円 貳拾貳錢貳厘 貳拾八円六拾五銭
備考	十八年						
備考	十九年						
廿年三月十五日付借区許可券廿八日到達ニ付廿九日旧借区廣田義二郎へ引受、四月一日ヨリ操業ノ処全年九月九日藤田傳三郎へ借区譲渡出願、十月五日付ノ借区券全月廿一日到達ニ付全日譲受ヲナスノ計画ナリ ニシテ前							

*無地白紙に記載し野紙に張り付

*上端部分は焦損のため文字を推定

345 [回答]

本月二日租地第九拾九号三日午後四時到着、四日付租地第百四号本日本

後五時十分到着両通御照会之趣了承致候、然ルニ当鉦山事務所江使役人ナレハ込当処ハ公边ニ対シ本人共ノ責メ受ク可キ者ニ無之ハ勿論ニ有之候得者、御依頼被下度夫々通達致置候義ニ付少シモ当所ヨリ達御報可申上義ニ無之卜存居候、爾来右様ノ事ハ予而当所へ御相談被下度候半其時ニ臨ミ何分取計之覚悟可有之候、此段及御回答候也

明治廿一年八月四日

藤田組大森鉦山事務所

佐摩外四村戸長役場

租税係御中

346 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村ニ式百廿五番

字岩屋堂

一、宅地八畝廿四步〔卷〕合

地価金三円六十九銭七厘

地租九銭貳厘

右地所大坂府下撰津国西成郡川崎村浅田市兵衛所有之処、明治廿一年八月廿五日讓受候ニ付別紙地券状壹枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

〔阿武郡萩古萩町十三番地〕
長門国〔東区全橋式〕
〔当時大阪府東区伏見町三丁目寄留〕
廣田義二郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百四拾六番地寄留

〔秋田県平民〕
北林兼司

明治廿一年八月廿八日

邇摩 郡長中村秀年殿
安濃

347 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村ニ式百廿六番

字岩屋堂

一、荒宅地壹畝七〔步七合〕畝七〔步〕合

同国同郡同村ニ式百貳十三番

字岩屋堂

一、荒宅地貳拾六步三合

同国同郡同村ニ百八拾五番

字龍源寺山

一、宅地貳拾七步壹合

地価金三拾七銭九厘

地租金九厘

外壹畝廿八步六合 荒地

同国同郡同村ニ式百三十壹番

字析畑谷

一、宅地四畝三步壹合

同国同郡同村ニ式百八十三番

字出シ辻

一、荒宅地三畝廿步三合

同国同郡同村ニ百三十貳番

字大横相

一、荒宅地壹畝拾三步五合

同国同郡同村二式百六十九番
字昆布山谷

一、荒地三畝拾七步六合

同国同郡同村二式百五十九番

字栃畑谷

一、宅地三畝拾七步五合

地価壹円貳拾五錢八厘

地租金三錢壹厘

右之地所大坂府下撰津国西成郡川崎村浅田市兵衛、佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村久間琢馬所有之處、明治廿一年八月廿七日讓受候ニ付別紙地券狀八枚御書換被下度、此戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

明治廿一年八月廿八日

長門国阿武郡萩古萩町

廣田義二郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百四拾六番地

寄留 北林兼司

邇摩

郡長中村秀年殿
安濃

348 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百五十九番
字馬場西横相

一、山反別凡九反三畝九步

地価金九拾八錢六厘

地租金貳錢五厘

同国同郡同村ホ百六十三番
字天井道ノ左リ

一、畑反別七畝拾八步

地価金貳円三錢

地租金五錢壹厘

右之地所山口県長門国阿武郡萩古萩町平民当時大坂府東区伏見町三丁目寄留廣田義二郎所有之所、明治廿一年八月廿五日讓受候ニ付別紙地券狀貳枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

明治廿一年八月廿八日

撰津国東区今橋式丁目

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百三十八番地

寄留 大原順之助

邇摩

郡長中村秀年殿
安濃

349 転籍御届

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田傳三郎

傳三郎義、是迄大坂府東区高麗橋壹丁目壹番地ニ居住罷在候処、本年七月廿日右之地へ転籍致候間、此段御届仕候也

右藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿一年八月廿九日

邇摩 郡長中村秀年殿
安濃

大田警察大森分署御中

佐摩外四村戸長宗岡光壽殿

350 鉱業用火薬類買入願

一、ダイナマイト和量三拾貫目

一、雷管千五百発

右者借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻、石銀山、仙之山及本年六月一日許可之増借区⑨小字本谷、安原谷、於紅谷、溝内平、藤田、昆布山谷、出シ辻、枋畑谷、仙之山、石銀山、馬場、当郡大国村永久坑道、全郡佐摩村銀山町龍源寺坑道及本年六月二日御許可之本谷大久保坑道等各坑内開鑿場へ支用之為、大坂府東区高麗橋壺丁目火薬類売捌免許商榷南勇太郎が買入之上拙者処有之火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候間免手形御下附被成下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

全郡全村百九拾番屋敷寄留

兵庫県士族

大原順之助

明治廿一年八月三十日
島根県大田警察署御中

351

表紙

地目変換届

邇摩郡

大国村

地目変換届

石見国邇摩郡大國村千五百八拾七番

字イタヤ向上ミ

元田反別五畝九歩

地価金拾八円貳拾三銭七厘

地租金四拾五銭六厘

一、田宅地成反別七畝拾七歩

内貳畝八歩 丈量増

地価金拾壹円五拾銭壹厘

地租金貳拾八銭八厘

同国同郡同村千五百八拾八番

字板屋向

元田反別七畝三歩

地価金貳拾四円四拾貳銭貳厘

地租金六十銭壹厘

一、田宅地成反別壹反五畝廿六歩

内八畝廿三歩 丈量増

地価金貳拾四円拾壹銭七厘

地租金六十銭三厘

同国同郡同村千六百拾番

撰津国 大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

地主 藤田傳三郎

類地比較千六百七番
反金拾五円廿銭
宅地

地主 全組

類地比較千六百七番
反金拾六円廿銭
宅地

字山口

元田反別式畝三步

地価金七円式十式銭

地租金拾八銭壹厘

一、田宅地成反別壹反式拾歩

内八畝拾七歩 丈量増

地価金拾六円式拾壹銭三厘

地租金四拾銭五厘

同国同郡同村千六百番

字板屋上ミ

元田反別式畝廿四歩

地価金九円五十七銭六厘

地租金式十三銭九厘

一、田宅地成反別八畝四歩

内五畝拾歩 丈量増

地価金拾式円三拾六銭三厘

地租金三拾銭九厘

右地目変換仕候二付、該地反別ノ丈量ヲナシ近傍類地之比較ヲ以テ適當之地価取調候処、彼我權衡上不平準無之候間、宅地御検査之上地価ノ額御査定相成度、絵図面相副此段御届仕候也

明治廿一年九月

地主 同人組

類地比較千六百七番
反金拾五円式十銭
宅地

地主 同人組

類地比較千六百七番
反金拾五円式十銭
宅地

撰津国東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九拾番屋敷寄留

大原順之助

352

野取実測絵図面帳

邇摩郡

大国村

石見国邇摩郡大国村千五百八拾七番

字イタヤ向上ミ

元田反別五畝九歩

一、田宅地成反別七畝拾七歩

(一) 廿七坪九合

(四) 百七拾坪壹合三勺

(六) 式百廿七坪一合七勺

「五百三十三坪式合八勺」

計五百五拾五坪六合四勺

二除苗五拾五坪八合壹勺五才

合計式百六拾六坪九合壹勺五才

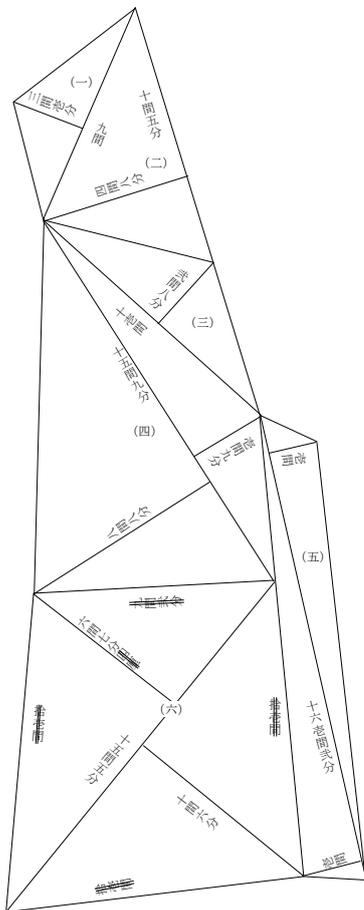
此反別七畝拾七歩

地主

藤田傳三郎

(三) 三拾坪八合

(林) 苗拾壹坪壹合



同村千五百八拾八番

字板屋向

元田反別七畝三步

一、田宅地成反別壹反五畝廿六歩

(一) 九拾六坪三合六勺式才五

(三) 四百三拾七坪七合六勺

(五) 六拾七坪七合式勺五才

(七) 八拾三坪七合九勺

計九百五拾三坪三合四勺式才五

二除四百七拾六坪六合七勺餘

此反別壹反五畝廿六歩

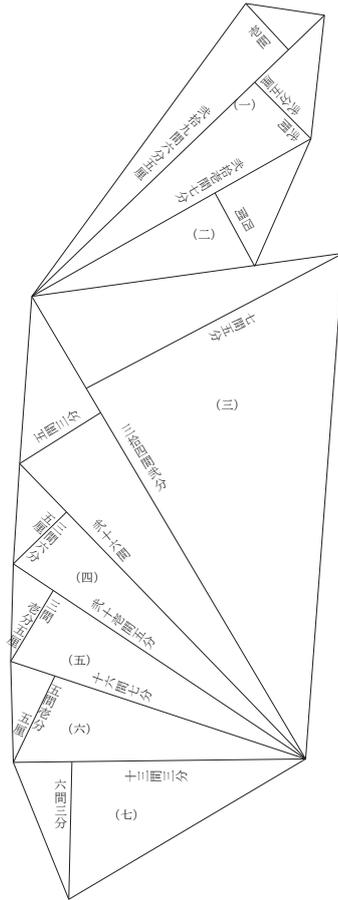
地主

同組

(二) 八拾六坪八合

(四) 九拾四坪九合

(六) 八拾六坪〇五才



同村千六百拾番

字山口

元田反別式畝三步

一、田宅地成反別壹反式拾歩

(一) 式坪四合

(三) 四拾五坪四勺五才

(五) 百三拾五坪

地主

同組

(二) 四拾六坪五合

(四) 百拾八坪一合式勺五才

(六) 式拾九坪三合八勺

36

(七) 四拾八坪式合五勺

(九) 拾六坪六合

(十一) 八拾式坪壹合五勺式才五

計四百七拾六坪三合八勺五才

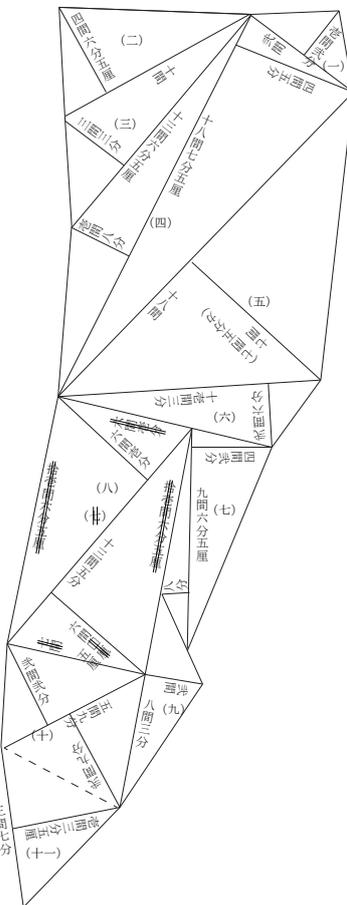
「二百四十坪」廿合五勺四勺

二除式亩五拾八坪壹合九勺式才五

「三百廿坪」廿合五勺七才

併計五百廿坪式合式勺五才

此反別壹反式拾歩



島根県知事籠手田安定殿

*表題部分以外は無地白紙に記載

*本文・図中の漢数字の()のみ朱書

353

転籍御届

(八) 「百六十四坪〇二勺五才」

(十) 三拾坪九勺

(十二) 四坪九合九勺五才

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田傳三郎

傳三郎義、是迄大坂府東区高麗橋壹丁目壹番地二居住罷在候処、本年七月廿日右之地へ転居致候間、此段御届仕候也

右藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九十番屋敷寄留

大原順之助

明治廿一年八月

邇摩郡

大國村外四ヶ村戸長

安井好尚殿

354 建築届

邇摩郡大國村千五百八十七番

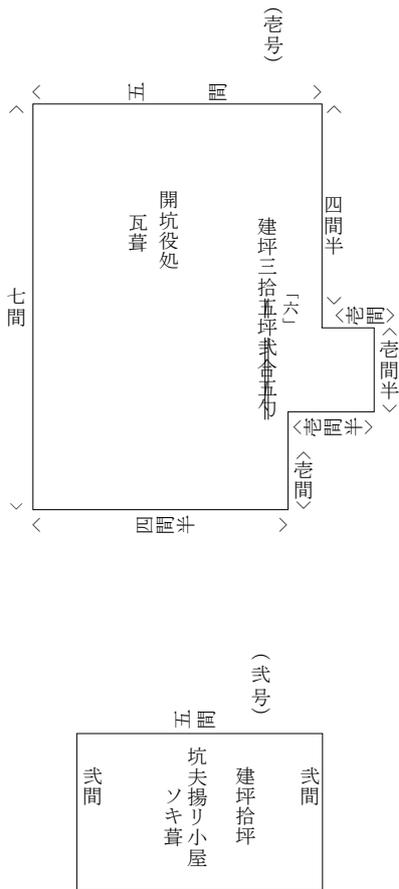
字イタヤ向上ミ

田五畝九歩ノ内

同郡同村式百四拾六番ノ一

自分処有地

本地内ニ他ノ建物ナシ



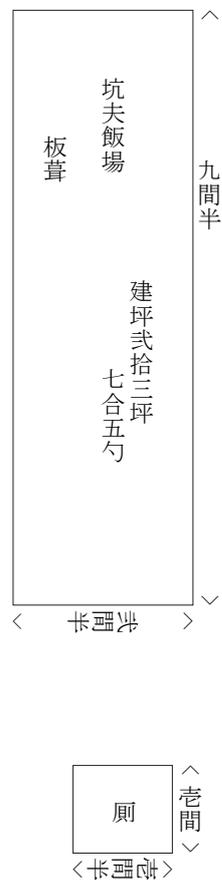
邇摩郡大國村千六百番
字山口

一、田式畝三步ノ内

自分処有地

本地内ニ他ノ建物ナシ

九間半



同郡同村式百四拾七番屋敷ノ廿

右築造致候間、此段御届仕候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九十番屋敷寄留

大原順之助

明治廿一年九月

大國村外四ヶ村戸長

安井好尚殿

355

明治廿一年自四月至八月鉱業概況報告

本年三月報告以来著キ異動ナシト雖左ニ事業ノ一二ヲ列挙ス

一、銀山部八開坑工事設計通り漸次進歩シ、就中堅坑井ノ掘下ケ、捲

揚器ノ設置、車道ノ布設ヲ主トシ傍ラ多少ノ採鉱ヲ為セリ

一、全部製煉場ニハ熔鉱炉ノ築造ヲ竣功シ製煉法ノ改良ヲ為セリ

一、永久部永久坑道ハ着々工程ノ進歩ヲ顯シ、四月廿八日計画ニ違ハス旧坑道ニ貫通シ、積年ノ溜水大半排除セリト雖氏尚ホ出水激烈ニシテ岩質軟弱遂行極テ危険ナルヲ以テ更ニ切廻リ工事ヲ施シ、八月二日旧坑ノ岩質堅密ナル所ニ貫通シ、安全ニ排水ノ効ヲ奏シ、爾後鋭意改修工事ト車道布設ニ従事シ、鋭日夜進行ヲ急ケリ

一、銀山部ノ東二位スル本谷部大久保坑ハ五月ヨリ取明修補ヲ為シ、八月中ニ至テ千有余尺車道ヲ布設シ、鋭意急進往昔ノ採鉱場ニ達セシメテ

本谷部ニハ福石ト称シ自然銀或ハ他ノ銀鉱ヲ嵌包スル一種ノ安山岩アリ、其量実ニ巨額殆ンド算定スベカラス、往時之ヲ掘採製煉スルモ収支相償ハサルヲ以テ掘採セサリシモ、今日新式ノ採鉱・碎鉱・撰鉱・製煉法ヲ応用セハ収益アル疑ヲ容レズ、寔ニ有望ノ鉱区ナリ

一、去八月末役員総数廿六名、定雇職工三百七拾六名トス

右報告仕候也

明治廿一年九月四日

邇摩郡佐摩村銀山町
鉱業人藤田傳三郎代理

大原順之助

邇摩 郡長中村秀年殿
安濃

356 地処開墾願

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百八十七番

字切ガケ谷

元山反別七反七畝歩ノ内

一、山壹畝拾壹歩

右ハ隣地其他故障之筋一切無之候ニ付書面之反別市街宅地ニ開墾仕度、尤些々タル開墾ニ付工事ハ本月十日着手全月廿三日頃落成之見込ニ候間、開墾御許可被成下度、此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村右地主

明治廿一年九月四日

小割安三郎

鳥根県知事籠手田安定殿

*全体に抹消線あり

357 鉱業用火薬買入願

一、火薬式百貫匁

右者借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、栃畑谷、出シ辻、石銀山、仙之山、本谷、安原谷、於紅谷、溝内平、藤田、馬場及当郡大國村永久坑道、全郡佐摩村銀山町龍源寺坑道、同村字本谷大久保坑道等各坑内開墾場へ^使支用之為、大坂府東区内高麗橋壺丁目火薬類売捌免許商榎南勇太郎^使買入之上拙者処有之火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候間、免手形御下附被成下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同郡同村百九拾番屋敷寄留

兵庫県士族

明治廿一年九月十日

大原順之助

鳥根県大田警察署御中

358

委任状之事

拙者義北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之權限之事ヲ代理為致候

- 一、島根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百式拾五番字岩屋堂ニ建築有之家屋第壹号ノ第四号迄四棟、今回大坂府東区今橋式丁目壹番地藤田組頭取藤田傳三郎ヘ無代価ヲ以テ讓渡タルニ付佐摩登記所江登記請求之事

一、登記簿江捺印シ其他所弁スル事
右代理之委任状、仍而如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地当時

大坂府東区伏見町三丁目拾四番地

寄留

廣田義二郎

明治廿一年九月三日

359

委任状之事

拙者義北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之權限之事ヲ代理為致候

- 一、島根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百式拾六番字岩屋堂荒地地壹畝七步七合、同国同郡同村ニ式百式拾三番字岩屋堂荒地地式拾六步三合、同国同郡同村ニ百八拾五番字龍源寺山宅地式拾七步壹合、全国同郡同村ニ式百三拾壹番字栃畑谷荒地地四畝三歩壹合、同国同郡同村ニ式百八拾三番字出シ辻荒地地三畝式拾步三合、同国同郡同村ニ百三拾式番字大横相荒地地壹畝拾三歩五合、同国同郡同村ニ式百六拾九番字昆布山谷荒地地三畝拾七步六合、全国同郡同村ニ式百五拾九番字栃畑谷宅地三畝拾七步五合、ノ八筆今回大坂府東区今橋式丁目壹番地藤田組頭取

藤田傳三郎江無代価ヲ以テ讓渡シタルニ付佐摩登記所江登記請求之事
一、登記簿ヘ捺印シ其他所弁スル事
右代理之委任状、仍而如件

- 山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地
当時大坂府東区伏見町三丁目拾四番地

寄留

明治廿一年九月三日

廣田義二郎

360

委任状之事

拙者義北林兼司ヲ以テ部理代人ト定メ、拙者之名義ヲ以テ左之權限之事ヲ代理為致候

- 島根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百式拾五番字岩屋堂宅地八畝式拾四步壹合、今回大坂府東区今橋式丁目壹番地藤田組頭取藤田傳三郎ヘ無代価ヲ以テ讓渡タルニ付佐摩登記所ヘ登記請求之事

一、登記簿ヘ捺印シ其他所弁之事
右代理之委任状、仍而如件

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地当時大坂府東区伏見町三丁

目拾四番地寄留

廣田義二郎

明治廿一年九月三日

361

委任状之事

拙者義大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之權限之事ヲ代理為致候事

一、山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎所有之島根県石見国邇摩郡佐摩村式百貳拾五番字岩屋堂二建築有之家屋第壹号^村第^〇四号迄四棟、今回無代価ヲ以テ拙者へ譲リ受候付佐摩^〇登記所へ登記請求之事

一、右二付佐摩登記所へ出頭、登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事

右代理委任状、仍而如件

大坂府東区今橋式丁目

壹番地藤田組頭取

藤田傳三郎

明治廿一年九月三日

362 委任状之事

一、拙者義大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候事

一、山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎所有之島根県石見国邇摩郡佐摩村ニノ式百貳拾六番字岩屋堂荒地壹畝七步七合、全所ニノ式百貳拾三番字全処式拾六步三合、全所ニ百八拾五番字龍源寺山宅地式拾七步壹合、全所ニノ式百三拾壹番字枋畑谷荒地四畝三歩壹合、全所ニノ式百八十三番字出シ辻荒地三畝廿步三合、全所ニノ百三拾貳番字大横相荒地壹畝拾三步五合、全所ニノ式百六拾九番字昆布山谷荒地三畝拾七步六合、全所ニノ式百五拾九番字枋畑谷宅地三畝拾七步五合、計八筆今回無代価ヲ以テ拙者へ譲リ受候ニ付佐摩村登記所へ登記請求之事

一、右二付佐摩登記所へ出頭、登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事

一、登記済証御下附願二代印之事

右代理委任状、仍而如件

大坂東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎

明治廿一年九月三日

363 委任状之事

一、拙者義大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候事

一、山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎所有之島根県石見国邇摩郡佐摩村式百貳拾五番字岩屋堂宅地八畝廿四步壹合、今般無代価ヲ以テ拙者へ譲リ受候ニ付佐摩登記所へ登記請求之事

一、右二付佐摩登記所へ出頭、登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事

一、登記済証御下附願二代印之事

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎

明治廿一年九月三日

364 印鑑証明願

島根県石見国邇摩郡佐摩村

印鑑 二百五拾九番地寄留

大原順之助

右印鑑御証明被成下度、此段奉願候也

明治廿一年九月

石見国邇摩郡佐摩村二百五拾九番地寄留

大原順之助

佐摩外四村戸長

宗岡光壽殿

365

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地当時大坂府東区伏見町

三丁目拾四番地寄留

譲与人 廣田義二郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村百四拾六番

地寄留秋田県平民

地所譲与ニ付登記願 北林兼司

此価格金四拾五円 大坂府東区今橋式丁目壹番地

此手数数料五拾銭 藤田組頭取

譲受人 藤田傳三郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村二百五拾九

番地寄留兵庫県士族

明治廿一年九月十三日 大原順之助

366

地処登記済証下附願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ式百五拾九番

字栃畑谷

一、市街宅地三畝拾七步五合

地価壹円貳拾五銭九厘

地租金三銭壹厘

同国同郡同村二ノ式百六拾九番

字昆布山谷

一、荒宅地三畝拾七步六合

同国同郡同村二ノ百三拾貳番

字大横相

一、荒宅地壹畝拾三步五合

同国同郡同村二ノ式百三拾壹番

字栃畑谷

一、荒宅地四畝三步壹合

同国同郡同村二ノ式百貳拾六番

字岩屋堂

一、荒宅地壹畝七步七合

同国同郡同村二ノ式百八拾三番

字出シ辻

一、荒宅地三畝貳拾步三合

同国同郡同村二ノ百八拾五番

字龍源寺山

一、宅地廿七步壹合

地価三拾七銭九厘

地租金九厘

同国同郡同村二ノ式百貳拾三番

字岩屋堂

一、荒宅地廿六步三合

同国同郡同村二ノ式百貳拾五番

字岩屋堂

一、宅地八畝廿四步壹合

地価三円六拾九錢壹厘

地租金九錢貳厘

右之地処今般山口県長門国萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎に譲受候二付地券書換願出度候間、登記済之証御下附被成下度、此段奉願候也

明治廿一年九月十三日

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村二百五拾九番地寄留

兵庫県士族

大原順之助

佐摩登記所御中

367

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地当時大坂府東区伏見町

三丁目拾四番地寄留

譲与人 廣田義二郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村百四拾六

番地寄留秋田県平民

地所譲与二付登記願 北林兼司

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

譲受人 藤田傳三郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村二百五拾

此価格金
此手数料

九番地寄留兵庫県士族

明治廿一年九月

大原順之助

*全体に抹消線あり

368 地所開墾願

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百八拾貳番

字村上ノ前

「草生地」

一、山反別式畝拾貳歩

右者隣地其他故障之筋一切無之候二付書面之反別市街宅地二開墾仕度、尤些々タル開墾二付工事八本月十日着手全月廿三日頃落成之見込二候間、開墾御許可被成下度、此段奉願候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取藤田傳三郎代り

石見国邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷

寄留兵庫県士族

大原順之助

明治廿一年九月四日

島根県知事籠手田安定殿

369 地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ貳百五拾九番

字析畑谷

一、市街宅地三畝拾七歩五合

地価壹円貳拾五錢八厘

地租金三錢壹厘

同国同郡同村二ノ貳百六拾九番

字昆布山谷

一、荒宅地三畝拾七步六合

同国同郡同村二ノ百三拾貳番

字大横相

一、荒宅地壹畝拾三步五合

同国同郡同村二ノ貳百三拾壹番

字析畑谷

一、荒宅地四畝三步壹合

同国同郡同村二ノ貳百貳拾六番

字岩屋堂

一、荒宅地壹畝七^歩七合

同国同郡同村二ノ貳百八拾三番

字出シ辻

一、荒宅地三畝貳拾步三合

同国同郡同村二ノ百八拾五番

字龍源寺山

一、宅地廿七步壹合

地価三拾七錢九厘

地租金九厘

外壹畝廿八步六合 荒地

同国同郡同村二ノ貳百貳拾三番

字岩屋堂

一、荒宅地廿六步三合

同国同郡同村二ノ貳百貳拾五番

字岩屋堂

一、宅地八畝廿四步壹合

地価金三円六拾九錢^七七厘

地租金九錢貳厘

右之地処山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎所有之處、明治廿一年九月十三日讓受候ニ付別紙地券状九枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

撰津国東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村寄留

大原順之助

明治廿一年九月十四日
邇摩 郡長中村秀年殿
安濃

370 副申

（^{下脱}）
^八
鉱業用ダイナマイ買入之義七月三十日許可済之上、大坂府下榎南勇太郎ヨリ買入之上運搬済ニ付、別紙運搬許可証壹葉及火薬運搬之義ニ付願書御還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿一年九月十四日
島根県大田警察署御中

〔印〕予而出願セル官地払下願ニ図面相違云々ニ付附箋ノ御下附左ノ通り訂正且副申ノ上差出ス

副申

石見国邇摩郡佐摩村ホ四百拾番官地御払下之義出願致候処、図面相違ニ付附箋ノ上御下付被成候ニ付再応篤々実地取調候処、全ク誤謬ニ有之候ニ付訂正差出候間、至急御許可被成下度、此段副申候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九拾番地寄留

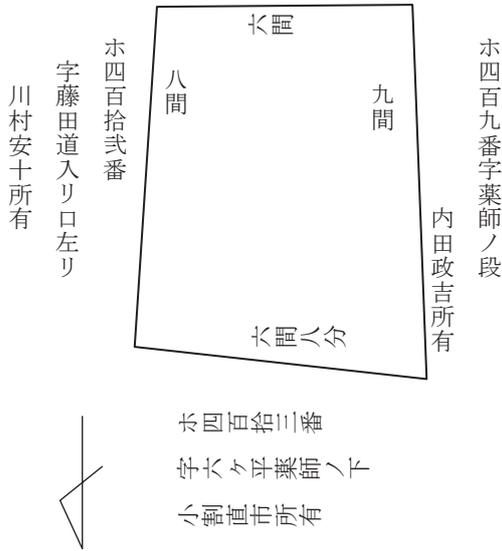
兵庫県士族

大原順之助

明治廿一年九月十九日

島根県知事籠手田安定殿

〔図面訂正〕



委任状之事

拙者義北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左ノ権限ノ事ヲ代理為致候

一、島根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百拾番地ニ存在スル製煉場附属分析炉壹棟坪数四坪、焼釜壹棟坪数拾坪拙者所有之分、今回大阪府東区今橋式丁目壹番地藤田組頭取藤田傳三郎江無代価ヲ以テ譲渡候ニ付佐摩登記処へ登記請求之事
右代理ノ委任状、仍テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当地（時）大阪府東区伏見町

三丁目拾四番地寄留

明治廿一年九月十五日

以下余白

廣田義二郎（印）

*欄外に割印の墨書あり

委任状ノ事

拙者義大原順之助ヲ以テ部理代人ト定メ、拙者之名義ヲ以テ左ノ権限之事ヲ代理為致候

一、山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎所有島根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百拾番地ニ存在スル製煉場付属分析炉壹棟坪数四坪焼釜壹棟坪数拾坪、今回無代価ヲ以テ拙者へ譲受候ニ付佐摩登記所へ登記請求之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭、登記簿へ捺印シ、登記料上納スル事

一、登記済証御下付願二代印之事
右代理之委任状、依テ如件

明治廿一年九月十五日

以下余白



大阪府東区今橋式丁目
壹番地藤田組頭取
藤田傳三郎印

*欄外に割印の墨書あり

374



建物譲渡証書

石見国邇摩郡佐摩村ニ式百拾番地
字岩屋堂

一、建物製煉場附属分析炉壹棟
桁行式間 坪数四坪

一、建物焼釜壹棟
桁行四間 坪数拾坪
梁行式間半

右者は迄拙者所有罷在候処、今般貴殿へ譲渡申処確實也、然ル上ハ将来
御自由ニ進退可被成候、尤モ該建物ニ付他ヨリ異儀申者更ニ無之候、依
テ建物譲渡証一札相渡申処如件

山口県長門国阿武郡萩古萩町
拾三番地平民当時大坂府東区
伏見町三丁目拾四番地寄留
讓渡人 廣田義二郎代理

明治廿一年九月

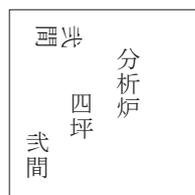
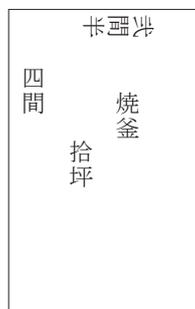
大阪府東区今橋式丁目
藤田組頭取
藤田傳三郎殿

藤田傳三郎殿

375 [建物譲渡証書にかかる図面]

明治廿一年九月廿四日譲渡

石見国邇摩郡佐摩村ニ式百拾番
建物



島根県石見国邇摩郡佐摩村
百四拾六番地寄留
北林兼司

保証人

山口県阿武郡萩古萩町拾三番地
平民当時大阪府東区伏見町三丁目
十四番地寄留
讓渡人廣田義二郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村百四十六番地
寄留秋田県平民北林兼司
同国同郡同村二百六十壹番地
保証人 高田安太郎

藤田組頭取

同国同郡同村二式百十壹番

藤田傳三郎殿

小割安三郎

*全体を破線で囲む

*図面部分は朱書の上から墨で重ね書されている

376 建物登記済^(証脱)下付願

石見国邇摩郡佐摩村二式百拾番地字岩屋堂

一、建物製煉場附属分析炉壹棟

桁行弐間 坪数四坪
梁行弐間

一、建物焼釜壹棟

桁行四間 坪数拾坪
梁行弐間半

右之建物今般山口県阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎ヨリ譲受候
二付、登記済之証御下付被成被下度、此段奉願候也

大阪府東区今橋弐丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村

百五十九番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

明治廿一年九月

佐摩登記所御中

*全体に抹消線あり

377 御証明願

石見国邇摩郡佐摩村二式百十番地

字岩屋堂

一、建物製煉場付属分析炉壹棟

桁行弐間 坪数四坪
梁行弐間

一、建物焼釜壹棟

桁行四間 坪数拾坪
梁行弐間半

右之建物今般大阪府東区今橋弐丁目壹番地藤田組頭取藤田傳三郎へ譲渡
候二付、登記法第四十条ニ依リ所有者タルヲ御証明被下度、此段奉願
候也

山口県阿武郡萩古萩町十三番地

平民当時大坂府東区伏見町

十三番地寄留

廣田義二郎代理

島根県石見国邇摩郡

佐摩村百六十四番地

北林兼司

明治廿一年九月廿四日

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

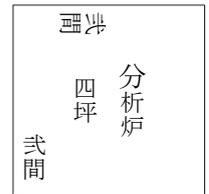
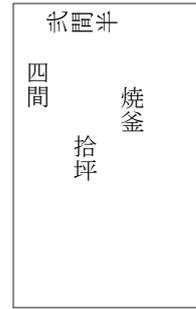
378 「建物譲渡登記にかかる図面」

明治廿一年 譲渡

石見国邇摩郡佐摩村二式百拾番

全郡全村小割安三郎所有借地内

建物



明治廿一年九月廿四日

*破線で囲む

*建物部分は朱書の上から墨で重ね書されている

山口県阿武郡萩古萩町十三番地
 平民当時大阪府東伏見町
 拾四番地寄留

廣田義二郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩

村百六十四番地寄留

秋田県平民

北林兼司

379

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民当時大阪府東区

伏見町三丁目拾四番地寄留

讓渡人 廣田義二郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村

百四拾六番地寄留秋田県平民

北林兼司

建物讓与ニ付登記願

此価格金拾八円

此登記料金式拾五銭

大阪府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村

二百五拾九番地寄留

兵庫県土族

明治廿一年九月廿四日

大原順之助

380

鉷業用火薬類買入願

一、ダイナマイト式百五拾磅 和量三拾貫目

一、雷管三千発

右ハ借区許可地内諸坑道開鑿用并ニ柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致候ニ
 付、大阪府下東区高麗橋壹丁目火薬免許商榷南勇太郎ヨリ買入ノ上拙者
 処有之火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候条、免手形御下付被成下度、戸長
 奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山

鉷業人

藤田傳三郎代理

全郡全村百九十番屋敷寄留

兵庫県土族

明治廿一年九月廿六日

大原順之助

島根県

大田警察署御中

381 家屋解払届
佐摩村二式百七拾貳番
字昆布山谷

一、建家壹棟 桁行三間 坪数七坪五合
梁行貳間半

但瓦葺平屋

右ハ去ル明治廿年九月建築届出之分今般都合ニ依リ解払致候間、略図相副此段御届仕候也

大阪府東区今橋式丁目壹番地
藤田組頭取

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九十番屋敷寄留

兵庫県士族

大原順之助

明治廿一年九月廿六日

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿



桁三間

新横相坑口
見張所
平屋瓦葺

梁貳間半

382 副申

鉱業用火薬買入之義ニ付、客月十日大阪府東区高麗橋壹丁目榎南勇太郎

右買入出願御許可済ノ処、都合ニ依リ全府下西区京町堀通り五丁目拾貳番地火薬類売捌免許商粟谷品三ヨリ買入之上運搬済ニ付、別紙運搬免許証壹葉還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同郡同村百九十番屋敷寄留

兵庫県士族

大原順之助

明治廿一年十月五日

島根県大田警察署御中

383 死亡御届

原籍岩手県陸中国南岩手郡

仁王村字大澤川原小路四拾九番地平民

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五十四番地寄留

社員 向井田司郎

当十月廿八年十一月

右之者本年七月初旬ヨリ脚気症ニ罹リ種々療養ニ尽力致居、少々快方之節ハ出務罷在候処、客月下旬ヨリ追々重症ニ相成遂ニ本月三日午後九時衝心症ニ変シ死亡仕候間、此段御届申上候也

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村

式百番屋敷ノ一寄留

右引受人

北林兼司

明治廿一年十月四日

藤田組本店御中

384

印紙
拾銭

保証証書

一、拙者引受之社員向井田司郎義本月三日病死仕候処、勤務中給金等受取ヘキ金員ハ悉皆領収シ一切之事務ニ於ルモ向後御組ヘ対シ聊カ申分無之万足仕候、且御使雇中御組社員之名儀ヲ以テ金品借入或ハ貸借等一切無之都テ御組ヘ御迷惑ノ關係無御座候、依テ為後証拙者ヨリ一札差進処如件

故社員向井田司郎

引受人

当時島根県石見国邇摩郡

佐摩村式百番屋敷ノ一寄留

北林兼司

明治廿一年十月四日

藤田組

御中

385

副申

鈷業用火薬類タイナマイト買入願^{之義}九月廿六日ヲ以願上條御許可濟之分本月四日大坂ニテ買買^之ケ本日到着致候間、別紙運搬許可証壹葉還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山町

鈷業人

藤田傳三郎代理

全郡全村寄留

大原順之助

明治廿一年十月十八日

鳥根県

大田警察署御中

386

印紙
拾銭
印紙
拾銭
証

一、金五百五拾円也

右ハ弊所事業上無拠要用有之大坂本店発銀行為替券着到ニテ正ニ借用仕候也

但本券着到ノ上本証書^{「欠」}卜引替ノ事

明治廿一年十月廿五日

藤田組大森鈷山事務所長

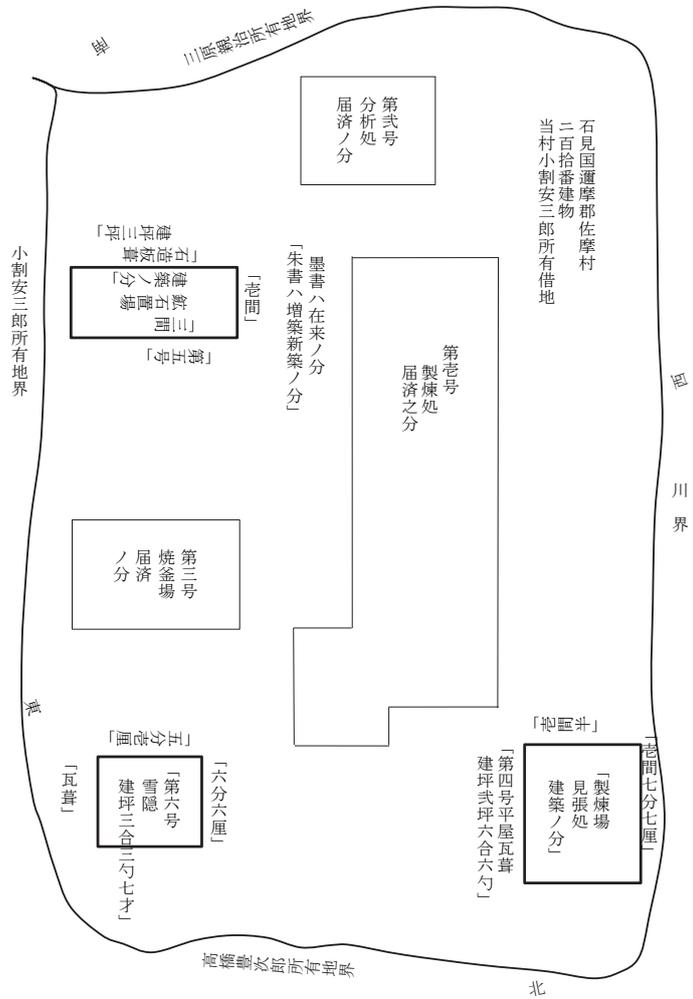
大原順之助^印

大森町

熊谷信常殿

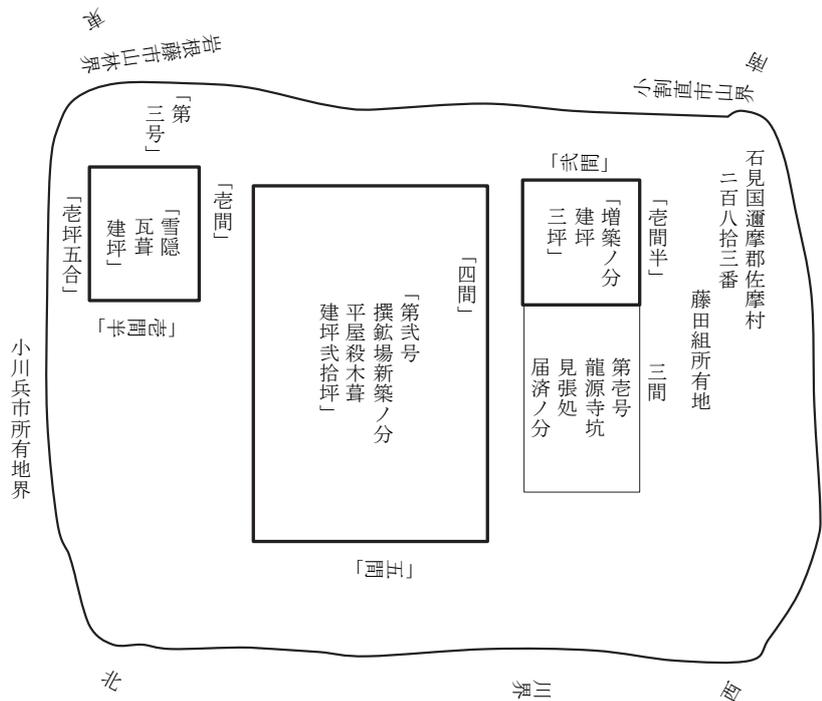
*差出人名の行頭に割印B

「建物」届



38

本組所有地



右図面之通り建築致候間、此段御届仕候也

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田組頭取

明治廿一年十月三十日

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九十番屋敷寄留

兵庫県土族

大原順之助

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

* 図面中の朱線を太線で表示

388 御届

従来大坂府下ニ於而ハ各戸地番号ヲ称へ来り候処、今般屋敷番号ヲ公称スヘキ旨其筋より告示相成候、就テハ自今東区今橋式丁目壹番地ヲ壹番屋敷ト変更相成候間、此段御届及候也

大坂府東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿一年十月十日

邇摩安濃郡長中村秀年殿

大田警察署大森分署御中

佐摩外四村戸長宗岡宗光寿殿

仁万 本陣外四村戸長安井好尚殿

389 鉦業用火薬類買入願

一、ダイナマイト式百五拾磅 和量三拾貫目

一、雷管三千発

右ハ借区許可地内諸坑内外ニ柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候ニ付、大坂府下火薬免許商ニテ買入之上拙者処有之火薬庫江貯蔵其時々支用可致候条、免手形御下付被成下度、戸長奥印ヲ以此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山町

鉦業人

藤田傳三郎代理

全郡全村百九十四番屋敷

寄留兵庫県土族

大原順之助

明治廿一年十一月十二日

島根県

大田警察署御中

390 御証明願

邇摩郡大田村乙百廿式番

字イタヤ

伐替畑「壹反壹畝拾其歩之八」八畝「拾四其内」

一、伐替畑壹畝拾式歩

地価金式拾四錢式厘

地租金「六」壹厘

同村乙百式拾番

字板屋下モ

伐替畑壹反八畝拾九歩之内

別紙図面之通り

一、伐替畑拾八歩

地価金拾四錢壹厘

地租金四厘

同村三千六百七拾番

字柑子谷西平

山三町貳反九歩之内

一、山貳畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

同村千六百三番

字小暮

一、畑壹畝貳拾壹歩

地価金壹円五十六錢貳厘

地租金三錢九厘

右之地処今般

譲与候ニ付登記願出候間、登記法第四十条ニ依リ所有者タルノ及右物件ニ付故障無之ヲ御証明被成下度、此段奉願候也

邇摩郡大田村

明治廿一年十一月

仁万外四村戸長

安井好尚殿

別紙図面之通り

別紙図面之通り

391 別紙図面

邇摩郡大田村乙百廿貳番

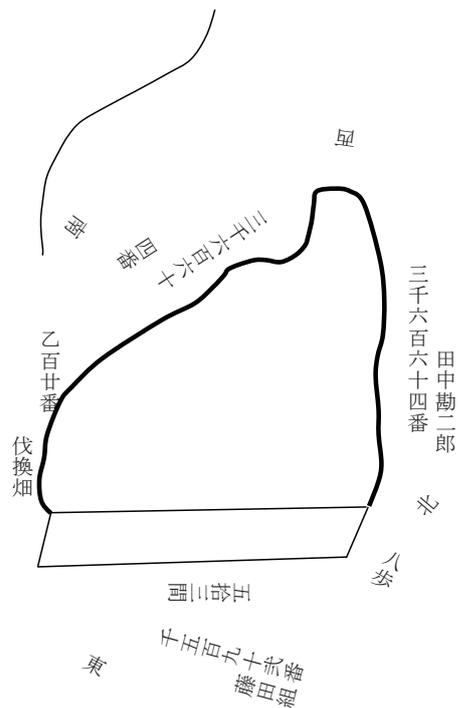
字イタヤ

邇摩郡大田村

伐替畑壹反壹畝拾八歩之内
一、伐替畑壹畝拾貳歩

外壹反六歩残地

「売渡」
譲与人 田中勘次郎
「買」
譲請人



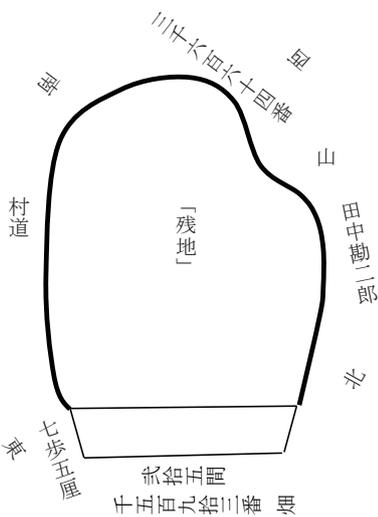
同村乙百貳拾番
字板屋下モ

伐替畑壹反八畝拾九歩之内

一、伐替畑十八歩

外壹反八畝壹歩残地

「買」
譲請人
「売渡」
譲与人 田中勘次郎



同村三千六百七拾番

字柑子谷西平

山三町式反九歩之内

一、山式畝拾八歩

外三町壹反七畝廿壹歩

「売渡」
 同村乙百貳拾番
 譲受人 田中勘次郎

「買」
 譲受人

* 図中の朱線を太線で表示

392 地処登記済証下附願

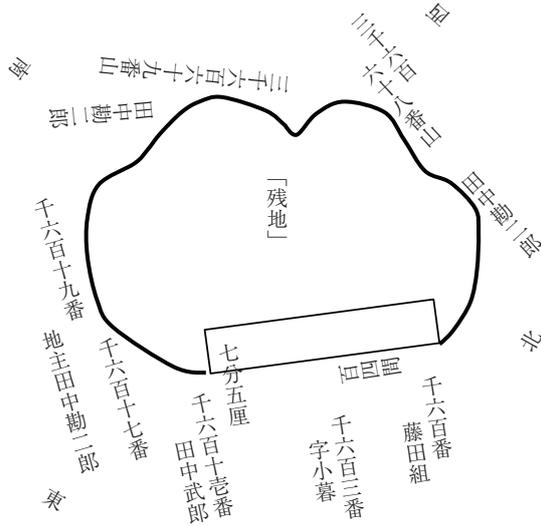
瀬摩郡大國村乙百廿貳番

字イタヤ

「壹反式畝拾貳歩」
 伐替畑八畝式拾之内

一、伐替畑壹畝拾貳歩

地価金貳拾四銭貳厘



地租金六厘

同村乙百貳拾番

字板屋下七

伐替畑壹反八畝拾九歩之内

一、伐替畑拾八歩

地価金拾四銭壹厘

地租金四厘

同村三千六百七拾番

字柑子谷西平

山三町式反九歩之内

一、山式畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

同村千六百三番

字小暮

一、畑壹畝貳拾壹歩

地価金壹圓五拾六銭貳厘

地租金三銭九厘

右之地処今般瀬摩郡大國村貳百三拾番屋敷田中勘次郎ヨリ譲受候ニ付地券書換願出度候間、登記済之証御下附被成下度、此段奉願候也

明治廿一年十一月

浜田治安裁判所

佐摩登記所御中

393

石見国邇摩郡大国村

式百三拾番屋敷

売渡人 田中勘次郎

地所売買ニ付登記願

此代価金六拾五円

此登記料壹円

羽後国北秋田郡真木沢鉦山八拾九番地

当時石見国邇摩郡佐摩村式百番屋敷ノ一寄留

明治廿一年十一月

買請人 北林兼司

394

地券書換願

石見国邇摩郡大国村乙百式拾式番

字イタヤ

伐替畑壹反壹畝拾八歩北附

地価金貳円五厘

地租金五銭

同番ノ内第一

一、伐替畑壹畝拾式歩

地価金貳拾四銭貳厘

地租金六厘

外反別

壹反六歩

残地

地価金壹円七拾六銭三厘

地租金四銭四厘

開闢同郡同村乙百式拾番

字板屋下七

伐替畑壹反七畝拾式歩北附

地価金四円壹銭

地租金拾銭

同番ノ内第一

一、伐替畑拾八歩

地価金拾三銭八厘

地租金四厘

外反別

壹反六畝貳拾四歩

残地

地価金三円八十七銭壹厘

地租金九銭七厘

開闢同郡同村三千六百七拾番

字柑子谷西平

山三町貳反九歩北附

地価金貳円拾六銭五厘

地租金五銭四厘

同番ノ内第八

一、山式畝拾八歩

地価金壹銭八厘

地租金壹厘

外反別

三町壹反七畝廿壹歩

残地

地価金貳円拾四銭六厘

地租金五銭四厘

同国同郡同村千六百三番

字小暮

一、畑壹畝廿壹歩

地価金壹円五拾六錢貳厘

地租金三錢九厘

右之地処石見国邇摩郡大國村。○〔千五百廿貳番地〕
田中勘次郎所有之處、明治廿一年十一月
十三日買請候ニ付別紙地券貳枚御書換被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願
候也

買請人 羽後国北秋田郡真木沢鉦山

八拾九番地

北林兼司

明治廿一年十一月十九日

邇摩

郡長中村秀年殿
安濃

395 「証明書」

〔庶第八拾九号〕

当鉦山事務処ニ使役スル諸職工負傷スル事有ル時治療方加藤準吉氏へ委
托致居候処、今般地方医師集会有之趣ニ候へ者、目下非常之重症患者ニ
名有之候ニ付右加藤氏ハ片時モ他出難相成候、右及証明候也

明治廿一年十一月九日

藤田組大森鉦山事務処

*欄外に割印B

396

角力興行之義ニ付願
〔御届〕

邇摩郡大國村字柑子谷永久坑道開坑祝儀為メ来ル十二月一日午後一時

永久坑道下夕荒地ニ於而小供角力興行仕度、尤モ無木戸にて当日雨天之
節八翌二日ニ順延仕度候間、御免許被成下度、此段奉願候也
〔御届〕

邇摩郡佐摩村百九拾番地寄留

兵庫県士族

明治廿一年十一月廿八日

大原順之助

鳥根県大田警察署

大森分署御中

397

鉦業用火薬買入願

一、火薬貳百貫匁

右者借区許可地内諸坑外ニ柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候付、大坂
府下火薬免許商ニテ買入之上拙者処有之火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候
条、免手形御下附被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村鉦山町

鉦業人

藤田傳三郎代理

全郡全村百九拾番屋敷寄留

兵庫県士族

明治廿一年十二月三日

大原順之助

鳥根県大田警察署御中

398

御届

本日午後壹時貳拾分頃本谷工場ニ於而爆発物破烈之為負傷者有之候、其
原因ハ未夕不明瞭ニ御座候得者、不取敢御届申上候也

明治廿一年十二月十二日
島根県大田警察署

大森分署御中

佐摩村銀山

大原順之助

399 御払下地御引渡ニ付請書

石見国邇摩郡佐摩村ホ四百拾番
字葉師跡

一、荒蕪地壹畝貳拾四歩

右ハ官有地第三種ニ有之候処、今般御払下御指令ニ相成代金上納濟ニ付
該地御引渡相成正ニ領収致候、且又隣地境界等ニ於テ故障筋無之候、依
テ隣地主連署此段御請書差上候也

大坂府下藤田組頭取藤田傳三郎代リ
邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留
大原順之助
明治廿一年十二月十五日

同村

隣地主 小割直市

同村

〃 川村安十

同村

〃 内田政吉

佐摩外四村戸長

宗岡光壽殿

400 副申

鉦業用ダイナマイ(下脱)、雷管子而許可濟之上、大坂府下榎南勇太郎より買入
昨廿二日到着、運搬済ニ御座候間、別紙運搬許可証葉御返納申上候、
此段副申候也

邇摩郡佐摩村銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

明治廿一年十二月廿二日

大原順之助

島根県大田警察署御中

401

印紙
廿六銭
記

一、金七百円也

右ハ弊所事業上無扨要用有之、来ル廿六日迄正ニ借用仕候也

明治廿一年十二月廿四日

大森鉦山藤田組出張所長

大原順之助

大森町

熊谷信常殿

402 「請書」

火薬取扱方取締向御注意之御書面謹テ了承仕候、先般本谷ニ於テタイナ
マイト爆発之后嚴重取締致居候得共将来尚一層注意可致候、此段御請迄
可申上候也

明治廿一年十二月廿四日

大森鉦山藤田組出張所長

大原順之助

大森分署長

警部佐々田豊殿

追テ各坑火薬取扱人并火薬庫ヨリ出入レ人名ハ不日更ニ可申上候、此段申添候也

403 副申

本月三日付ヲ以鉦業用火薬式百貫目買入相願候末、免手形御下付ヲ得大坂府下免許商ヨリ買入昨廿七日到着致候間、別紙運搬許可証式葉御返納申上候、右副申候也

明治廿一年十二月廿八日

邇摩郡佐摩村銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

島根県

大田警察署御中

404



一、金五百円也

右者弊所事業上無拠要用有之、正ニ借用仕候也

明治廿一年十二月三十日

藤田組出張所

大原順之助

大森町

熊谷信常殿

*金額上部欄外に割印B

405



委任状

拙者義都合ニ依リ本組社員加賀谷定治ヲ以部理代人ト相定、左之権限之事ヲ委任ス

一、大坂府東区今橋式丁目壹番屋敷藤田組本店ヨリ拙者宛電信為替金五百円也、浜田第五十三国立銀行支店ニテ受取方及同事件ニ係ル事

件処弁之事

右代理委任状、如件

藤田組社員

石見国邇摩郡佐摩村

銀山町

北林兼司

明治廿一年十二月三十日

*欄外上部に割印B

406 御届

昨廿一年一月十四日付ヲ以御届申上置候佐摩村ニ式百十六番地ニ設置シタル藤田組大森鉷山事務処、今回鉷業上ノ便益ヲ計リ事務ヲ敏捷セシメンカ為メ、本日より同村ホ三百八拾式番字村上ノ前江転設シ、大森鉷山藤田組出張所^(註ト)并改称致候間、為念此段御届申上置候也

明治廿二年一月三日

邇摩郡佐摩村銀山鉷業人

藤田組頭取藤田傳三郎代理

大原順之助

郡役処

警察分署 各通

戸長役場 御中

407 追伸

先般火薬取扱人名不日御届可仕旨申上置候所、右ハ左記之通ニ相定メ候間、此段御届仕候也

一、火薬庫ヨリ出入レ人名 三宅丈一郎
永井貞蔵

一、銀山部現場火薬取扱人 須田浅市

一、永久部全上 裏松勇太郎

一、本谷部全上 小川兵市

ノ

明治廿二年一月五日

藤田組出張所主務

大原順之助

大森分署長

警部佐々田豊殿

*藤田組大森鉷山所便箋に記載

(表紙)

明治廿二年一月ヨリ

々廿四年十二月マテ

要書録

〔^{〔貼紙〕}永年保存^{〔貼紙下大〕}〕森鉦山藤田組出張所

(表紙見返)「藤田組

大森鉦山事務処」

* 剥がれた付箋の朱書「本書写取第三十四号附属書ニ添付スヘキ分」
* 付箋は見返しと本文の間に挟まれており、本来の貼り付け位置は不明

408 御届

昨二十一年一月十四日付ヲ以御届申上置候佐摩村ニ式百十六番地ニ設置シタル藤田組大森鉦山事務処、今回鉦業上之便益ヲ計リ事務ヲ敏捷セシメンカ為本日より同村ホ三百八拾式番字村上ノ前江転設シ大森鉦山藤田組出張所ト改称致候間、為念此段御届申上置候也

邇摩郡佐摩村銀山鉦業人

藤田組頭取藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿二年一月三日

邇摩安濃郡長中村秀年殿

大田警察署大森分署長

永谷増衛殿

佐摩村外四村 宗岡光寿殿

戸長

各通

409 追伸

先般火薬取扱人名不日御届可仕旨申上置候所、右ハ左記之通ニ相定メ候間、此段御届仕候也

一、火薬庫より出入レ人名

三宅丈一郎
永井貞蔵

一、銀山部現場火薬取扱人

須田浅市

一、永久部全上

裏松勇太郎

一、本谷部全上

小川兵市

明治廿二年一月五日

藤田組出張所主務

大原順之助

大森分署長

警部佐々田豊殿

410 自廿一年九月至全十二月鉦業概況報告

前報告期日九月四日已来十二月末日ニ至ル当処之概況左ニ開伸仕候

一、銀山部下底堅坑ハ漸次掘下リ已ニ村上坑ノ下式百九拾尺ノ深ニ達シ、尚三百尺掘下リ永久坑道準ニ達シテ両坑連絡スベキ見込ナリ

一、全部製煉撰鉞操業ノ順序略ホ整頓セリト雖モ、前途開坑事業之夥多ナル今日採鉞ヲ営ムハ却テ不利益ナルヲ以テ断然之ヲ中止シ、專ラ開坑採鉞ヲ行フト為セリ

一、前項ノ為メ役員職工合テ百有余名ヲ減セリ

一、永久部永久坑道改修工事ハ障碍ナク進歩シ已ニ三千有余尺ノ間取明ヲ為セリ

一、本谷部大久保坑内開坑採鉞ノ工事漸次進歩シ已ニ数多ノ採鉞場ヲ檢出セリト雖モ、採鉞ハ後日大仕掛ヲ営ム計画ニテ今日ハ依然開坑採鉞ヲ専務トセリ

邇摩郡佐摩村鉞業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿二年一月十一日

邇摩安濃郡長中村秀年殿

411 御払下地賦税御検査願

邇摩郡佐摩村ホ四百拾壹番

字葉師跡

一、元荒蕪地壹畝貳拾四歩

一、郡村宅地成反別壹反五畝拾壹歩

内壹反三畝拾壹歩丈量増

此地価金五円九拾九銭三厘

地租金拾五銭

十二月分地租金壹銭三厘

是ハ明治廿一年十一月中御払下ニ付全年全月代金上納済ニ付二十二
年ヨリハ全額納税之分

大坂府東区今橋
式丁目壹番屋敷
地主藤田組

類地比較ホ八拾三番
之内第壹

反金三円九拾銭

右ハ村内官有地明治廿一年十一月廿六日大坂府東区今橋式丁目壹番屋敷藤田組江御払下相成候ニ付、近傍類地之比較ヲ以テ地価取調候処、書面之通りニテ彼我權衡上不平等無御座候間、實地御検査之上賦税御聞届被降度、実測図相添へ此段奉願候也

大坂府東区今橋式丁目壹番屋敷
藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九十番地

寄留兵庫県士族

大原順之助

明治廿二年一月
鳥根県知事籠手田安定殿

*付箋（朱書）「指令書類」

412 [図面]

邇摩郡佐摩村ホ四百拾壹番

字葉師跡

一、元荒蕪地壹畝貳拾四歩

一、郡村宅地成反別壹反五畝拾壹歩

(一) 三百壹坪七勺

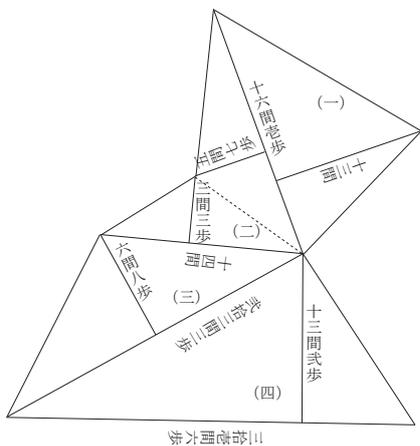
(二) 四拾六坪貳合

(三) 百五拾八坪四合四勺

(四) 四百拾七坪五合貳勺

合計九百貳拾貳坪八合三勺

二除四百六拾壹坪四合壹勺五才



反別老反五畝拾壹歩
右八御払下地々盤丈量ノ処野取絵図面前記之通無相違無御座候也

大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷
藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九拾番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

明治廿二年一月

*本文・図中とも漢数字の()のみ朱書

413 代理人御届

邇摩郡大国村式百三拾番屋敷平民

田中正容

右八私義御部内大国村ニ於テ土地処有仕候ニ付、該地ニ係ル納税ハ前記
之人名ヲ以テ代理為致候ニ付、連署ヲ以テ此段御届仕候也

明治廿三年一月

秋田県羽後国北秋田郡真木沢鉦山

八拾九番地

当地島根県石見国邇摩郡佐摩村

百九拾番地寄留平民

北林兼司

邇摩郡大国村

代理人 田中正容

仁万外四村戸長

安井好尚殿

414 建築届

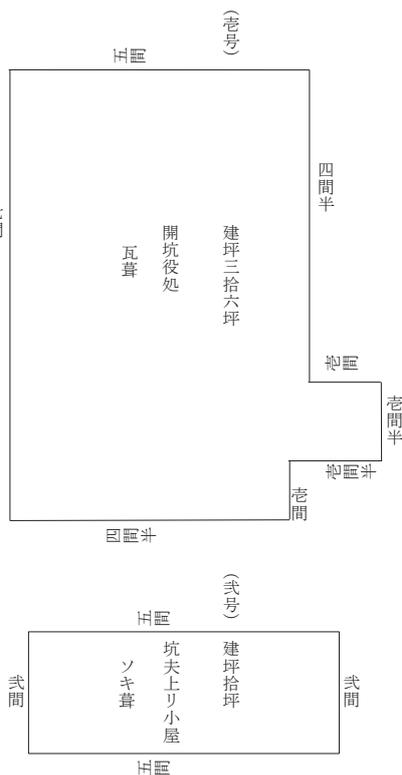
邇摩郡大国村千五百八拾七番

字イタヤ向上ミ

田五畝九歩ノ内

同郡同村式百四拾六番屋敷ノ式

自分処有地



右建築致候間、此段御届仕候也

大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿二年二月

仁万外四村戸長

安井好尚殿

415 建築届

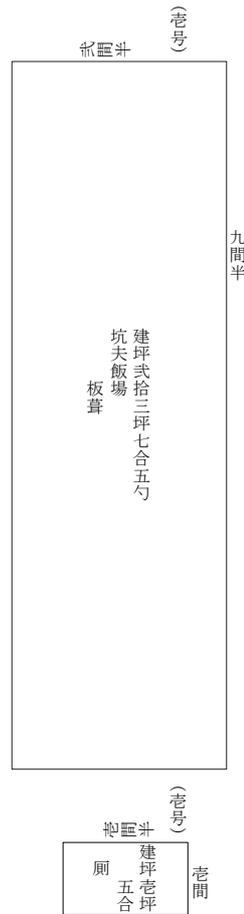
邇摩郡大国村千六百番

字山口

田式畝三步之内

同郡同村式百四拾八番屋敷ノ式

自分処有地



右建築致候間、此段御届仕候也

大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿二年二月

仁万外四村戸長

安井好尚殿

416 委任状之事

拙者儀大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左ノ権限ノ事ヲ代理為致候事

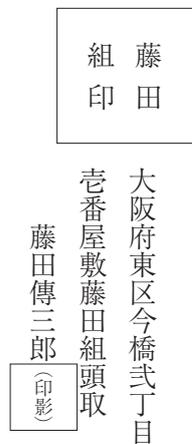
一、秋田県羽後国北秋田郡真木沢鉦山北林兼司所有之嶋根県石見国邇摩

郡大国村三千六百七拾番之内第八字柑子谷西平、山林式畝拾八歩、此地価壹拾錢八厘、全県全国全郡全村乙百式拾番之内第壹字板屋下モ、畑拾八歩、此地価壹拾四錢壹厘、全県全国全郡全村千六百參番字小暮、畑壹畝式拾壹歩、此地価壹円五拾六錢式厘、全県全国全郡全村乙百式拾番ノ内第壹字板屋、畑壹畝拾壹歩、此地価式拾四錢式厘已上四筆、今回無代価ヲ以テ拙者へ譲り受候付佐摩登記所江登記請求之事

一、右二付佐摩登記所江出頭登記簿江捺印シ、登記料ヲ上納スル事

一、登記済証御下付願ニ代印ノ事

右代理ノ委任状、依テ如件



明治廿二年一月卅一日

「右委任状ハ鉦第四拾式号一月三十一日付書状ヲ以本店より送付被下、二月四日受入」

*印影は朱書

*欄外に朱書「組本店割印」

417 御証明願

石見国邇摩郡大国村乙百式拾番之内第壹

字板屋

一、畑壹畝拾壹歩

地価金式拾四錢式厘

地租金六厘

全国全郡全村乙百貳拾番之内第壹
字板屋下毛

一、畑拾八歩

地価金拾四銭壹厘

地租金四厘

全国全郡全村三千六百七拾番之内第八
字柑子谷西平

一、山林貳畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

全国全郡全村千六百三番
字小暮

一、畑壹畝廿壹歩

地価金壹円五拾六銭貳厘

地租金三銭九厘

右之地所今般大阪府東区今橋貳丁目壹番屋敷藤田組頭取藤田傳三郎へ譲
与候ニ付登記願出候間、登記法第四十条ニ依リ所有者タルヲ及右物件ニ
付故障無之ヲ御証明被成下度、此段奉願候也

羽後国北秋田郡

明治廿二年二月八日

真木沢鉦山八拾九番地

当時石見国邇摩郡佐摩村

貳百番地ノ壹寄留

北林兼司

仁万外四村戸長

安井好尚殿

*表題上の欄外から朱書「此分無用」

418

羽後国北秋田郡真木沢鉦山八拾九番地
当時石見国邇摩郡佐摩村
貳百番地之壹寄留
北林兼司

地所讓渡ニ付登記願

四拾五円

此相当時価金四拾五拾五銭

五拾銭

此登記料金五銭

大阪府東区今橋貳丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

明治廿二年二月廿八日

大原順之助

419

地所讓渡証

石見国邇摩郡大国村乙百貳拾貳番之内第壹

字板屋

一、畑壹畝拾貳歩

地価金貳拾四銭貳厘

地租金六厘

全国全郡全村乙百貳拾番之内第壹

字板屋下毛

一、畑拾八歩

地価金拾四銭壹厘

地租金四厘

全国全郡全村三千六百七拾番之内第八

字柑子谷西平

一、山林式畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

全国全郡全村千六百三番

字小暮

一、畑壹畝廿壹歩

地価金壹円五拾六錢貳厘

地租金三錢九厘

右之地所拙者処有之所今般双方熟議之上無代価讓渡候所実正也、然ル上ハ貴殿自由ニ所持可被成候、就而ハ向後該地ニ係ル税租ハ都テ貴殿ヨリ上納可被成候、且又右地所是迄書入質入其他之義ニ付故障ケ間敷事更ニ無之、万一異儀申出ルモノ有之候節ハ拙者引受取捌毫モ貴殿へ御迷惑筋相掛申間敷候、依テ地所讓渡証一札相渡申候処如件

羽後国北秋田郡真木沢鉦山八拾九番地

当時石見国邇摩郡佐摩村

式百番地之壹寄留

讓渡人 北林兼司

石見国邇摩郡佐摩村式百七番屋敷

保証人 上野帙次郎¹⁴

明治廿二年二月八日

大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎殿

420 地処登記済証下付願

石見国邇摩郡大国村乙百式拾貳番之内第壹「柴草萱山」

字板屋

一、畑壹畝拾貳歩

地価金貳拾四錢貳厘

地租金六厘

全国全郡全村乙百式拾番之内第壹「柴草萱山」

字板屋下モ

一、畑拾八歩

地価金拾四錢壹厘

地租金四厘

全国全郡全村三千六百七拾番之内第八「柴草萱山」

字柑子谷西平

一、山林式畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

全国全郡全村千六百三番

字小暮

一、畑壹畝廿壹歩

地価金壹円五拾六錢貳厘

地租金三錢九厘

右之地所今般羽後国北秋田郡真木沢鉦山八拾九番地当時石見国邇摩郡佐摩村式百番地ノ壹寄留北林兼司ヨリ讓受候ニ付地券書換願出度候間、登記済之証御下付被下度、此段奉願候也

大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

明治廿二年

百九拾番屋敷寄留

二月廿八日

大原順之助

浜田治安才判所

佐摩出張処

御中

421

「△印」地処〔証明願〕荒賣公証訂正願

「石見国邇摩郡大国村三千六百七拾番ノ内第八柴草萱山

字柑子谷西平

一、山林式畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

石見国邇摩郡大国村三千六百七拾番ノ内第八

字柑子谷西平

一、山式畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

右之地処墨書之通昨廿一年十二月十八日当役場ノ公証ヲ受ケ、田中勘二郎ヨリ買受ケ、浜田治安才判所〔証明願〕佐摩出張所ニ於テ大国村地所登記第六拾九号ヲ以登記ヲ得、登記済証御下付相成候ニ付、過ル一月廿四日邇摩安濃郡役所へ地券書換願出致候所地租條例ニ仍リ地券面山林卜記入下付相成、而シテ右地処今回大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷藤田組頭取藤田傳三郎へ無代価譲渡ノ契約致候ニ付、浜田治安才判所〔証明願〕佐摩出張所へ登記出願致候所、当初登記済証卜地券面卜地目変更致居登記不相成候間、前記朱書之通地目訂正之義御証明相成度、此段奉願候也

仁万外四村戸長

安井好尚殿

422

副書

羽後国北秋田郡

真木沢鉦山八拾九番地

当时石見国邇摩郡佐摩村

式百番地ノ壹寄留

北林兼司

秋田県羽後国北秋田郡真木沢鉦山北林兼司より大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷藤田組頭取藤田傳三郎江地所讓受、別紙委任状文中佐摩登記処卜

アルハ浜田治安裁判処佐摩出張処之誤載ニテ全ク事実上ニ於テ相違無之

義ニ付此俣御受理相成度、此段副申仕候也

大阪府東区今橋式丁目

壹番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村

百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿二年二月廿八日

浜田治安裁判所

佐摩出張処御中

423

登記
印紙
五銭

秋田県羽後国北秋田郡
真木沢鉾山
北林兼司

地処変更登記願

此手数料金五銭

明治廿二年二月廿八日

登記変更願

石見国邇摩郡大園村乙百式拾貳番之内第壹

字板屋

一、伐替畑壹畝拾貳步

全国全郡全村乙百式拾番之内第壹

字板屋下モ

一、伐替畑拾八步

右ハ明治廿二年十二月十八日大園村登記第六拾九号ヲ以田中勘二郎より拙者買受之際戸長安井好尚江書入之旨承知致居候所、今般田中勘二郎ニ於テ義務ヲ果シ公証取消相成候ニ付登記簿中該事由御取消相成度、此段奉願候也

秋田県羽後国北秋田郡

真木沢鉾山

北林兼司

明治廿二年二月廿八日

浜田治安裁判所

佐摩出張処御中

424

登記
印紙
五銭

秋田県羽後国北秋田郡
真木沢鉾山
北林兼司

地処変更登記願

此手数料金五銭

明治廿二年

425

登記
印紙
五銭

「本印小別紙廿九枚」

秋田県羽後国北秋田郡

真木沢鉾山

北林兼司

登記贖本下渡願

此手数料金拾五銭

明治廿二年二月廿八日

登記贖本下渡願

右見園邇摩郡大園村乙百式拾貳番之内第壹

字板屋

一、伐替畑壹畝拾貳步

全国全郡全村乙百式拾番之内第壹

字板屋下モ

一、伐替畑拾八步

右之地所明治廿二年 月 日付ヲ以登記簿事由欄内御取消相願居候并

付、該登記表更願并封不札

「二、第六拾九号物件之謄本入用二付」謄本御下渡被下度、此段奉願候也

秋田県羽後国北秋田郡

真木沢鋹山

明治廿二年二月廿八日

北林兼司

浜田治安裁判所

佐摩出張所御中

426

巻銭
証券
印紙

証

一、金五百円也

右ハ本月廿三日付御預金六百七拾円也之内正ニ受取候也

明治廿二年二月廿五日

大原順之助

熊谷信常殿

427

荒地起返地位御検査願

石見国邇摩郡大国村字表田千五百九拾番之内
字表田

「元荒田反別四畝三步」

一、曲草生地戾反別四畝三步

此地価金三錢五厘

地租金厘位未滿

類地比較

三千六百七拾番之内第八柴草萱山

町八拾二錢五厘六毛
成金八錢貳厘五毛

但明治十七年ヨリ全廿一年迄五年繼年季明起返

右ハ村内荒地年季御附与相成候所本年季明起返二付、丈量ヲナシ近傍類地之比較ヲ以テ適當之地価取調候所、書面之通ニテ彼我権衡上不公平無御座候間、実地御検査之上賦税御聞届被下度、実測図面相添へ此段奉願候也

明治廿二年二月

大阪府東区今橋式丁目

藤田組

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

大原順之助

島根県知事箆手田安定殿

*欄外朱書「三月二日役場ヨリ付箋ニ依リ朱書之廉引直差出シタリ、但田中迄送ル」該願書ハ大国村分各所一冊ニナシ連署進達ニ付三月五日返戻

428

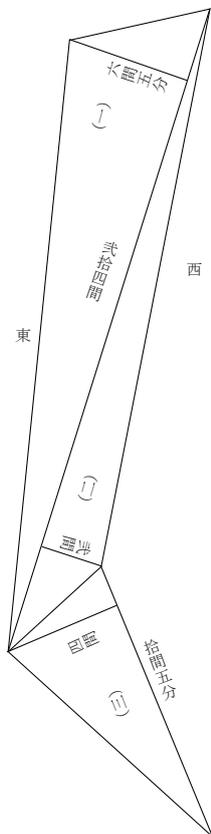
右絵図面写

石見国邇摩郡大国村千五百九拾番外書

字表田

「元荒田反別四畝三步」

一、曲草生地戾反別四畝三步



- (一)百五拾六坪
- (二)四拾八坪
- (三)四拾貳坪

合計貳百四拾六坪
此二除百貳拾三坪
此坪数四畝三步

右ハ荒地年季明地目変換ニ付地盤丈量仕候所、野取図面前記之通り相違無御座候也

明治廿二年二月

大阪府東区今橋貳丁目

藤田組

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

大原順之助

島根県知事箆手田安定殿

*欄外朱書「該図面取調違之廉有ルヲ以三月五日再応返戻ニ付三月九日更調替進達スニ付本書不用」

*図中の()書きの漢数字は朱書

429 [届]

明治廿三年第三内国勸業博覧会江出品スベキ品名左記之通ニ有之候間、此段御届申上候也

一、鋳業及冶金術

第一類 金属類 (一)自然銀 (二)銀鋳 (三)含銀銅鋳 (四)含銀鉛鋳

(五)含銀亜鉛鋳 (六)無名異鋳 (七)炭酸鉄鋳

(八)鋳脈中ノ伴金ツルダイ石及上下ノ岩盤各種

第二類 (一)銀山鋳業沿革誌 (二)旧時鋳業方式図解 (三)地盤鋳脈図

- (四)統計表
- (五)将来鋳業意見書

第三類 含金銀型銅

明治廿二年二月廿八日

鋳業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

邇摩安濃郡長中村秀年殿

430 地券書換願

石見国邇摩郡大国村乙百貳拾貳番之内第壹

字板屋

一、畑壹畝拾貳歩

地価金貳拾四錢貳厘

地租金六厘

全国全郡全村乙百貳拾番之内第壹

字板屋下モ

一、畑拾八歩

地価金拾四錢壹厘

地租金四厘

全国全郡全村三千六百七拾番之内第八「柴草萱山」

字柑子谷西平

一、山林式畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

全国全郡全村千六百三番

字小暮

一、畑壹畝廿壹歩

地価金壹円五拾六錢貳厘

地租金三錢九厘

右之地所羽後国北秋田郡真木沢鉦山八拾九番地北林兼司処有之処、明治廿二年二月八日讓受候ニ付別紙地券狀四枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以此段奉願候也

大阪府東区今橋式丁目

壹番屋敷藤田組頭取

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九拾番屋敷寄留

大原順之助

邇摩安濃郡長中村秀年殿

431 鉦業用火薬類買入願

一、ダイナマイト貳百五拾磅 和量三拾貫目

右ハ借区許可地内諸坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候ニ付、大阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者処有之火薬庫江貯蔵其時々支用可致候条、免許手形御下付被成下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山町鉦業人

藤田傳三郎代理

全郡全村寄留兵庫県士族

大原順之助

明治廿二年三月四日

島根県

大田警察署御中

432 廢乘馬届¹⁶

一、鹿毛色自用乘馬壹頭

右ハ私義是迄乘馬自用罷在候処、今般都合ニヨリ廢乘馬仕度候間、免許証相添へ戸長奥印ヲ以御届仕候也

邇摩郡佐摩村

百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿二年二月廿八日

邇摩安濃郡長中村秀年殿

433 「凶面」

明治廿二年三月九日左之凶面仁万外四村役場へ進達

邇摩郡大国村字表田

千五百九拾番之内

「元荒田反別四畝三步」

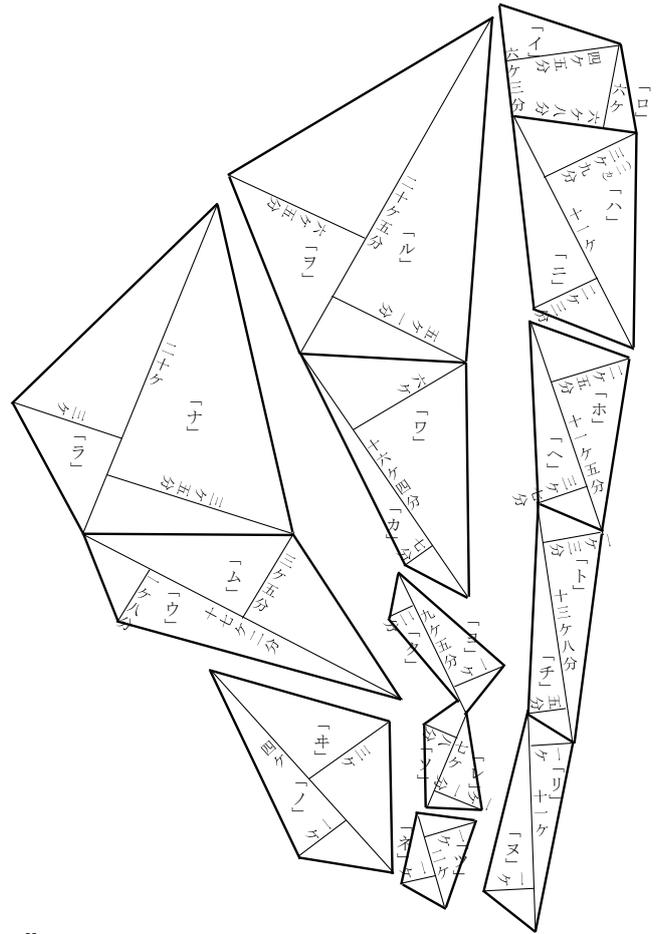
一、草生地反別四畝三步

「外ニ反別壹反四畝九歩 本地地」

地主 藤田組

頭取藤田傳三郎代理

大原順之助「〇」



- 「イ」 二十八坪三合五勺
- 「ロ」 四十坪八合
- 「ハ」 三十一坪九合
- 「ニ」 二十五坪三合
- 「ホ」 二十八坪七合五勺
- 「ヘ」 四十二坪五合五勺
- 「ト」 十七坪九合四勺
- 「チ」 六坪九合
- 「リ」 十一坪
- 「ヌ」 十一坪
- 「ル」 百四坪五合五勺
- 「ヲ」 百三十三坪二合五勺
- 「ワ」 九十八坪四合
- 「カ」 十一坪四合八勺
- 「ヨ」 九坪五合
- 「タ」 一坪九合
- 「レ」 七坪七合
- 「ソ」 五坪六合
- 「ツ」 貳坪
- 「ネ」 貳坪
- 「ナ」 七十坪
- 「ラ」 六十坪
- 「ム」 六十坪貳合
- 「ウ」 三十坪九合六勺

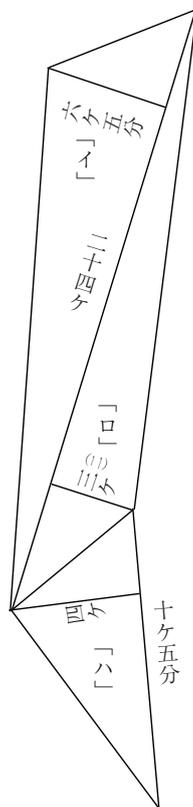
「辛」 十二坪 「ノ」 四坪

合計八百五十八坪三勺

二除四百廿九坪壹勺五才

*欄外付箋朱書「指令不詳」

一、草生地反別四畝三步



「イ」 百五十六坪 「ロ」 四十八坪 「ハ」 四十二坪

合計二百四拾六坪

二除百二十三坪

*図面は無地白紙に記載

434 御届

拙者義社用ニテ明十二日当処出発上阪致候二付、不在中社員北林兼司ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

明治廿二年三月十一日

佐摩村銀山鋳業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

邇摩安濃郡長中村秀年殿
佐摩外四村戸長宗岡光壽殿
大田警察署大森分署長
各通

警部佐々田豊殿

435 運搬許可証還納届

先般火薬タイナマイト三拾貫目買入御許可之分去ル廿五日到達候二付、
別紙運搬許可証式葉還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山

鉱業人藤田傳三郎代理

大原順之助代

北林兼司

大田警察署「長」

大森分署長

警部佐々田豊殿

「横尾邦二郎」

436 「報告」

御届

本月廿三日付号外ヲ以統計上調査上必要云々御依願之趣了承、右ハ左記
之通ニ候間、此段御報申上候也

明治廿二年三月廿九日

大森鉱山藤田組出張所

大原順之助代

北林兼司

佐摩外四村戸長

宗岡光壽殿

大森鉱山藤田組出張所

一、資本金拾五万円

一、役員拾三名

但明治廿一年末現在

一、職工百式拾名

但同上

一、營業収入金目下興業中ニ付ナシ

一、營業支出金壹ヶ月壹千五百円

437

志錢	五錢
印紙	印紙
十錢	十錢
印紙	印紙

証

一、金六百円也

右ハ当出張所鉱業上支用金ニテ第三銀行振出送金手形面七百式拾円御
預ケ之内必用ニテ正ニ借用致進^{候也}

明治廿二年三月三十日

藤田組出張所

主務

大原順之助

代理

北林兼司

熊谷信常殿

438 [記]

一、金貳拾円也

右特ニ本店ノ許可ヲ得テ今般山神社修繕費トシテ寄附致候也

明治廿二年三月三十日

大森鉦山藤田組出張所

銀山山神社⁽¹⁸⁾祠掌

本城光基殿

全社信徒惣代

小川兵市殿

上野栄次郎殿

高橋豊治郎殿

安田廣吉殿

小割安三郎殿

*金額上部に割印C

439

壹紙錢
六枚

証

一、金百貳拾円也

右ハ当鉦山^{出張}鉦業上^(使)支用金ニテ第三銀行振出送金手形面七百貳拾円之

内六百円受取残金ニテ正ニ借用致候也

明治廿二年四月二日

藤田組出張処

主務代理

熊谷信常殿

北林兼司

440

証券印紙
貳十錢

証

一、金五百貳拾円也

右ハ当出張処鉦業上^(使)支用金ニテ第三銀行大坂支店振出廿二年三月廿九日付同行松江支店宛送金手形壹葉券面額ニテ正ニ借用致候也

明治廿二年四月五日

藤田組出張処

主務代理

北林兼司

熊谷信常殿

*欄外上部に割印C

441

副申

現今タイナマイト残八百九十式発有之候処、右ハ今後十二日間ニ使切ル見込ニテ、遠方ヨリ買入ノ義ニ付運搬日数ヲ要シ候間、別紙願書至急御許可相成候様御取計被下度、此段奉願候也

明治廿二年四月十九日

邇摩郡大森⁽¹⁹⁾村字銀山町

鉦業人藤田傳三郎代理

大田警察署

大原順之助代

北林兼司

大森分署長

警部佐々田豊殿

442 鉱業用火薬類買入願

一、タイナマイト式百五拾磅 和量三拾貫目

一、雷管三千発

右ハ借区許可地内諸坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候ニ付、大阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者処有之火薬庫江貯蔵其時々支用可致候条、免許商御下付被成下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡大森村字銀山町鉱業人

藤田傳三郎代理

全郡全村寄留

兵庫県士族

大原順之助代

北林兼司

島根県

大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

443 死亡届

坑夫頭

吉田三次郎

鍛冶職

美濃亀三郎

右之兩人昨十五日午后一時十分後本谷大久保坑鍛冶場小屋ニ於テ爆発之為メ死去致候、此段御届致候也

廿二年四月十六日

大森鉱山藤田組出張所

(本谷) 大本部担当

小川兵市

大田警察署

大森分署長

警部佐々田豊殿

444 上申書

私義

大森鉱山藤田組出張所雇員ニシテ本谷部担当ノ命ヲ受ケ、坑夫頭式名ト書記名ヲ付属シ、職務ハ指定セラレタル開坑事業并ニ火薬類取扱ヲ専務トシ、坑夫頭職掌ハ私ノ指示ヲ以テ坑夫ノ勤惰ヲ督シ火薬類ヲ坑内ニ運ヒ爆発セシムルヲ専務トセリ、書記ハ単ニ算筆手伝ヲ為ス而已、然ルニ昨十五日午后一時十分頃式番入坑開鑿用タイナマイト拾発、雷管拾箇坑夫頭吉田三次郎へ現場詰所ニ於テ相渡シ入坑ヲ命シ凡式三分后入坑シタルト覚ヒシ頃ニ爆発セシニ付、書記小早川長次ヲ率ヒ驚キ外出セシニ、鍛冶場小屋ニ於テ坑夫頭吉田三次郎、鍛冶職美濃亀三郎ノ式人重傷ヲ負ヒ斃レ居ルヲ見ル、実ニ驚愕致シ候、而シテ日々支用スル爆発物ハ平素万事注意ニ注意ヲ加ヘ入坑ノ節函ニ入レ携帯スヘキ起則之処、考フ

ル二本日ハ右函ヲ支用セス、予テ嚴禁ノ鍛冶場ヘ立寄りタルモノト相見
ヘ、前記之通り重傷ヲ受ケ死去致候ハ全ク坑夫頭吉田三次郎ノ失意ト相
考候、此段上申仕候也

大森鉦山藤田組出張所

本谷部担当

明治廿二年四月十五日

小川兵市

大田警察署

大森分署長

警部佐々田豊殿

445 上申書

私義

大森鉦山藤田組出張所雇員見習ニシテ本谷部担当雇員小川兵市ノ筆算手
伝ヲ被命勤務罷在候、然ルニ昨十五日午后一時過詰所ノ外ニ非常ノ爆声
相聞得候ニ付、小川兵市ニ随ヒ現場ニ駆ケ付候処、鍛冶場小屋ニ於テ坑
夫頭吉田三次郎、鍛冶職美濃亀三郎之両名重傷ヲ負ヒ死去致候ヲ見ル、
実ニ驚愕仕候、右現場立会之為メ現況上申仕候也

大森鉦山藤田組出張所

雇員見習

明治廿二年四月十六日

小早川長次

大田警察署

大森分署長

警部佐々田豊殿

446 御届

拙者義先般社用ニテ上阪中社員北林兼司ヲ以テ代理為致候所昨日帰山致
候、此段御届申上候也

明治廿二年四月廿三日

大森村銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

邇摩安濃郡長中村秀年殿

〔元佐摩外四村〕
大森村戸長宗岡光壽殿

各宛

大森分署長警部佐々田豊殿

447 村道変更願

〔明治村大字大國〕

五拾七番

三拾七番村道字ミノシケヨリ大森村迄

村道

長千三百拾八間
巾敷地壹間
馬踏五尺

此反別四反三畝廿八歩之内村道長式百式拾間」

一、変更道路長式百三拾五間四分 巾敷地壹間

此改修総費金三拾五円三拾式錢四厘

但御許可之日ヨリ向十五日間ニ落成之見込

右村道ハ主トシテ同所鉦山稼ノ為メ必用ニシテ其他ハ該谷間廿余戸ノ農
家耕作ノ為メ往来スルノ外敢テ公衆ノ使用ニ関セサルヲ以テ該谷中人民
ニテ道路修補ノ慣行アリテ全村ニ於テ利害ノ關係無之、然ル所御維新廢
鉦后ハ道路破壊ノ俣修補セサルニ付通行不便不尠、右村道ノ内長式百式
拾間ノ処川岸ニ沿ヒ屈曲シ川渡リヲ要スル四ヶ所何レモ飛石ニテ出水ノ

此ハ通行困難ニ有之、数年ノ水害ニヨリ年々破損シ今日ニ在テハ荒地ノ中或ハ川原ヲ通行スル等ニテ本道明了ナラサル程ニ有之、然シテ該道修補スルモ将来鉦業上并ニ人民通行不便ニ付、今般鉦山再興ニ際シ鉦業上并ニ公衆ノ便益且ツ将来道路水害ノ患ヲ遠慮シ同所山麓へ沿ヒ長式百三十拾五間四分新道改修変更致度、尤モ該工事工費ハ勿論新線敷地ハ拙者所有ニ付右潰費ト総費金三拾五円三拾式錢四厘総テ拙者一己ニテ担当支弁改修可致候、而シテ隣地関係人へ協議候処故障筋無之候間御許可被下度、工事ノ義ハ御許可ノ当日ヨリ向十五日間ニ落成可致候、尚前件御許可新設道路竣功ノ上ハ従来之道敷ハ不用ニ付代地トシテ御下渡被下度候、別紙図面并ニ改修目論見書、潰地取調書、実測図共相添へ関係人民惣代連署、此段奉願候也

大阪府東区今橋式丁目

壹番屋敷藤田組

頭取藤田傳三郎代理

明治廿二年四月七日

邇摩郡大森村字銀山町百九拾番屋敷寄留

大原順之助代

北林兼司

邇摩郡明治村大字大國式百三拾番屋敷

隣地持主

右道路関係人民惣代 田中勘二郎

全郡全村式百式拾四番屋敷

右道路関係人民惣代 田中定太郎

全郡全村式百式拾六番屋敷

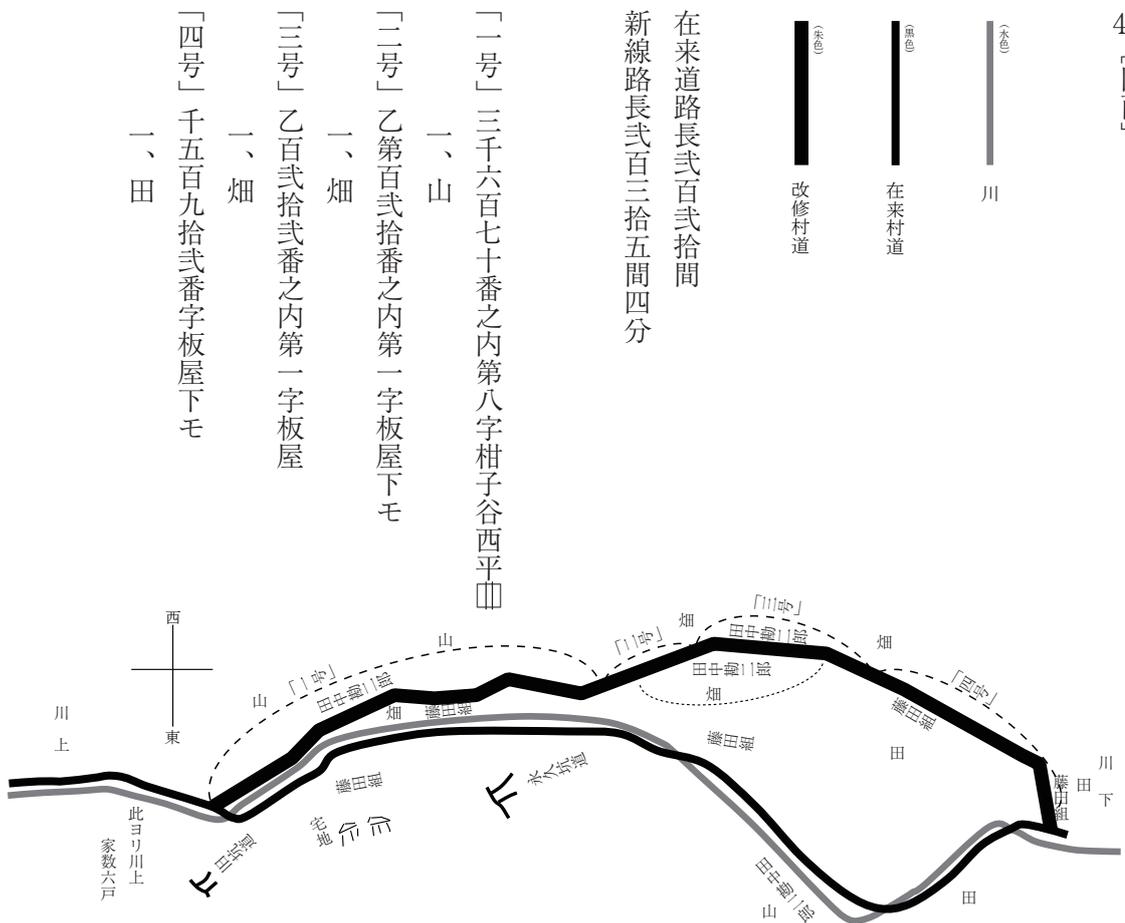
全 上 中田廣右エ門

島根県知事箒手田安定殿

*表題下に朱印「大原」

*後ろから四行分は藤田組大森鉦山所便箋に記載

448 [図面]



449

「明治村大字」大國村字ミノシケヨリ村迄村道之内変更目論見書
〔大森〕

一、改修道路長式百三拾五間四分 瀨摩郡大圍村

此工費金貳拾壹円九拾三錢壹厘

第壹号ヨリ第貳号迄「字柑子谷西平」

第貳号ヨリ第肆号迄「字板屋下モ」

一、山麓切均シ延長百六拾三間九分

此土坪四拾九坪壹合七勺

人足四拾九人壹歩七厘

但壹坪壹人

平均 高三分
巾壹間

第伍号ヨリ第陸号迄「字板屋下モ」

「字板屋」

一、引地均シ平五拾六間五分

此土坪五拾六坪五合

人足貳拾八人貳歩九厘

但壹坪五分

平均巾壹間

第四号ヨリ第五号迄「字板屋下モノ内」

一、築立拾五間

此土坪五坪四合

「全所之内片側又ハ両側共」人足拾八人八歩

一、石垣延長百拾貳間五分

此石坪拾三坪五合

人足九拾四人五歩

但石取築手間
壹坪七人

但壹坪貳人
平均 高六分
巾貳分

人足百八拾貳人七歩六厘

此賃金貳拾壹円九拾三錢壹厘

但壹人金拾貳錢

右之通

大阪府東区今橋貳丁目

壹番屋敷藤田組頭取
藤田傳三郎代理

「瀨摩郡大森村字銀山町百九拾番屋敷寄留」

大原順之助代

明治廿二年〔四〕五月七日

北林兼司

450

「明治村大字」大國字ミノシケヨリ村迄村道之内潰地取調書
〔大森〕

「明治村大字」大國村三千六百七拾番之内第八

字柑子谷西平

元山林反別貳畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

一、潰地反別貳畝拾八歩

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

全村乙百貳拾番之内第一

字板屋下モ

元畑「反別」拾八歩

地価金拾四錢壹厘

地租金四厘

一、潰地「反別」拾八歩

地価金拾四錢壹厘

地租金四厘

全村乙百貳拾貳番之内第一

持主

藤田組

皆潰

持主

藤田組

皆潰

字板屋

元畑「反別」壹畝拾貳步

地価金貳拾四錢貳厘

地租金六厘

一、潰地「反別」壹畝拾貳步

地価金貳拾四錢貳厘

地租金六厘

全村千五百九拾貳番

字板屋下モ

元田「反別」八畝三步

地価金貳拾七円八拾七錢壹厘

地租金六拾九錢七厘

一、潰地「反別」三畝拾貳步四合

地価金拾壹円七拾七錢六厘

地租金貳拾九錢四厘

右寄

廿一山林「反別」畝拾八步

此潰地代価金壹錢八厘

廿二畑「反別」貳畝步

此潰地代価金四拾貳錢貳厘

廿三田「反別」三畝拾貳步四厘

此潰地代価金拾貳円九拾五錢三厘

右之通 合金拾三円三拾九錢三厘

持主

藤田組

皆潰

持主

藤田組

〔付箋未書〕
三畝七步四合

地価拾壹円拾七錢壹厘

地租貳拾七錢九厘

大阪府東区今橋貳丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

〔邇摩郡〕大森村「字銀山町百九拾番」屋敷寄留

明治廿二年四月七日

大原順之助代
北林兼司

*表題部のみ無名の罫紙に記載

451

明治村大字大國字ミノシケヨリ村道之内潰地絵図面
〔大森〕

明治村大字大國

持主

三千六百七拾番之内第八

藤田組

字柑子谷西平

一、山反別貳畝拾八步

〔イ〕二十五坪

〔ロ〕二十五坪

〔ハ〕二十坪

〔ニ〕二十坪

〔ホ〕三坪

〔ヘ〕三坪

〔ト〕十五坪

〔チ〕十五坪

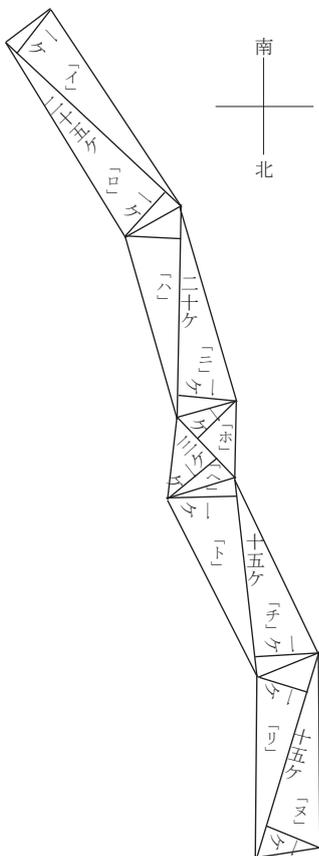
〔リ〕十五坪

〔ヌ〕十五坪

合計百五拾六坪

二除七拾八坪

南
北



全村

乙百貳拾貳番之内第一

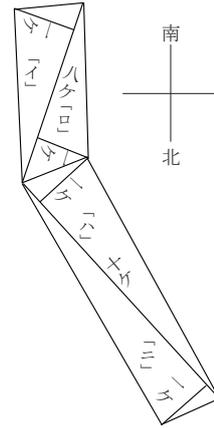
字板屋下七

一、畑反別拾八歩

「イ」八坪 「ロ」八坪 「ハ」十坪 「ニ」十坪

合計三拾六坪

二除十八坪



持主

藤田組

全村

乙百貳拾貳番之内第一

字板屋

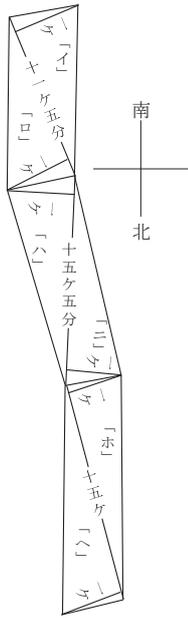
一、畑反別壹畝拾貳歩

「イ」十一坪五合 「ロ」十一坪五合 「ハ」十五坪五合 「ニ」十五坪五合

「ホ」十五坪 「ヘ」十五坪

合計八拾四坪

二除四拾二坪



持主

藤田組

全村

千五百九拾貳番

字板屋下七

持主

藤田組

「元田反別八畝三步之内」

一、田反別三畝拾貳歩四合

「イ」三十四坪四合 「ロ」三十四坪四合 「ハ」十五坪

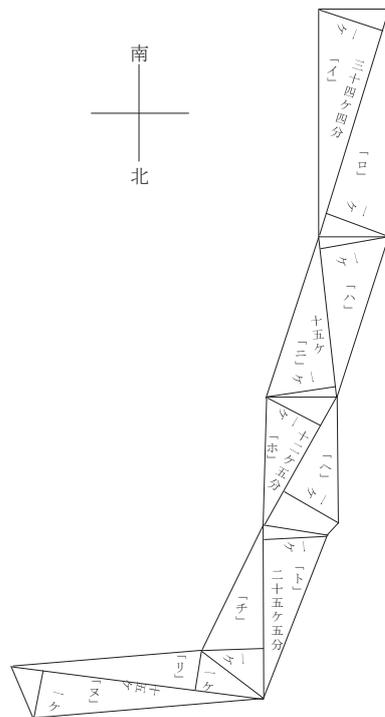
「ニ」十五坪 「ホ」十二坪五合 「ヘ」十二坪五合

「ト」二十五坪五合 「チ」二十五坪五合 「リ」十五坪

「ヌ」十五坪

合計二百四坪八合

二除百二坪四合



右之通

大坂府東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

邇摩郡大森村字銀山町百九拾番屋敷寄留

大原順之助代理

北林兼司

*無地白紙に記載

452

証券印紙
式拾銭貼用
証

一、金五百五十円也

右ハ当出張処 鉱業上必要ニ付正ニ借用致候也

明治廿二年四月廿四日

藤田組出張処

大原順之助

熊谷信常殿

*欄外上部に割印C

453

運搬許可証還納届

タイナマイ(下廳)三拾貫日本日到達候ニ付、別紙運搬許可証荖葉還納仕候也
〔雷管式千発(三千発買入)御許可之内〕

邇摩郡大森村銀山

明治廿二年五月七日

鉱業人藤田傳三郎代理

大原順之助代

北林兼司

大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

454

証券印紙
式拾銭貼用
証

一、金四百円也

右ハ当出張所 鉱業上必用ニ付正ニ借用致候也

明治廿二年五月十日

藤田組出張所

大原順之助

熊谷信常殿

*欄外上部に割印C

455

五銭証券 五銭 証
印紙 印紙
五銭 五銭
印紙 印紙

一、金四百円也

右ハ当出張処 鉱業上支用金ニテ第三銀行大阪支店振出同行松江支店宛五
月十八日付送金手形面額ヲ以テ正ニ借用致候也

藤田組出張処

明治廿二年五月廿五日

主務

大原順之助

熊谷信常殿

456 石見国邇摩郡明治村地内^{大字}ミノシケヨリ村道之内變更落成届

出願 明治廿二年四月七日 着手 明治廿二年五月廿七日

許可 全年五月廿五日 落成 全年六月六日

一、新道開鑿長式百三拾五間四分 巾敷地平均壹間貳厘

一、金三拾六円五拾「五」錢 正算額

一、反別七畝^{八畝四合}廿五步四合 道路潰地

一、金三拾錢五厘 潰地減租

一、廢道長式百貳拾間 巾壹間

一、反別七畝拾歩

右之通相違無御座候間、此段御届申上候也

大阪府東区今橋貳丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

邇摩郡大森村字銀山町

百九拾番屋敷寄留

大原順之助

明治廿二年六月
島根県知事箒手田安定殿

*表題外側に朱印「大原」、朱書「扣」

457 地種組替願

明治村大字大國

五拾七番

三拾七番村道字ミノシケヨリ大森村迄

村道

長千三百拾八間
巾敷地「平均」壹間「貳厘」
馬踏五尺

此反別四反三畝廿八歩之内村道長式百貳拾間之所

一、變更道路長式百三拾五間四分

此反別七畝^{八畝四合}廿五步四合

右明治廿二年四月七日村道變更出願、全年五月廿五日土第一一一号ヲ以

御許可相成候新設道路敷地、今般官有地第三種村道敷地ニ編入被成下度、

別紙野取図面相添へ此段奉願候也

大阪府東区今橋貳丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

邇摩郡大森村字銀山町百九拾番屋敷寄留

明治廿二年六月六日

大原順之助

島根県知事箒手田安定殿

*欄外に朱書「廿二年八月左之通指令、庶第八〇九号願之趣聞届ク、明

治廿二年八月十三日、島根県知事名」

*表題外側に朱印「大原」

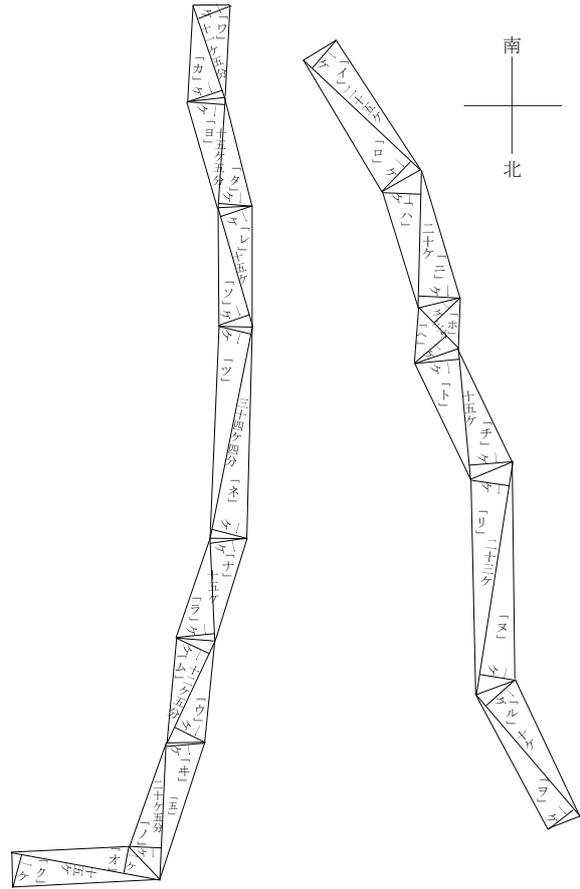
458 明治村大字大國^{大字}ミノシケヨリ村道之内變更道路敷地絵図面
野取絵図面

一、變更道路長式百三拾五間四分

此反別七畝^{八畝四合}廿五步四合

「イ」二十五坪	「ロ」二十五坪	「ハ」二十坪
「ニ」二十坪	「ホ」三坪	「ヘ」三坪
「ト」十五坪	「チ」十五坪	「リ」二十三坪
「ヌ」二十三坪	「ル」十坪	「ヲ」十坪
「ワ」十一坪五合	「カ」十一坪五合	「ヨ」十五坪五合
「タ」十五坪五合	「レ」十五坪	「ソ」十五坪
「ツ」三十四坪四合	「ネ」三十四坪四合	「ナ」十五坪
「ラ」十五坪	「ム」十二坪五合	「ウ」十二坪五合
「キ」二十「五」坪五合	「ノ」二十「五」坪五合	「オ」十五坪
「ク」十五坪		

合計四百七拾坪八合
 「八」
 「四十坪」
 二除二百廿拾五坪四合



右之通

明治廿二年六月六日

大原順之助

大阪府東区今橋式丁目壺番屋敷
 藤田組頭取藤田傳三郎代理
 邇摩郡大森村字銀山町

百九拾番屋敷寄留

*表題から面積値までは無地白紙に記載し、終わりから6行目以降は藤田組大森鉦山所便箋に記載

*図面外側に朱印「大原」

459 潰地野取絵図

明治村大字大國

持主

三千六百七拾番之内第八

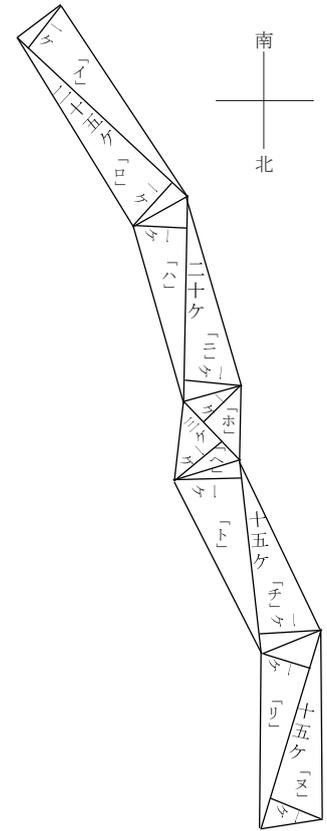
藤田組

字柑子谷西平

一、山反別式畝拾八歩

「イ」二十五坪	「ロ」二十五坪	「ハ」二十坪	「ニ」二十坪
「ホ」三坪	「ヘ」三坪	「ト」十五坪	「チ」十五坪
「リ」十五坪	「ヌ」十五坪		

合計百五拾六坪
 二除七拾八坪



全村
乙百貳拾番之内第一

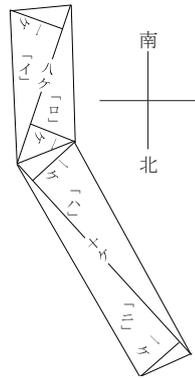
字板屋下モ

一、畑反別拾八歩

「イ」八坪 「ロ」八坪 「ハ」十坪 「ニ」十坪
合計三十六坪
二除拾八坪

持主

藤田組



全村

乙百貳拾貳番之内第一

字板屋

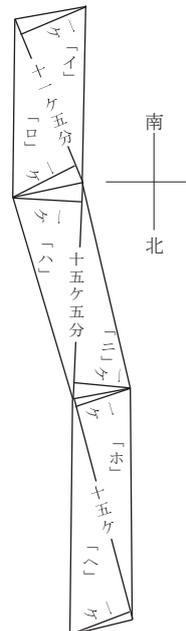
一、畑反別壹畝拾貳歩

「イ」十一坪五合 「ロ」十一坪五合 「ハ」十五坪五合
「ニ」十五坪五合 「ホ」十五坪 「ヘ」十五坪
合計八拾四坪

持主

藤田組

二除四拾貳坪



全村

千五百九拾貳番

字板屋下モ

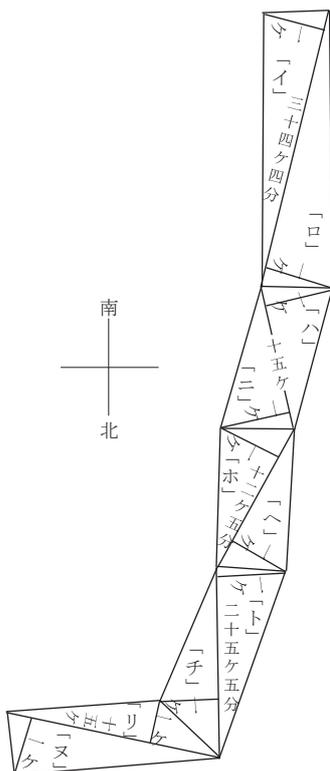
「元田反別八畝三步之内」

一、田反別三畝拾貳歩四合

「イ」三十四坪四合 「ロ」三十四坪四合 「ハ」十五坪
「ニ」十五坪 「ホ」十貳坪五合 「ヘ」十貳坪五合
「ト」二十五坪五合 「チ」二十五坪五合 「リ」十五坪
「ヌ」十五坪
合計貳百四坪八合
二除百貳坪四合

持主

藤田組



右之通

大阪府東区今橋式丁目壱番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

邇摩郡大森村字銀山町

大原順之助

明治廿二年六月

*無地白紙に記載

*表題右下に朱書「扣」

460 道路敷地御下渡願

明治村大字大國

五拾七番

三拾七番村道字ミノシケヨリ大森村迄

長千三百拾八間

村道 巾敷地壱間

馬踏五尺

此反別四反三畝廿八歩之内

一、道路敷地長式百式拾間

此反別七畝拾歩

右明治廿二年四月七日村道変更出願、全年五月廿五日土第一一一号ヲ以御許可相成直ニ着手、今般變更道路工事落成候ニ付右代地トシテ旧道路敷御下渡被下度、別紙野取図相添へ此段奉願候也

明治廿二年六月六日

大阪府東区今橋式丁目壱番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

邇摩郡大森村字銀山町百九拾番屋敷寄留

此 島根県知事箆手田安定殿

大原順之助

*表題下に朱印「大原」

*欄外上部に朱書「廿式年八月庶第八〇九号、願之趣聞届、民有地第一種ニ編入ス、明治廿二年八月十三日、島根県知事名」

461 明治村大字大國字ミノシケヨリ村道之内變更道路旧道敷絵図面

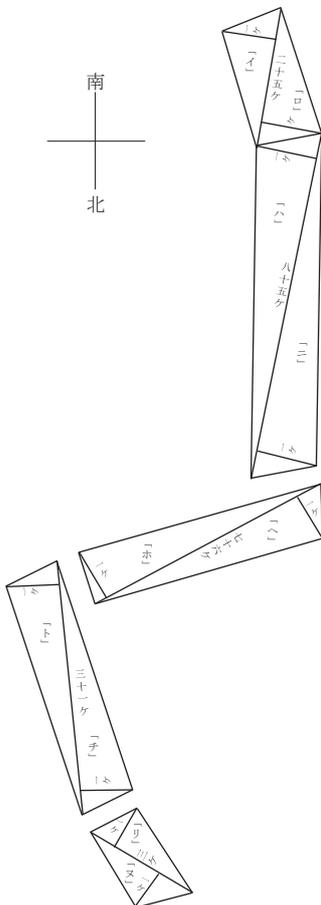
一、旧道敷長式百式拾間

此反別七畝拾歩

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 「イ」二十五坪 | 「ロ」二十五坪 | 「ハ」八十五坪 | 「ニ」八十五坪 |
| 「ホ」七十六坪 | 「ヘ」七十六坪 | 「ト」三十一坪 | 「チ」三十一坪 |
| 「リ」三坪 | 「ヌ」三坪 | | |

合計四百四拾坪

二、除式百式拾坪



右之通

大阪府東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

邇摩郡大森村字銀山町百九拾番屋敷寄留

明治廿二年六月六日

大原順之助

*無地白紙に記載

462 回答

客月十七日租地第五壱号ヲ以当所雇人之内村費未納者へ諭示方御依頼之趣了承、取糺シ夫々諭示候処別紙人名下ニ付紙之通申出候、其他ハ客年十二月解雇当所ニ関係無之候間御了知相成度此段及御回答候也

明治廿二年六月九日

大森鋳山鋳業

藤田組出張所

元佐摩外四村戸長役場御中

*欄外上部に割印C

463 原籍異動御届

兵庫県丹波国多紀郡

日置村大字井上廿一番屋敷

士族大原順之助

右今般町村制ニ依リ村名番地異動候ニ付、此段御届申上候也

明治廿二年六月廿四日

邇摩郡大森村字銀山

百九拾番屋敷寄留

右大原順之助

佐摩外四村戸長宗岡光寿宛

各通

大森分署長佐々田豊宛

464

第三回内国勸業博覧会出品願 (23)

第六部 第一類

石見国邇摩郡大森村字銀山借区鋳業人

藤田傳三郎代理

出品主 大原順之助

第一号	第二号	第三号	第四号	第五号	第六号	第七号	第八号	第九号	第十号
各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱	各種鋳石 壱箱
数量 六貫五百目	数量 四貫五百目								
容積 長二尺二寸、巾一尺四寸、高五寸	容積 全上								
借区鋳業人 藤田傳三郎	借区鋳業人 全上								
産地 石見国邇摩郡大森村字銀山	産地 全上								
製造人 藤田傳三郎	製造人 全上								
非売中	非売中	非売中	非売中	非売中	非売中	非売中	非売中	非売中	非売中
売価	売価	売価	売価	売価	売価	売価	売価	売価	売価
原価	原価	原価	原価	原価	原価	原価	原価	原価	原価

右第三回内国勸業博覧会ニ出品仕度御規則之義ハ確守可仕候間御許可被成下度候也

465

第六部 第二類		第三回内国勸業博覧会出品願															
石見国漣摩郡大森村字銀山借区鋳業人 藤田傳三郎代理 大原順之助												出品主					
第一号	大森鋳山報告書	数量	容積	產地	非売品	第二号	大森鋳山実測図 箱入	数量 凡式百目	容積 長二尺、巾深共三寸	產地	非売品	第三号	旧時鋳業方式図解 箱入	数量 凡百六十目	容積 長一尺、巾三寸五分、深二寸	產地	廉備
方言	方言	数量	容積	製造人	原備	方言	方言	数量	容積	製造人	原備	方言	方言	数量	容積	製造人	原備
数量	容積	数量	容積	製造人	原備	数量	容積	数量	容積	製造人	原備	数量	容積	数量	容積	製造人	原備
製造人	産地	製造人	産地	製造人	産地	製造人	産地	製造人	産地	製造人	産地	製造人	産地	製造人	産地	製造人	産地
売備	原備	売備	原備	売備	原備	売備	原備	売備	原備	売備	原備	売備	原備	売備	原備	売備	原備

明治廿二年七月七日

右

大原順之助

島根県知事籠手田安定殿

前書之通相違無御座候也

郡元 村外

村戸長

*印刷された書式に墨書きで記入

*印刷文字はゴチック体、手書文字は明朝体で表記

右第三回内国勸業博覧会二出品仕度御規則之義ハ確守可仕候間御許可被成下度候也

明治廿二年七月七日

右

大原順之助

島根県知事籠手田安定殿

前書之通相違無御座候也

郡元 村外

村戸長

*印刷された用紙に墨書きで記入

*印刷文字はゴチック体、手書文字は明朝体で表記

466 鋳業用火薬類買入願

一、タイナマイト式百五拾磅 和量三拾貫目

一、雷管壹千発

右ハ借区許可地内諸坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候ニ付、大阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者処有之火薬庫へ貯蔵其時々支用致度候条、免許手形御下付被成下、村戸長奥印ヲ以此段奉願候也

漣摩郡大森村字銀山町

鋳業人藤田傳三郎代理

全郡全村寄留兵庫県士族

明治廿二年七月十五日

大原順之助

島根県

大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

467 運搬許可証還納届

タイナマイト三拾貫目、雷管千発本日午前十一時到達致候二付、別紙第
式五号大阪府堺警察署運搬許可証壹葉還納仕候也

明治廿二年八月四日

邇摩郡大森村字銀山町
銀山鉱業人

藤田傳三郎代理
大原順之助

大田警察署長
警部横尾邦二郎殿

468 鉱業用火薬類買入願

一、タイナマイト式百五拾磅 和量三拾貫目
一、雷管式千発

右ハ借区許可地内諸坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候ニ付、大
阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者処有之火薬庫へ貯蔵其時々支用致
度候間、免許手形御下付被成下度、村長與印ヲ以此段奉願候也

邇摩郡大森村字銀山町
礦業人藤田傳三郎代理
全郡全村寄留兵庫県士族
大原順之助

明治廿二年八月廿九日
島根県大田警察署長
警部横尾邦二郎殿

469

〔廿二年九月嶋根支会衛生品展覽会へ出品扣〕

大森鉱山坑内諸職其労働時間表	
日割	番割
初日	甲組
二日目	「乙組」
三日目	丙組
四日目	「乙組」
五日目	「乙組」
六日目	丙組
初日	「乙組」
二日目	丙組
三日目	甲組
四日目	「乙組」
五日目	丙組
六日目	甲組
初日	丙組
二日目	甲組
三日目	「乙組」
四日目	丙組
五日目	甲組
六日目	「乙組」

備考

一、労働時間前表ノ如ク一日八時間トシ、入坑后四時間ニシテ坑内ニ於
テ三十分ノ休憩ヲ与ヘ右時間内ニ弁当ヲ喫セシム

*丙組は青インク書

470

〔廿二年九月嶋根支会衛生品展覽会へ出品扣〕

大森鉱山鉱業夫負傷一覽表						
種目	職名	負傷	合計	治療	内訳	就役者百分 負傷比例
坑内	職頭	三	五〇	四九	一	一、四九
	坑夫	二				
	車夫	五				
	手子	一八				
坑外	製煉夫	二	一二	一二	〇	二、〇〇
	工作夫	一〇				
合計		六二		六一	一	三、四九

* No. 469、470は無地白紙(縦二八・〇センチ、横二〇・〇センチ)に記載

「廿二年九月嶋根支会衛生品展覽会へ出品扣」

大森鉦山鉦業夫新旧稼方難易比較調并ニ実況図

当大森鉦山ハ遠ク六百年前花園院ノ御宇ニ開始スレト操業ノ順序鉦業夫ノ稼キ方等記録ノ備ルナク其詳細ヲ知ルニ難シ、降テ慶長年間徳川幕府ノ直轄山トナリ代官所ヲ設ケラル、当時本邦幾多ノ鉦山アリト雖ト幕府ノ直轄ハ当山ト共ニ二三山ニ過キス、又以其盛大ヲ誇言スルニ足レリ、然リ而シテ其操業ノ順序及鉦業夫ノ労働衣食住ノ状況ハ第一項ニ列記セリ、^{是ヲ}葦刈^{是ヲ}当山旧稼方トス、大政維新ニ際シ直轄ヲ解カレ明治四年日本坑法ノ發布ニ基キ本法ヲ遵守シ点々僅少ナル借区許可ヲ受ケタルモノ両三名アリ、皆ナ薄弱資本家ニシテ充分ノ鉦業ヲ営ム能ハス、操業ノ順序及鉦業夫使役方ノ改良ヲ設ケルナク単ニ昔時ノ慣習ニ基キ其日ノ稼行ヲ採レルモノ、如クナルヲ以テ掲記スヘキ要点ナシ、明治十九年九月当藤田組ニテ旧借区ヲ讓受ケ次テ区域ヲ増シ式拾式万五千式百坪ノ一大借区ト成シ、外ニ通洞三ヶ所ノ支用権^徳ヲ得爾后主トシテ旧来ノ弊風ヲ一洗シ欧州鉦業ノ長ヲ採リテ我カ短ヲ補ヒ夫々順序方法ヲ設ケ復昔日ノ觀ヲ見サルニ至レリ、是ヲ新稼方トス、左ニ第一項、第二項ト區別シ專ラ衛生上ニ關係アル所ヲ主眼トシテ鉦業ノ梗概ヲ掲ク

第一項

坑内ノ構造 坑口豎拾尺横六尺、坑道深遠ナルニ随ヒ五尺ト三尺ニ減シテ掘鑿セリ、当時坑夫ノ手稼ト称スルモノ^ニ至リテハ坑口四尺二二尺、深遠ナル坑道ハ三尺ニ壹尺五寸ト成シ、又留山トテ栗材回り壹尺乃至壹尺五寸ノ丸太或ハ稀ニ弓形ノ石材ヲ用ヒテ坑道ノ天井及兩側ノ石質軟弱ナルヶ処ノ崩壞ヲ止メ坑道ノ屈曲上下ハ敢テ注意セサリシ、湧水及空氣ノ流通ヲ計ルニハ、甲ハ竹製粗造ノ『ポンプ』ヲ用ヒテ排水ヲ計リ、乙ハ木製粗造ノ旋風器ニテ通風ヲ便ニセリト雖ト共ニ充分ノ結果ヲ見サリ

シト云フ、又坑内上下ヲ昇降スルニ雁木ト称スル松材ノ丸太ニ爪形ノ切喰セヲ刻スルモノヲ用ヒタリ

掘鑿法 堅石ニハ手鑽ヲ用ヒ軟石ニハ鶴嘴ヲ用ヒタリ、鑽ヲ以テ鑿岩スルハ石粉飛散シ灯火ヨリ昇騰スル油煙ト共ニ鉦業夫ノ肺部ニ吸收サレ往々危険ノ病根ヲ醸セリ

運搬法 鉦石捨石共皆人背ニテ搬出セリ、坑道狹隘ナル所ハ腰下ニ吠ヲ結ヒ付四ツ手ニテ匍匐スルナリ、此業ヲ採ルモノハ概ネ八才ヨリ十七八才ノ男子ニテ量目三貫乃至拾貫目ヲ壹荷トナセリ、如此纔ニ八才ノ幼時ヨリ此苦難ノ業ニ従事シ發育ヲ妨ケラレタルヲ少々ニアラサルヘシ鉦業夫ノ労働 一昼夜ヲ五分シ壹番ヨリ五番マテ輪番ニ入坑セリ、坑道深遠ニ至レハ往返ノ時間ヲ計リ居付ト称シ壹番式番ヲ合シテ働クヲモアリ、掘鑿方ハ石質ノ硬軟ニ仍リ立方尺ノ受負或ハ直稼トナシ採鉦場ハ鉦石吠入何荷掘リト定ム、留山及排水疏水通風ニ就業スルモノハ其時ニ臨ミ番割ヲ成シ、又坑夫手稼ハ壹番式番ト交代セリ、総テ当山ハ坑夫ノ手稼ヲ流行セシ故自己ノ都合ニテ休養^休ヲ為シ、又分外ニ労働スル等不規律ノ働ヲナセリ

鉦業夫ノ衣食住及娯樂 鉦業夫ハ普通習慣トシテ貯財ノ念ナク、金錢手ニ入レハ支出シ入ラサレハ借ル以テ謂ユ「ル」下財流トナセリ、故ニ今日ノ富者明日ノ貧者ト變リ流離顛転更ニ怪シムモノナシ、概ネ衣服住居ノ粗ヲ厭ハサルモ飲食ニ至テハ美味ヲ好ムノ俗「アリ」、総テ此社会ノ快樂タルヤ山狩海濱遊行等一瓢ヲ携ヘ三々伍々同志集会シ、酒宴ヲ張り鯨飲放歌豪放ノ氣風一見他事ナキカ如ク、然リ又地芝居ヲ催シ自ラ俳優ヲ氣取り、淨瑠璃ヲ語り、碁將棋等遊戲ヲ成ス^モアリ、賭博ヲ好ミ^淫講事ニ更ケルハ又一般ノ風俗ナリシ

雜事 前項ノ如ク坑内構造ノ不規律ナル掘鑿及運搬法ノ至難、空氣流通ノ不充分アリ、加ルニ坑外ニ於テ衣食住ノ不平均遊行淫事ニ更ケル等

二起因セルモノカ、生命ノ短期ナルハ廿五才、長命ナルモ四十五才ヲ最高トナシ、故ニ其妻女ハ再三結婚スルモノアリテ七十才乃至九十才ノ高齡ニ至リシト云フ、此ノ如ク鉱業夫ノ生命短期ナルヲ以テ其業ニ堪ヘサルニ至レハ、無食米ト称ヘ一日玄米五合ツ、夫妻ニ給シ、又味噌ハ身体ヲ暖ムルノ殊功アリトナシ老人ニ付一ヶ年ニ四貫目ツ、給与セラレタリト云フ

第二項

坑内ノ構造 坑口及坑道ト堅七尺横五尺トナシ、留山ハ板材ト木材ニテ構造セリ、湧水ハ下底井疏水道ヨリ流出シ、^{「若シ」}甬又空気充分ニ循環セサレハ新式鋼製扇風器及風管ヲ用ヒ、又上部及下底ニ稼行ノトキハ堅坑井ヲ掘鑿シ堅牢ナル木製ノ梯子ニ仍リ昇降スルモノトス

掘鑿法 新式鑿岩器、タイナマイ、火薬堀ノ三種トシ、石質通常ナレハ火薬ヲ用ヒ、堅硬或ハ溜水多ケレハ『タイナマイ』ヲ用ヒ、大坑道ニハ鑿岩器ヲ用ユル等トス、故ニ昔時ノ如ク石粉ヲ吸収セサル而已ナラス空気克ク流通シ坑内狭隘ナラサルヲ以テ直立或ハ腰ヲ掛ケタル俣自由ノ働ヲ為シ得ルナリ

運搬法 鉄軌道及木道ノ式種ヲ布設シ共ニ四輪車ヲ其上ニ走ラス、大坑道ニハ馬ニ挽カシメ、通常坑道ニハ人手ニテ押し動かスナリ、又上部下底ニ於テハ巻揚器械ヲ据付ケ、鉱石ヲ巻揚箱ニ入レ随意ノ所ニ移シテ鉄道車ニ搭載スルモノトス

鉱業夫ノ労働 一昼夜ヲ三交代トシ、八時間ツ、輪番ニ入坑セシム、掘鑿法ハ立方尺ノ受負切ト通常稼トアリ、皆ナ一定ノ規則ニ照シ其能否ヲ審査シ就業セシムルモノトス

鉱業夫ノ衣食住及娯樂 現今世上ノ形勢ト共ニ鉱業夫社会ノ生計ヲ一変シ、其者相応ニ家具ヲ備ヘ、衣服ヲ着ケ、敢テ奢侈ノ風ナク貯財ノ本義ヲ守リ大ニ衛生ノ重スヘキヲ覚知スルニ至レリ、随テ娯樂モ稍其趣ヲ

変シ、国禁ナル賭博ノ如キハ殆ント其跡ヲ絶ツニ至レリ

雑事 前掲ノ如ク坑内ノ規律立チ稼方容易トナリ、別ニ定雇医員ヲシテ負傷者ヲ療治セシト、兼テ大ニ衛生ニ注意「セ」シ「メ」、且坑内ハ四季不絶六十度前後ノ温度ナルヲ以テ鉱業夫ノ健康ヲ増シ、短命者ノ数著シク減シタ^{「ル」}ハ識者ヲ埃スシテ瞭然タリ、然レト当組操業日尚浅ヲ以テ茲ニ詳細ナル衛生ノ統計ヲ表出スル^{「ル」}能ハ^{「サ」}ルハ寔ニ遺憾トスル所ナリ
以上説ク所語辞ヲ以テスレハ冗長煩雜ニ渉ル恐アルモノハ、便宜略図ヲ以テ補ヒ^{「別」}添^{「添」}附セリ

*藤田組大森鉱山所の罫紙(縦二八・〇センチ、横二〇・〇センチ)に記載

472 第壹区 出品申出書

番号	物品名	効用	出品者
三号	鉱業夫労働時間表		大森鉱山 大原順之助
式号	鉱山衛生ノ調査書		全
三号	鉱業夫負傷一覽表		全

第叁区

番号	物品名	効用	出品者
式号	鉱業夫着用服		全
三号	全坑内ランプ		全

第四区

番号	旋風器（模形）	全
----	---------	---

第六区

番号	大森鉦山内各所写真 拾式葉（参考品）	全
----	-----------------------	---

右出品候也

邇摩郡大森村銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

明治廿二年九月

大原順之助

衛生品展覽会

御中

473
〔添状〕

乙第一七六六号ヲ以テ日本衛生会嶋根支会ニ於テ衛生品展覽会御開設ニ付広ク有志者之協賛ヲ得、出品蒐集可相成云々御申越拝承仕候、即チ御趣旨ニ基キ出品可致候間可然御取計相願度、別紙出品申出書相添御答迄、勿々拝具

明治廿二年九月四日

大森銀山

大原順之助

邇摩安濃郡役所

第壹課御中

474

印紙

委任状

一、拙者共義都合ニ依リ石見国邇摩郡明治村大字大国式千五百式拾式番地田中正容ヲ部理代人ト相定メ、拙者共之名義ヲ以左之権限之事ヲ代理為致候事

一、法律第貳十式号ヲ以特別地価修正之義公布セラレ候ニ付本県訓令第百七十三号公布之御趣旨ニ基キ修正方法之事

一、土地ニ係ル村内地主協議上ヲ承諾スル

一、前頭之義ニ付決定相成候以上ハ承諾請印等之事

右代理委任状、仍テ如件

邇摩郡佐摩村

小川源吉

同郡同村

長田友市

大阪市東区今橋式丁目

壺番屋敷藤田組頭取

藤田傳三郎代理

大原順之助

475
〔書簡〕

尚々、委任状江御調印相成候ハ、印紙御貼用奉願候也

此書中得御意候、毎々御厚配奉多謝候、然者別紙之通役場ニ申来候間御出頭被成下度候、若し御都合依テ拙者ニテモ代理相濟候ト御認メアラハ

別紙委任状へ大原氏之御調印被成下度候、可然御協議之程御通知申上候、右用事計如此ニ御座候、以上

九月九日

田中正容「印」

大原順之助殿

*No.474の間に綴込まれた書簡

*尚々書と書き出しの間に朱印「大原」

476 「答申」

庶第三十四号ヲ以御照会ニ相成候第三回内国大博覧会へ出品之『大森鉦山実測図、旧時鉦山業方式図解』ハ巻軸ニテ何レモ箱入ニ有之候間、枚数及冊数記入不致候、其箱之寸法ハ過般差出候通ニ御座候、御了承相成度、右御答申上候也

明治廿二年九月十二日

大森鉦山藤田組出張所

大森村役場庶務掛御中

*欄外上部に割印C

477 「答申」

庶第三十五号ヲ以テ御依頼ニ相成候銀銅輸出高并ニ白炭²⁸輸入高取調之義拝承致候、然ルニ当処ハ永遠鉦業隆盛ヲ設計スルヲ専務トシ、数十年中絶シタル一大坑道之開通ニ従事シ、未タ採鉦之時期ニ至ラサル次第ニ有之候得共、執業中坑道開鑿ヨリ産出鉦左記之通ニ有之候、又白炭ハ当

組処有之山林ヨリ伐採スル而已ニテ他方ヨリ買受更ニ無之候、右御答申ニ及候也

自明治廿一年七月
至全 廿二年六月銀銅売却量代価并ニ仕向先調

一、含銀銅塊壹千百五拾三貫四百目

此代価三千式百三拾五円九拾八錢五厘

仕向先大阪市

但廿一年八月ヨリ廿二年二月迄産出額ヲ記入ス三月以後売却ナシ

明治廿二年九月十二日

藤田組大森鉦山出張所

大森邨役場

庶務掛御中

*欄外上部に割印C

478 「願」

大日本衛生会嶋根支会ニ於テ開設之衛生品展覧会出品七種^{七号}ヨリ差出候間可然御取計被成下度候、尤も本月四日付申出書ニ記入スタル鉦業夫着用服之義ハ当組鶴峠鉦山ヨリ出品之モノト同品ニ付当山ニテハ出品申込見合セ致候、右様御承被成下度奉願上候也

大森鉦山

明治廿二年九月十七日

大原順之助

邇摩安濃郡役所

第壹課御中

479 「副申」

大日本衛生会島根支会ニ於テ開設之衛生品展覽会出品七種七号迄差出候間可然御取計被成下度候、尤モ本月四日付申出書ニ記入シタル鋳業夫着用服之義ハ当組鶴峠鋳山ヨリ出品之者ト同品ニ付当山ニテハ出品見合候、此段副申仕候也

明治廿二年

大森鋳山

九月十七日

大原順之助

邇摩安濃郡役所

第一課御中

480 運搬許可証還納届

タイナマイト三拾貫目、雷管式千発本日到達致候二付、別紙探第四九九号大阪府堺警察署運搬許可証尅葉還納仕候也

明治廿二年

邇摩郡大森村字銀山町

銀山鋳業人

九月十九日

藤田傳三郎代理

大原順之助

大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

481 第三回内国勸業博覧会出品追加願
第六部第一類

第一号 含銀銅鋳 容積三寸立方 產地其他曩キニ
数量四百五十目 願出之通

第二号 含銀鉛鋳 全全 全

第三号 銀鋳 全全 全

右三種今般追加之分

第四号 各種鋳石

第五号 各種岩石

右式種ハ七月七日付ヲ以願出置候分

右第一号ヨリ第三号迄今般出品追加、曩キニ願出候分第四号、第五号へ操下ケ出品仕度、御起則之義ハ確守可仕候間、御許可被成下度候也

石見国邇摩郡大森村字銀山

借区鋳業人藤田傳三郎代理

明治廿二年九月廿四日

大原順之助

島根県知事箆手田安定殿

482 鋳業用火薬買入願
一、火薬式百貫目

右ハ借区許可地内ノ諸坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候二付、大阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者処有之火薬庫へ貯蔵其時々支用致度候間、免許手形御下付被成下度、此段奉願候也

邇摩郡大森村字銀山町

鋳業人藤田傳三郎代理

明治廿三年九月廿四日^五

島根県大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

全郡全村寄留兵庫県士族
大原順之助

483 御下渡地賦税御検査願

石見国邇摩郡明治村大字大田

千五百八拾七番地之第一字板屋向上ミ

元村道敷地反別七畝拾歩

持主

一、郡村宅地成反別七畝拾歩

藤田組

地価拾壹円拾四銭六厘

類地比較千五百八拾七番
宅地反金拾五円貳拾銭

地租貳拾七銭九厘

四ヶ月分地租九銭三厘

是ハ当明治廿二年八月御下渡御許可ニ付本年九月ヨリ四ヶ月

分来ル明治廿三年ノ全額納税之分

右ハ村内官有地村道敷地本年六月村道変更ニ付右代地トシテ御下渡出願、全八月中民有地第一種ニ編入御指令相成候分、近傍類地之比較ヲ以地価取調候処、書面之通ニテ彼我権衡上不平準無御座候間、実地御検査之上賦税御聞届被下度、実測図相添へ此段奉願候也

大阪府大阪市東区今橋式丁目

藤田組頭取藤田傳三郎代理

明治廿二年九月

大原順之助

島根県知事籠手田安定殿

484 [図面]

邇摩郡明治村大字大田

千五百八拾七番之内第一字板屋向上ミ

元村道敷地反別七畝拾歩

持主
藤田組

一、郡村宅地成反別七畝拾歩

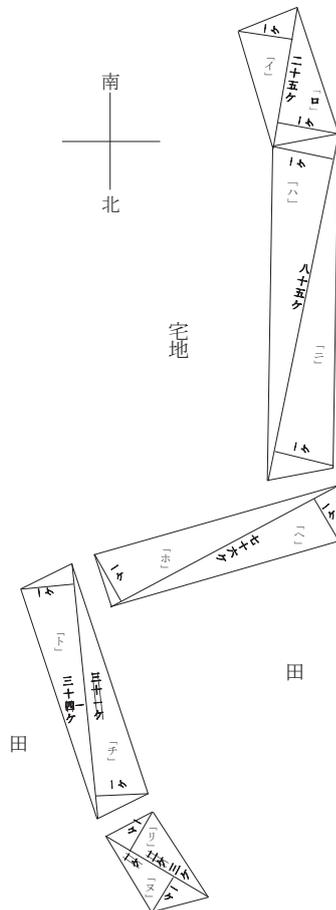
「イ」二十五坪 「ロ」二十五坪 「ハ」八十五坪 「ニ」八十五坪

「ホ」七十六坪 「ヘ」七十六坪 「ト」三十一坪 「チ」三十一坪

「リ」三坪 「ヌ」三坪

合計四百四拾坪

二除貳百貳拾坪



御下渡地
右ノ通賦税出願ニ付地盤丈量仕候所、前書之通相違無御座候也

大阪府東区今橋式丁目三番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

明治廿二年九月

大原順之助

*無地白紙に記載

485 地種組替^{〔免〕}減租願

邇摩郡明治村大字大國三千六百七拾番之内第八「柴草萱山」

字柑子谷西平

一、山「林」道路敷成反別式畝拾八歩

大阪府大阪市東区今橋式丁目
持主 藤田組

地価金壹錢八厘

地租金壹厘

四ヶ月分地租金

是ハ明治廿式年九月中官有地第三種村道路敷ニ地種組替ニ

付本年九月ヨリ四ヶ月分来ル廿三年ヨリ金額減租之分^{〔免〕}

全村乙百式拾番之内第一^{〔地ノ一〕}

字板屋下毛

持主

一、畑道路敷成反別拾八歩

藤田組

地価金拾四錢壹厘

地租金四厘

四ヶ月分地租金壹厘

是ハ前全斷

全村乙百式拾番之内第十^{〔地ノ二〕}

字板屋

持主

一、「伐替」畑道路敷成反別壹畝拾式歩

藤田組

地価金式拾四錢式厘

地租金六厘

四ヶ月分地租金式厘

是ハ前全斷

全村千五百九拾式番

字板屋下毛

持主

元田反別八畝三歩

藤田組

地価金式拾七円八拾七錢壹厘

地租金六拾九錢七厘

一、田道路敷成反別三畝拾式歩四合

地価金拾壹円七拾七錢六厘

地租金式拾九錢四厘

四ヶ月分地租金九錢八厘

是ハ前全斷

外反別五畝拾七歩六合

殘地

地価金拾六円九錢五厘

地租金四拾三錢三厘

右寄

組替反別八畝四合

地価金拾式円拾七錢七厘

地租金三拾錢五厘

右八村内民有地蓮踏本年八月村道變更之事故ニ付、官有地第三種二組替相成候分反別地価地租取調候処、前書之通相違無之候間、減租御許可被^{〔免〕}下度、実測図相添へ此段奉願候也

大阪府大阪市東区今橋式丁目

藤田組頭取藤田傳三郎代理

明治廿二年九月

大原順之助

嶋根県知事箆手田安定殿

486

野取^{実測図}繪^圖面

邇摩郡明治村

字大國

明治村大字大田

三千六百七拾番之内第八

字柑子谷西平

持主

藤田組

一、山「林」道路敷成反別式畝拾八歩

「イ」二十五坪 「ロ」二十五坪

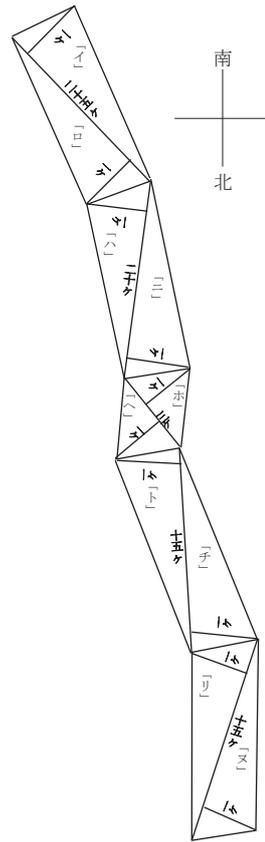
「ホ」三坪 「ヘ」三坪

「リ」十五坪 「ヌ」十五坪

「ハ」二十坪 「ニ」二十坪
「ト」十五坪 「チ」十五坪

合計百五拾六坪

二除七拾八坪



同村乙百式拾番之内第十

字板屋下七

一、畑道路敷成反別拾八歩

持主

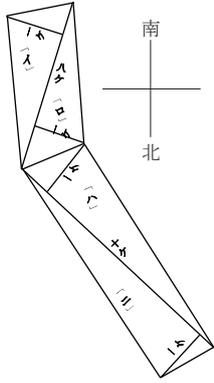
藤田組

「イ」八坪 「ロ」八坪

合計三拾六坪

二除拾八坪

「ハ」十坪 「ニ」十坪



全村乙百式拾番之内第十

字板屋

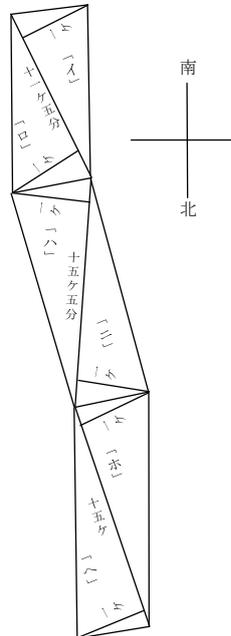
一、畑道路敷成反別壹畝拾式歩

「イ」十一坪五合 「ロ」十一坪五合

「二」十五坪五合 「ホ」十五坪

合計八拾四坪

二除四拾式坪



全村千五百九拾式番字板屋下七

元田反別八畝三步ノ内

一、田道路敷成反別三畝拾式歩四合

持主

藤田組

残地反別五畝拾七歩六合

「イ」三拾四坪四合 「ロ」三拾四坪四合

「二」拾五坪 「ホ」拾式坪五合

「ト」式拾五坪五合 「チ」式拾五坪五合

「ヌ」拾五坪 「ル」十式坪

合計式百四坪八合

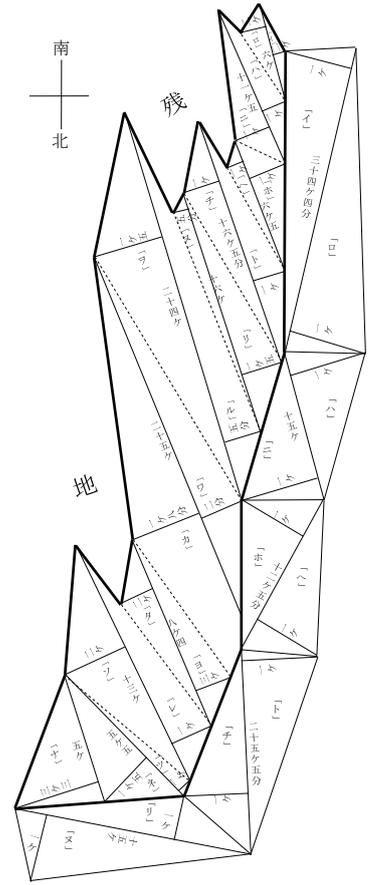
二除百式坪四合

「ハ」拾五坪 「ニ」拾五坪

「ヘ」拾式坪五合 「リ」拾五坪

「ト」拾五坪 「チ」拾五坪

「ヌ」拾五坪 「ル」十式坪



残地

- 「イ」 十二坪 「ロ」 十二坪 「ハ」 十一坪五合
 - 「ニ」 十一坪五合 「ホ」 六坪五合 「ヘ」 六坪五合
 - 「ト」 十六坪五合 「チ」 十六坪五合 「リ」 式拾四坪
 - 「ヌ」 九坪 「ヲ」 三拾六坪 「ワ」 五坪
 - 「カ」 四拾五坪 「ヨ」 式十五坪式合 「タ」 十六坪八合
 - 「レ」 廿六坪 「ソ」 廿六坪 「ツ」 五坪五合
 - 「ネ」 九坪式合五勺 「ナ」 十六坪五合
- 合計三百三拾五坪式合五勺

地種組替^免 一除百六拾七坪六合式勺五才
 右北通減租出願ニ付地盤丈量仕候所、前書之通相違無御座候也
 大阪府大阪市東区今橋式丁目
 藤田組頭取藤田傳三郎代理

明治廿二年九月

大原順之助

*無地白紙に記載

*図中の朱線を太線で表示

487 「回答」

本月二十日付号外ヲ以当山鉦業夫普通一日之労働時間及交代時間調等御入用之趣御照会相成承知仕候、即チ別紙式葉差出候間御落手被下度、此段御回答申上候也

大森鉦山藤田組出張所

明治廿三年九月廿八日

大原順之助

島根県第一部

農商課御中

「本文中別紙式葉ハ(撰鉦其他諸職工就役時間表 大森鉦山坑内稼諸職夫交代時間表) 別ニ扣ヲ取置カス」

488 運搬許可証還納届

火薬式百貫目昨十四日到達候ニ付、別紙堺第五式号大阪府堺警察署運搬許可証老葉還納仕候也

邇摩郡大森村字銀山町

銀山鉦業人

明治廿二年

藤田傳三郎代理

十月十五日

大原順之助

大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

489 第三回内国勸業博覧会へ出品「變更」願

七月廿三日付ヲ以テ内国勸業博覧会へ出品願差出候内、第六部第二類ハ都合ニヨリ参考品トシテ解説書へ添付可差出候間該願書御下付被下度候、尤モ今般更ニ左記式品出品増加致度候間、御差支無之候ハ、御許可

被成下度、此段併セテ奉願上候也

第六部第三類

第一号 金含銀 式個人 容積 縦五寸五分 横六寸五分 產地曩二
 第二号 純銅 数量 壹貫貳百目 願出之通 非売品

石見国邇摩郡大森村字銀山

借区鉱業人藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿二年十一月六日

島根県知事籠手田安定殿

490 副申

昨十九日博覧会委員ヨリ御示談之趣ニヨリ別紙願書更ニ差出候間、本月六日付ヲ以テ差出候出品変更願書ト御引替方御取計被成下度、此段副申仕候也

大森村字銀山

借区鉱業人藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿二年十一月廿日

邇摩安濃郡長藤岡直蔵殿

491 第三回内国勸業博覧会へ出品変更願

七月廿三日付 第三回内国勸業博覧会へ出品願御許可相成候内第六部第二類

之内第一号大森鉱山報告書ハ都合ニヨリ出品致シ難ク、第二号大森鉱山実測図及第三号旧時鉱業方式図解ハ銀鉱ノ参考品トシテ差出度候、尚ホ今般更ニ左記式品出品増加致度候間御許可被成下度、此段併セテ奉願候也

第六部第三類		容積	数量	产地其他曩
第一号	金含銀	縦五寸二分 式寸七分 横六寸五分	三百九拾匁	願出之通
第二号	純銅	同上	六百八十匁	全

明治廿二年十一月廿日

島根県知事籠手田安定殿

石見国邇摩郡大森村字銀山
借区鉱業人藤田傳三郎代理

大原順之助

*表題の前の欄外に扣の文字が記されている

492 土地名前誤謬訂正願

石見国邇摩郡明治村大字大國千五百八拾九番ノ乙字家ノ前 地主

一、原野反別三畝廿八歩 誤 藤田傳三郎

「正 藤田組」

右黒書之通土地台帳ニ於テ記載有之由之処、右ハ地押之際願書へ朱書之通記載スヘキハ処誤テ藤田傳三郎ト誤載候モノ并傳恐入候得共、藤田組ニ御訂正被成下度、此段奉願候也

廿二年十二月五日

〔大阪府大阪市東区今橋式丁目
藤田組頭取藤田傳三郎代理〕

大原順之助

島根県知事箆手田安定殿

*欄外朱書「明治村役場会第七〇号ヲ以テ申越シニ付願書差出ス」「廿三年一月十九日付箋却下ニ付其後更ニ進達ス」

493 「上申」

本年七月農第二四七号ヲ以テ本県下産鉱物見本蒐集云々御申越ニ依リ回送可致鉱石各種入苞箱、今般内国勸業博覧会へ可差出出品物ト共ニ当郡役所迄差出置候間、右御承知置被下度此段申上候也

明治廿二年十二月十日

石見国邇摩郡大森鉱山

大原順之助

島根県第一部⁽³⁰⁾

御中

494

印紙

請書⁽³¹⁾

「朱線ノ文字小朱書セリ」

私義第三回内国勸業博覧会ニ。含銀銅鉱。含銀鉛鉱。銀鉱。鉱石各種。岩石各種。金含銀二百九拾匁。純銅六百八拾匁。旧時鉱業方式図解。銀山実測図。出陳御許可相成候ニ付、現品県庁ヨリ会場迄通送方御序ニ於テ御取計被下度、尤モ運搬中ハ勿論陳列中万一盜難毀損其他避クベカラサル事

故ニヨリ現品ニ損害ヲ生シ候共聊カ苦情申出間敷候、且又閉会後会場ヨリ自宅迄ニ係ル現品ノ通送費荷造費ハ御指図ニ随ヒ速ニ上納可仕候間御返送被下度、依テ請書差出候也

明治廿二年十二月十一日

島根県下石見国邇摩郡

大森村大森^銀山借区鉱業人

出品主 藤田傳三郎代理

大原順之助

島根県第一部農商課

御中

*文中朱書された傍線を斜線で取消す

495 改修道路工費江寄附願

一、金百五拾円也

右ハ改修道路工費⁽³²⁾へ曾テ指定セラレタル元佐摩村ヨリ寄附金額千八百八拾九円九拾四錢ヲ今般更ニ村内各自ニ分割スレバ、字銀山町高橋豊次郎外式百名（七月一日現在）^{割受}集押ノ外金額五百七拾匁円式拾六錢八厘有之候処、貧困者多ク到底字銀山町ニ於テ其負担重キニ難堪事情有之、然ルニ私義当銀山町ニ於テ鉱業相管候所追々整頓致候ニ付、何卒全町人民ノ集押ヲ輕減シ併テ聊カ地方公益ニ対スル義務ノ幾分ヲ盡サン為メ字銀山町人民へ割受金ノ内へ前記書載ノ金額寄附^シ。仕度候間御許可被成下^{少セシメ度}。同町寄附者物代連署^任。村長加印ヲ以テ此段奉願候也

但各自仕訳書ハ追テ一村連署ニテ上申仕候也

大阪市東区今橋式丁目壱番屋敷

藤田組頭取

明治廿二年十二月

藤田傳三郎

島根県邇摩郡大森村字銀山町

百九拾番屋敷寄留

右代理 大原順之助(消印)

銀山町寄附者惣代人

高橋豊次郎(消印)

上野帙次郎(消印)

安田廣吉(消印)

長安令造(消印)

嶋根県知事籠手田安定殿

*無地白紙(縦二八・〇センチ、横二〇・〇センチ)に記載

496 「出品解説書」

第一号	金含銀
第二号	純銅
名 物	
言 方	
名人品出	
嶋根県管下石見国邇摩郡 大森村大森銀山 借区鉱業人 藤田傳三郎 代理 大原順之助	

産地並発見

第六部第一類出品解説書二同シ

開業及廃業年歴

前二同シ

地質鉱脈鉱質及坑区

前二同シ

採鉱法

前二同シ

製煉法

第六部第一類出品ノ第一号第二号ノ鉱石ヲ以テ小鑪ニテ溶解ヲ行ヒ、其ヨリ南蛮炉及精銀炉等ニテ精製シタルモノナリ、此外製煉仕様法ハ第六部第一類出品解説書ニ詳ナリ

運搬用法産出高及代価

第六部第一類出品解説書ニ詳カナリ

産出品及代価統計(表中代価統計ハ産出量ノ内売捌タル代価ヲ掲記シタルモノナリ)

年別	兼産出量		備	代価統計
	銀	銅		
明治八年	一九貫五五九	一一四一貫七〇〇		一六五八円五〇〇
全 九 年	一七、九九六	一三一五、四〇〇		
全 十 年				
全 十 一 年	一二、三四八	一八七、三六〇		二五九四、八二一
全 十 二 年	一二、〇七三	五七七、六九二		二七九二、三〇〇
全 十 三 年	八、一四六	六〇〇、〇八〇		二七九二、二五〇
全 十 四 年	四、三二五	二九四、七〇〇		二七九五、九〇二
全 十 五 年	四、二一九	二五六、七〇〇		一四八五、四八三
全 十 六 年	四、七八六	三九七、七〇〇		一三〇二、八八六
全 十 七 年	二、二四一	二三五、〇〇〇		一二〇四、五一五
全 十 八 年				五二四、四四〇
全 十 九 年	一八、七八五	一一四六、〇〇〇		一二〇四、五一五
全 廿 一 年	、一九一			三二二五、六卅〇
全 廿 二 年				七五二、八六二
合 計	一〇四、六七二七	六一五二、三三二	一四三六、九六〇	二一、三二一、九五三

審査請求主眼

第六部第一類出品解説書中ニ記述ノ如ク目下開坑探鉱ヲ主トシ探鉱ヲ専ニセサルヲ以テ出鉱寡少、随テ産出物ノ精製法未タ完全ナラス、依テ第六部第一類出品ト対照品質審査ノ上要スル所ハ全鉱業ノ審査ヲ請求スルニ在リ

*印刷された書式に墨書きで記載。印刷文字はゴチック体、手書き文字は明朝体で表記

*用紙の上方に付紙「此間博覧会ニ差出シタル当山ノ概況ヲ掲ケシモノアリ、此書類採取石原所長へ渡ス、廿七年九月九日」

497

「二月三日進達ス」

自明治廿二年一月至全廿三年一月大森銀山概況報告

昨年報告以来本年一月末ニ至ル当山鉱業ノ概況左ニ開伸仕候

一、銀山立坑ハ深凡五百五十尺堀鑿シ永久坑道ハ凡五千五百尺取明ケ改修シテ、廿二年九月十三日ニ至リ双方連絡シ爾後操業上著キ便利ヲ得、永久坑ニ於テハ木道ヲ廢シテ鋼鉄製軌条ヲ布設シ、銀山ニ於テハ鉱脈ニ沿テ探鉱ヲ為シ成蹟(蹟)空カラス、十一月末発見シタル線ハ厚サ凡八寸ニシテ頗ル富良ナリ、含有銀位千分ノ一余、全銅位百分ノ八、全金位ハ銀中百分ノ一、五アリ、上下東西共ニ連続スヘキ見込ナリ

一、銀山ノ東字本谷ニ於テ大久保、金生ノ両坑ヲ取明改修シ、今日ニ至ルマテ探鉱ニ堪ユヘキ銀脈ヲ検出スルノ数条ニシテ外ニ福石ト称シ蛮岩状安山岩中ニ斑点銀鉱ヲ包含スル鉱石アリ、其含銀位ハ平

均稍々万分ノ二ナリト雖ト原量ノ巨額ナルヲ以テ新式撰鉱法ヲ施セハ採製ニ堪ユヘシ

一、永久、銀山、本谷トモ目下尚開探事業ヲ専ニシ与ニ採鉱製煉ノ営業ニ移ルハ数ヶ月之后ニアルヘシ

一、現今役員十二人、職工及雑夫百五十人トス

右報告仕候也

逋摩郡「大森村」(貼紙) 鉱業人藤田傳三郎代理

明治廿三年二月

大原順之助

逋摩安濃郡長藤岡直藏殿

*無地白紙に記載

498 「回答」

廿三年一月廿八日庶第五号ヲ以大森郵役場左記取調書照会越候ニ付夫々記入差出シタリ

工業会社及製造所表(34) (資本ヲ株式ニ分割セサルモノ) 毎年十二月三十一日調

大森銀山 鉱業	名称	營業 種別	所在地	創業 年月	資本金	同 払 込 高	組合 人員	職業 人員	蒸氣機 関	水車
逋摩郡大森 村字銀山				明治廿年 三月廿八日	拾五万円	三万九千五百 三拾八円五 拾老錢八厘	老巴 <small>(巴)</small> 巳人	百三拾人	数 馬力	数 馬力
									一 二馬力	○ 馬力
										○ 馬力

*欄外朱書「表中払込高ハ興業明細表之金額ヲ積算ス」

499 [回答]

廿三年二月十日付明治村役場より左記書類江調印之義照会ニ付、二月十二日調印済、直ニ郵便ニテ同役場へ送ル

明治廿二年秋季御検査済ニ係ル地目交換地修正地価取調書 明治村大字大田

地番	字	段	別	ソリ田	五九一	五九二	板屋	下
		原	地					
		内	変換					
		変	換					
		地						
		残	地					
		等	級					
		反	金					
		姓	名					

右修正地価一筆限取調候処相違無之、仍テ村長連署ヲ以此段上申候也

明治廿三年一月

邇摩郡明治村大字大田

安井好尚

大坂府大坂市東区今橋式丁目

藤田組頭取藤田傳三郎代理

大原順之助

邇摩郡明治村長

安井好尚

島根県知事籠手田安定殿

500 [回答]

廿三年二月十二日大森邸役場ヨリ左記書類へ調印申来リタルニ付、調印之上進達ス

地価修正願へ対シ二十二年中異動地一筆限表 邇摩郡大森村

地番	種目	等級	地目	反別	全残地	地価	地租	地主姓名
小百拾一	変換	拾	畑	「六畝六歩之内 外拾九歩七合丈量増 六畝廿九歩七合 六畝廿九歩七合」	○	○	○	藤田組
小百六拾三	全	貳拾壹	畑	「八畝拾九歩之内 老七老歩草生 外四合式勺丈量増」	○	○	○	藤田組

持主名印

右ハ今般田畑地価修正額御達ニ由リ現一筆限リ取調帳へ既ニ進達仕候

処、右取調帳之内式十式年中異動ニ係ル加除訂正スヘキ地所一筆限リ調査之所前書之通相違無御座候、依テ村戸連署之上此段上申候也

地主惣代 連名印

連名印

右村長

右村長

島根県知事籠手田安定殿

501 記

一、火薬拾五貫目

右当処火薬庫へ貯蔵之義御依頼ニ相成正ニ承知致候也

明治廿三年二月廿六日

藤田組出張処

大原順之助

大原順之助

大原順之助

岡田道敏殿

*欄外上部に朱書「該本書ハ廿三年四月返却致来リ候ニ付消印之上斷裁ス」、割印C抹消

502 「回答」

会第式三号ヲ以家屋之義ニ付御照会之趣了承、貴村内ニ於テ事務所工夫飯場其他壹式棟有之候得共何レモ貸家ニ無之候、此段御回答申上候也

明治廿三年二月廿七日

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

大原順之助

明治村役場御中

503 地所売渡証書

石見国邇摩郡大森村

ホノ三百八拾番ノ一

字サイカ

一、畑五畝廿七歩

地価金壹円五拾七錢六厘

同国同郡同村

ホノ三百八拾番ノ貳

字同処

一、畑壹反壹畝拾歩

地価金八拾壹錢四厘

同国同郡同村

ホノ三百八拾番ノ三
字同処

一、畑壹畝拾七歩

地価金四拾壹錢八厘

同国同郡同村

ホノ三百八拾番

字同処

一、山林九反八畝歩

地価金六拾錢七厘



此売渡代金貳拾參円

右之地所今般貴殿へ売渡前書之代金貳拾參円正ニ請取申処確實也、然ル上ハ爾後御自由ニ御進退可被成候、依テ為後念売渡証書通如件

石見国邇摩郡大森村

二ノ貳百貳拾八番地

橋本武一郎〇

明治廿三年二月廿六日

丹波国多紀郡日置村

大字井上式拾番地

大原順之助殿

504 御証明願

石見国邇摩郡大森村

ホノ三百八拾番ノ一

字サイカ

一、畑五畝廿七歩

同国同郡同村

ホノ三百八拾番ノ式字同処

一、畑壹反壹畝拾歩

同国同郡同村

ホノ三百八拾番ノ三字同処

一、畑壹畝拾七歩

同国同郡同村

ホノ三百八拾番字同処

一、山林九反八畝歩

右之地所今般丹波国多紀郡日置村大字井上式拾番地大原順之助工売渡夕

ルニ付登記願出度候間、登記法第四十条ニヨリ所有者及ヒ右物件ニ故障

ナキト御証明被下度、此段相願候也

石見国邇摩郡大森村

二ノ式百式十八番地

橋本武一郎

明治廿三年二月廿七日

邇摩郡大森村長

川北湊⁽³⁵⁾殿

前書之物件石見国邇摩郡大森村二式百式拾八番地橋本武一郎ノ所有ニ相違無之、且該物件ニ付故障無之候也

明治廿三年二月廿七日

邇摩郡大森村長川北湊



505

邇摩郡大森村二ノ式百廿八番地

売渡人 橋本武一郎

同郡同村ハノ七十式番地

部理代人 高橋直三

地所売買ニ付登記願

此売買代金式拾三円

此登記料金式拾五銭

丹波国多紀郡日置村大字井上廿番地

買受人 大原順之助

明治廿三年二月

506

運搬許可御指令還納届

一、火薬式拾壹貫三百六拾目昨日十七日到達候ニ付、別紙本県今市警察

署今警第十七号御指令書還納仕候也

邇摩郡大森村銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿三年三月十八日

大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

507

鉦業用火薬買入願

一、火薬式百貫目也

右借区許可地内ノ諸坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ^(使)支用致度候ニ付、大阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者所有之火薬庫へ貯蔵其時々^(使)支用致

度候間、免許手形御下付被成下度、此段奉願候也

邇摩郡大森村銀山鋳業人

藤田傳三郎代理

明治廿三年三月十八日

大原順之助

島根県大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

508 運搬許可御指令還納届

一、火薬六拾四貫八拾匁本日正午到達致候ニ付別紙本県今市警察署今警第十四号御指令書尙通還納仕候也

邇摩郡大森村銀山鋳業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿三年三月廿二日

大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

509 鋳業用火薬買入願

一、タイナマイト三拾貫目

右借区許可地内ノ諸坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候ニ付、大阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者所有之火薬庫ニ貯蔵其時々支用致度候間、免許手形御下付被成下度、此段奉願候也

邇摩郡大森銀山鋳業人

藤田傳三郎代理

明治廿三年四月九日

大原順之助

島根県大田警察署長

横尾邦二郎殿

510 土地名前誤謬ニ付御訂正願

石見国邇摩郡明治村大字大國千五百八拾九番ノ乙

字家ノ前

持主

一、原野反別三畝廿八步

誤 藤田傳三郎

右地所之名前土地台帳ニ於テ黒書之通記載有之候由、全体地押調査之際藤田組所有地内落地申告ニ係ルモノニテ、素ヨリ藤田組ニ可有之処其節誤テ肩書藤田組頭取之五字ヲ脱シ候ニヨリ単ニ藤田傳三郎ト相成候義ニ付全ク誤謬ニ候間、恐入候得共持主藤田組ニ御訂正被成下度、此段奉願候也

大阪府大阪市東区今橋式丁目

藤田組頭取藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿三年四月十九日

島根県知事籠手田安定殿

*欄外朱書「廿三年五月八日付賦森第二八九号ヲ聞届ノ指令アリ」

511 土地名前誤謬ニ付御訂正願

石見国邇摩郡大森村二百三拾壹番字大横相

持主

一、市街宅地反別三畝九步八合

誤 藤田傳三郎

地価金壹円三拾九錢七厘

「正 藤田組」

地租金三錢五厘

同国同郡同村ニ式百七拾四番字昆布山谷

持主

一、市街宅地反別式畝六合四勺

誤 藤田傳三郎

地価金七拾八錢八厘

「正 藤田組」

地租金式錢

同国同郡同村ニ式百八拾八番字休谷上ミ

持主

一、市街宅地反別九畝拾式歩八合九勺

誤 藤田傳三郎

地価金三円九拾六錢

「正 藤田組」

地租金九錢九厘

右之地所明治廿年九月藤田組頭取藤田傳三郎名義ヲ以テ官地払下願出、廿一年一月庶第壹〇三号ヲ以テ御聞届相成、其后全年二月賦稅御検査願之節誤テ肩書藤田組頭取之五字ヲ脱シ候ニ依リ土地台帳面藤田傳三郎トノミ相成居候義ニテ全ク誤謬ニ付、恐入候得共朱書之通持主藤田組ニ御訂正被成下度、別紙官有地御払下願写相添へ候、此段奉願候也

大阪府大阪市東区今橋式丁目

藤田組頭取藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿三年四月十九日

右根県知事箆手田安定殿

512 火薬運搬許可証還納御届

一、火薬式百貫目タイナマイト三拾貫目共本冊到着候ニ付、別紙大阪府曾根崎警察署第八四号運搬許可証壹葉還納仕候也

邇摩郡大森村銀山借区鉱業人

藤田傳三郎代理

明治廿三年四月廿三日
島根県大田警察署長

警部横尾邦二郎殿

513

五厘
証券
印紙

委任状

拙者義登記事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、左ノ権限ノ事ヲ代理為致候事

一、兵庫丹波国多紀郡日置村大字井上第廿壹番屋敷大原順之助所有之島根県石見国邇摩郡大森村字サカ^{イカ}イホノ三百八十番ノ壺畑五畝廿七歩、同村同字ホノ三百八拾番ノ式畑壹反壹畝拾歩、同村同字ホノ三百八拾番ノ三畑壹畝拾七歩、同村同字ホノ三百八十番山九反八畝歩、今般本組へ譲受候ニ付浜田治安裁判所佐摩出張処へ登記請求ニ付代印ヲ以テ出願シ本件ニ関スル一切ノ事ヲ処弁スル事
一、右登記済ノ上ハ其登記簿ノ謄本下付ヲ出願スル事
右代理委任状、依テ如件

明治廿三年四月

大阪市東区今橋式丁目一番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎

以下余白

藤田
組印



*藤田組印、藤田傳三郎印は朱書

*欄外朱書「割印」、「該委任状文中不十分ニ付登記所ニ受理セス、依テ本店へ返付更ニ認メ替タリ」

514 記

一、火薬五拾五貫目

十、タイサヤイト木貫目

右当処火薬庫江貯蔵之義御依頼ニ相成正ニ承諾致候也

明治廿三年四月三十日

藤田組出張処

大原順之助

高橋一作殿

野坂才吉殿

515 印鑑証明願

秋田県北秋田郡阿仁銅山村大字真木沢鉾山七十一番地

石見国邇摩郡大森村百三拾八番屋敷寄留

〔○〕印鑑

北林兼司

右印鑑御証明被成下度奉願候也

秋田県北秋田郡阿仁銅山村大字真木沢鉾山七十一番地

石見国邇摩郡大森村百三拾八番屋敷寄留

明治廿三年五月一日

北林兼司〔○〕

大森村長川北隣殿

右印鑑相違無之候也

邇摩郡大森村長川北隣代理

明治廿三年五月一日

助役中山光茂

516

丹波国多紀郡日置村
大字井上式拾壹番地

大原順之助

地処讓渡ニ付登記願

此相当時価金貳拾三円

此登記料金貳拾五銭

大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡大森村

百三拾八番屋敷寄留

明治廿三年五月三日

北林兼司

*無地白紙に記載

*欄外朱書「敗物ニ付更ニ認メ替タリ」

517 御届

拙者義社用ニテ明八日出発上阪致候ニ付、不在中社員北林兼司ヲ以代理
為致候間、此段御届申上候也

廿三年五月七日

大森村銀山鉾業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

郡長

村長

警察署

各通

518
〔御願〕

比準地	地願	地本	要目	大森村字神楽山 亦百五拾八番
	畑荒		等級	
			地目	地主 藤田組頭取藤田傳三郎代理 大原順之助 代印 北林兼司
			反別	
			丈量増 丈量減	
			地価	
期年			地租	
明治廿三年方全廿七年迄 五ヶ年継年季			明治八年ヨリ 全十七年迄 全十八年方 全廿二年迄 五ヶ年期	附帯撮要

右者本年荒地免租年期明二候処実地起返不申候間、御検査ノ上継年期御附与被下度、此段奉願候也

明治廿三年五月

右地主惣代

式名調

即チ真田康俊

須田浅市

鳴根県知事籠手田安定殿

519
印鑑証明願



(印影) 印鑑

大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎

右印鑑御証明被成下度奉願候也

大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取

藤田

藤田傳三郎

(印影)

明治廿三年五月十三日
大阪市東区長袋井寛貞殿

前書之通印鑑相違無之候也

明治廿三年五月十三日

大阪市東区長袋井寛貞

大阪市
東区長
袋井寛貞

*印影は全て朱書

520



委任状

拙者義登記事件ニ付石見国邇摩郡大森村百三拾八番屋敷寄留北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、左ノ権限ノ事ヲ代理為致候事

一、兵庫県丹波国多紀郡日置村大字井上第廿壹番屋敷大原順之助所有之島根県石見国邇摩郡大森村字サイカホノ三百八拾番ノ壹畑五畝廿七歩、同村同字ホノ三百八十番ノ貳畑壹反壹畝拾歩、同村同字ホノ三百八十番ノ三畑壹畝拾七歩、同村同字ホノ三百八十番山林九反八畝歩、今般本組へ譲受候ニ付浜田治安裁判所佐摩出張処へ登記請求ニ付代印ヲ以テ出願シ本件ニ関スル一切ノ事ヲ処弁スル事

一、右登記済之上ハ其登記簿ノ謄本下付ヲ出願スル事
右代理之委任状、依テ如件

明治廿三年五月

以下余白

*欄外上部に朱書「組本店割印」
*印影は全て朱書

大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷
藤田組頭取
藤田傳三郎 (印影)

521



委任状

拙者義登記事件ニ付石見国邇摩郡大森村百三拾八番屋敷寄留北林兼司ヲ
以テ部理代人ト相定メ、左ノ権限ノ事ヲ代理為致候事

一、石見国邇摩郡大森村ニノ式百拾貳番地小割安三郎所有之石見国邇
摩郡大森村ホ三百六拾六番ノ内第一字長福寺市街宅地四畝廿七歩三
合九勺、今般本組へ譲受候ニ付浜田治安裁判所佐摩出張所へ登記請
求ニ付代印ヲ以テ出願シ本件ニ関スル一切ノ事ヲ処弁スル事
一、右地所登記済ノ上ハ、其登記簿ノ謄本下付ヲ出願スル事
右代理ノ委任状、依テ如件

藤田組印

明治廿三年五月
以下余白

*欄外上部に朱書「組本店割印」

大阪市東区今橋式丁目一番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎 []

522

丹波国多紀郡日置村大字井上
廿壹番地大原順之助代理
石見国邇摩郡大森村
二ノ百三拾七番地
讓渡人
代理 上野庸次郎

地処讓渡ニ付登記願
此相当時価金貳拾三円
此登記料金貳拾五錢

大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷
藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡大森村
百三拾八番屋敷寄留

讓受人

明治廿三年五月十九日
代理 北林兼司

*無地白紙に記載

523 地所讓渡証

石見国邇摩郡大森村ホノ三百八拾番ノ一
字サイカ

一、畑五畝廿七歩

地価金壹円五拾七錢六厘

同国同郡同村ホノ三百八拾番ノ式
字同処

一、畑壹反壹畝拾歩

地価金八拾壹錢四厘

同国同郡同村ホノ三百八拾番ノ三

字同処

一、畑壹畝拾七歩

地価金四拾壹錢八厘

同国同郡同村ホノ三百八拾番

字同処

一、山林九反八畝歩

地価金六拾錢七厘

右之地処拙者所有之所今般及方熟議之上無代価讓渡候所実正也、然ル上ハ貴殿御自由ニ所持可被成候、就テハ向後該地ニ係ル税租ハ都テ貴殿ヨリ上納可被成候、且又右地所是迄書入質入其他之儀ニ付故障ケ間敷事更ニ無之、万一異議申出ルモノ有之候節ハ拙者引受取捌キ毫毛貴殿へ御迷惑筋相掛申間敷候、依テ地所讓渡証一札相渡申候処如件

丹波国多紀郡日置村

大字井上式拾壹番地

讓渡人 大原順之助

右見国邇摩郡大森村

貳百七番屋敷

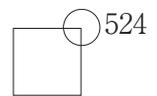
保証人 上野席次郎

大阪市東区今橋式丁目壹番地屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎殿

明治廿三年五月二日



委任状

拙者義登記事件ニ付石見国邇摩郡大森村ニノ百三拾七番地上野席次郎ヲ以テ部理代人ト相定メ、左ノ権限ノ事ヲ代理為致候事

一、拙者所有島根県石見国邇摩郡大森村字サイカホノ三百八拾番ノ壹

畑五畝廿七歩、同村同字ホノ三百八拾番ノ貳畑壹反壹畝拾歩、同村

同字ホノ三百八拾番ノ三畑壹畝拾七歩、同村同字ホノ三百八拾番山

林九反八畝歩、今般大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷藤田組頭取藤田

傳三郎へ讓渡候ニ付浜田治安裁判所佐摩出張所へ登記請求ニ付代印

ヲ以テ出願シ本件ニ関スル一切ノ事ヲ処弁スル事

右代理委任状、依テ如件

明治廿三年五月十九日

丹波国多紀郡日置村

大字井上式拾壹番地

大原順之助 [○]

以下余白

525



印鑑証明願

石見国邇摩郡大森村ニノ百三拾七番地

上野席次郎

印鑑

右印鑑御証明被成下度奉願候也

石見国邇摩郡大森村

ニノ百三拾七番地

明治廿三年五月十七日

大森村長川北潁殿

右印鑑相違無之候也

明治廿三年五月十七日

邇摩郡大森村長川北潁



上野席次郎

526

大阪市東区今橋式丁目壺番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡大森村

百三拾八番屋敷寄留

北林兼司

登記謄本下渡願

此手数料金貳拾五錢

明治廿三年五月十九日

登記謄本下渡願

一、大森村^地登記^所第百十七号物件之謄本入用二付謄本御下渡被下度、此段奉願候也

大阪市東区今橋式丁目壺番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡大森村

百三拾八番屋敷寄留

北林兼司

明治廿三年五月十九日

濱田治安裁^{(判)所}

佐摩出張所御中

527

石見国邇摩郡大森村

二ノ式百拾式番地

讓渡人 小割安三郎

代理 上野席次郎

地処讓渡ニ付登記願

此相当時価金四円七拾九錢

此登記料金五錢

大阪市東区今橋式丁目壺番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡大森村

百三拾八番屋敷寄留

讓受人

代理 北林兼司

明治廿三年五月十九日

*無地白紙に記載

528

委任状

拙者義登記事件ニ付石見国邇摩郡大森村ニノ百三拾七番地上野席次郎ヲ以テ部理代人ト相定メ、左ノ権限之事ヲ代理為致候事

一、拙者処有石見国邇摩郡大森村ホ三百六拾六番ノ内第一字長福寺市

街宅地四畝廿七步三合九勺、今般大阪市東区今橋式丁目壺番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎へ讓渡候ニ付濱田治安裁判所佐摩出張所へ登

記請求ニ付代印ヲ以テ出願シ本件ニ関スル一切ノ事ヲ処弁スル事

右代理委任状、依テ如件

石見国邇摩郡大森村

明治廿三年五月十九日

小割安三郎

二ノ式百拾式番地

529 御証明願

石見国邇摩郡大森村ホ三百六拾六番北内第一
字長福寺

一、市街宅地四畝廿七步三合九勺

右之地処今般大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷藤田組頭取藤田傳三郎へ讓
与候ニ付登記願出度候間、登記法第四十条ニ依り処有者タルヲ及右物件
ニ付故障無之ヲ御証明被成下度、此段奉願候也

石見国邇摩郡大森村

二ノ式百拾式番地

明治廿三年五月

大森村長川北隣殿

小割安三郎「〇」

前書之物件石見国邇摩郡大森村ニノ式百拾式番地小割安三郎ノ所有ニ相
違無之且物件ニ付故障無之候也

明治廿三年五月十七日

邇摩郡大森村長川北隣



530 地所讓渡証

石見国邇摩郡大森村ホ三百六拾六番ノ内第一
字長福寺

一、市街宅地四畝廿七步三合九勺

地価金壹円九拾壹錢六厘

右之地処拙者処有之所今般双方熟議之上無代価讓渡候所実正也、然ル上
ハ貴殿御自由ニ所持可被成候、就テハ向後該地ニ係ル税租ハ都テ貴殿ヨ
リ上納可被成候、且又右地所是迄書入質入其他之義ニ付故障ケ間敷事更
ニ無之、万一異儀申出ルモノ有之候節ハ拙者引受取捌キ毫モ貴殿へ御迷
惑筋相掛申間敷候、依テ地所讓渡証一札相渡申候処如件

石見国邇摩郡大森村

二ノ式百拾式番地

明治廿三年五月十八日

小割安三郎

大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取

藤田傳三郎殿

531

大阪市東区今橋式丁目壹番屋敷

藤田組頭取藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡大森村

百三拾八番屋敷寄留

北林兼司

登記謄本下渡願

此手数料金拾五錢五錢

明治廿三年五月十九日

登記謄本下渡願

一、大森村地処登記
第百三十六号物件之謄本入用ニ付謄本御下渡被下度、此段奉願候也

大阪市

明治廿三年五月十九日

北林兼司

浜田治安裁判所

佐摩出張所御中

532 鉱業用火薬類買入願

一、雷管參千発

右借区許可地内ノ該坑内并柑子谷永久通洞開鑿用ニ支用致度候^使ニ付、大阪府下火薬免許商ニ於テ買入之上拙者処有之火薬庫ニ貯蔵其時々支用致度候間、免許手形御下付被成下度、此段奉願候也

邇摩郡大森村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理大原順之助代

明治廿三年五月廿日

北林兼司

島根県大田警察署長警部横尾邦二郎殿

533 御届

昨廿二年一月五日付ヲ以テ当所ニテ火薬取扱人届置候処、火薬庫ヨリ出入レ人之内永井貞蔵ナル者去ル廿八日死亡候ニ付、左之通り変更候間、此段御届仕候也

一、火薬庫ヨリ出入レ人

三宅丈一郎
山中兵蔵

明治廿三年五月三十一日

大森村銀山鉱業人藤田傳三郎代理

大森分署長警部中山門殿

大原順之助代

北林兼司

534 御願

客月廿日ヲ以テ雷管參千発買入免許手形御下付願大森分署ヲ經テ差出置候処、未夕手形御下付無之、右ハ差急キ候ニ付柳原喜代作ナルモノ出頭為致候間、此者へ御下渡被成下度、此段奉願候也

明治廿三年六月三日

邇摩郡大森村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理大原順之助代

北林兼司

大田警察署長充

注

史料中、必要箇所に番号を付し若干の注を以下に列記した。なお、No付き数字は個々の文書番号を示す。また典拠した文献のうち以下のものは略記した。

「借区許可其他書類写」(上野家文書11・4)・・・「許可書類写」

「大森鉱山史 七十年社史編纂資料」一九五三年・・・「社史資料」

「創業百年史 同和鉱業株式会社」一九八五年・・・「創業百年史」

『石見銀山近代史料集 第一集』二〇一六年・・・『第一集』

(1)【宮次観一郎】初出No.254(『第一集』)。明治二十年頃、島根郡本町皆美清太郎と共に金山銅山(鰐淵鉱山)の事業主として名前がある(『わにぶちの鉱山誌』一九九五年)。

(2)【焼骨炉】銀の灰吹製錬に必要な骨灰を生産するための炉と考えられる。明治二十八(一八九五)年から翌年まで稼働した清水谷製錬所では、製錬試験に使用したと考えられるキューベル(骨灰皿)が発掘調査により大量に出土している(大田市教育委員会『史跡石見銀山遺跡総合整備事業に伴う発掘調査報告書』二〇一三年)。

(3)【坑道三ヶ所】清水谷蔵之丞坑、休谷新切坑、御崎谷蔵本坑の各旧坑道の使用願は増借区願と同日付で提出され、島根県から農商務大臣榎本武揚あてに到達され、明治二十一(一八八八)年六月一日付で許可された。願書には「運鉱之為メ必要」とあることから旧坑道の使用は本谷側からの鉱石運搬が主な目的であったことがわかる(「許可書類写」)。

(4)【増借区出願】一二万五二〇〇坪の増借区願は明治二十一(一八八八)年

四月二十八日付で提出され、同年五月七日付けで島根県知事から農商務大臣榎本武揚あてに到達され、同年六月一日付で許可された。これにより同二十年三月十五日付借第三六四九号で交付されていた仮坑区券は新たに借第四五四号仮坑区券として書き換えられた(「許可書類写」)。

(5)【免稅鑑札】明治二十一(一八八八)年度雜種税のうち荷積車は大七車、大八車が年税八〇錢、中小車が同五〇錢であった(「明治二十一年度營業稅雜種税課目課額」明治二十一年一月十一日島根県令第四号)。

(6)【大森郵便局】大森郵便局が業務を開始したのは、明治五(一八七二)年六月一日とされている(大田市『大田市誌』一九六八年)。郵便制度が始まって間もないこの頃は町の有力者が自宅を郵便取扱所として始めた例が多く、大森町でも熊谷家が同家主屋を使って業務を行っていた(同『重要文化財熊谷家住宅主屋ほか五棟保存修理工事報告書』二〇〇五年)。

(7)【第三回内国勸業博覧会】明治二十三(一八九〇)年四月一日から同年七月三十一日まで東京・上野公園を会場に開催された。

(8)【農商務省告示第一一号】「第三回内国勸業博覧会規則」(明治二十年十二月二十九日農商務省告示一一号)により開催地、期間、展覧会の構成や出品手続等が定められた。

(9)【六月一日許可増借区】前出注(4)の借区坑業増借区願(借第四五四四号)をさす。

(10)【大久保坑道】前出注(3)の旧坑道使用願では大久保坑は記載されていない。

(11)【第五十三国立銀行】明治十一(一八七八)年に設立され、翌年鹿足郡津和野町殿町七十番地で開業した。初代頭取は津和野藩の家老だった多胡真強まねつ。那賀郡浜田町、山口県三田尻に支店、美濃郡益田町に出張所を置いた(山陰中央新報社『島根大百科事典』一九八二年)。

(12)【ダイナマイト爆発事故】『山陰新聞』明治二十一(一八八八)年十二月十五日付第一一〇一号に「大森鉦山の火薬爆烈騒ぎ」の記事がある。

(13)【大森鉦山藤田組出張所】「要書録」の記述によれば、事業所名は明治二十(一八八七)年十一月から「藤田組大森鉦山所」(『第一集』No.229)、同二十一年八月から「藤田組大森鉦山事務所」(No.343)、同二十二年一月から「大森鉦山藤田組出張所」に変更されている。名称の変遷は割印の文字からもうかがえる。なお、同二十五年一月からは「大森鉦山事務所」となる(『社史資料』、『創業百年』)。

(14)【上野席次郎】初出No.40(『第一集』)。藤田組の用度掛長を経て明治三十二(一八九九)年三月から大森鉦山事務所所長心得、同四十二年十二月から大正十一(一九二二)年九月まで所長を務めた(『社史資料』)。上野家は江戸時代初め頃から代々銀山師として鉦山業に携わったほか銀山町の町役人を務めた家である。

(15)【浜田治安裁判所佐摩出張所】明治二十一(一八八八)年勅令第六四号(九月十七日告示)により全国に治安裁判所出張所を置き、登記事務・定期の裁判事務を扱うことになった。これにより佐摩出張所の管轄区域は邇摩郡及那賀郡の一部と定められ(同年十月十九日司法省令第一号)、邇摩・安濃郡役所内にあった登記所の事務を引き継いで、同年十一月五日に出張所が開庁することとなった(司法省告示第一三三号)。当初は大森町

観世音寺内に置かれた仮庁舎であったが、隣接地に新たに庁舎が建設され、同二十二年六月二十五日に移転した(「大森区裁判所の沿革」大森町文化財保存会『石見銀山』一九七四年)。新庁舎の土地・建物は全て地元から提供されており、同二十一年十二月二十七日の棟札(大森町並み交流センター所蔵)には出張処出願者惣代兼新築諸金出納係として熊谷信常、松原小兵衛、川北潁、河島基の名前があるほか、募金係に大森町組長六名の名前が記されている。同二十三年十一月一日に裁判所構成法(同年法律第六号)が施行され、同出張所は松江地方裁判所管内大森区裁判所となり、邇摩郡・邑智郡を管轄区域とした(同年法律第六二号)。庁舎は太平洋戦争後も法務局所管施設として使用されていたが、昭和五十一年(一九七六)年に大田市へ譲渡された後は大森公民館となり、現在は大森町並み交流センターとして利用され、建物の一部には大森区裁判所時代の法廷の一部が復元されている(大田市教育委員会『旧大森区裁判所修理工事報告書』一九九三年)。

(16)【廃乗馬届】この廃乗馬届に対応する自用乗馬使用届は明治二十一(一八八八)年二月二十七日付で上申されている(『第一集』No.274)。明治二十一年度の乗馬税は一頭に付き年税二円で(「明治二十一年度営業税雑種税課目課額」明治二十一年一月十一日島根県令第四号)、邇摩郡の乗馬税の納税総額は二七円であった。これは那賀郡七七円、美濃郡六九円に次ぐ額である(「明治廿一年度地方税各郡別収入額」『新修島根県史』史料編4 一九六六年)。

(17)【第三銀行】第三国立銀行は、明治五(一八七二)年の国立銀行条例に基づき設立された銀行である。当初は大阪鴻池家が許可を受けていたが設立に至らず、その後東京の両替商安田善次郎らが引き継ぐかたちで同九年に開業した。東京に本店を置き、同十から二十年にかけて、大阪、横

浜、松江、函館に順次支店を開設した。その後国立銀行営業満期前特別処分法（明治二十九年三月二十三日告示法律第一号）により株式会社を改組し、第三銀行と改称した（富士銀行『富士銀行の百年』一九八〇年、同『富士銀行百年史』一九八二年）。

(18)【**銀山神社**】佐毘売山神社。銀山町毘布山谷の入り口に所在する。永祿六（一五六三）年大内弘孝によって石見国美濃郡佐毘売山神社から勧請されたと伝わる。祭神は金山彦命で、鉾山隆盛の祈願所として銀山町住人から崇敬されてきた（大正十二年「神社明細帳」大森村役場）。なお明治二十（一八八七）年七月十六日の大森銀山開業式は佐毘売山神社境内で行われた（『第一集』注34参照）。

(19)【**大森村**】明治二十二（一八八九）年四月一日の町村制施行にあたり、佐摩村は字赤波を除いて大森村に改められた（明治二十二年三月九日島根県令第二二号）『新修島根県史』史料編5 一九六六年）。村役場の位置は同村字大森町に定められた（明治二十二年三月二十五日島根県令第二九号） 同上）。

(20)【**元佐摩外四村戸長**】町村制施行後、新町村による事務開始は七月一日を目途とし、旧戸長からの事務引き継ぎは六月十五日までに完了することとなっていた。この間、新制度移行に伴う業務を旧戸長が担っており（『新修島根県史』通史編2 一九六七年）、通常の事務も旧戸長役場が処理していたものと考えられる。

(21)【**明治村**】町村制施行により大國、天河内、馬路の三村を合併して新たに明治村が設置された。しかし合併直後から分離運動がおこり（『仁摩町誌』一九七二年）、明治二十四（一八九一）年四月一日をもって大國、天河内

を併せた大國村と馬路村に分かれた（同年四月一日島根県告示第二七号）。なお大國村役場は大國字本郷に（同年七月二日同告示第五四号）、馬路村役場は字后馬路（同年九月十日同告示第七三号）に置かれることになった。

(22)【**第三銀行松江支店**】第三国立銀行松江支店は明治十七（一八八四）年六月一日に、松江の末次本町にあった三井銀行出張所跡に開店した。主として島根県、警察署、島根・意宇・秋鹿郡の為替方として出納業務を行ったほか、大正七（一九一八）年に日本銀行松江支店が開設されるまで国庫事務を代行していた（富士銀行『富士銀行百年史』一九八二年、山陰中央新報社『島根県大百科事典』一九八二年）。なお明治年三十六年に建築された旧松江支店の建物は今も現存している（島根県教育委員会『島根県の近代化遺産（建造物）』二〇〇二年）。

(23)【**第三回内国勸業博覧会出品願**】明治二十一（一八八八）年十月二十七日島根県告示第一一一号により出品願の書式と提出期限が定められていた。

(24)【**大日本私立衛生会島根支会**】大日本私立衛生会は公衆衛生思想の普及を目的に明治十六（一八八三）年に設立された民間団体で、初代会頭はのちに日本赤十字社を創設した佐野常民であった。（一般財団法人日本公衆衛生協会の歩み）島根支会も同年に発足（『山陰新聞』明治二十二年十月十三日付第一二五〇号）し、県内での衛生思想の普及のための衛生談話会の開催や県から委託された牛痘苗種継事業の運営を行った（同三月二十七日付第一一五〇号）。

(25)【**衛生品展覧会**】大日本私立衛生会島根支会の主催により、明治二十二（一八八九）年十月十二日から十七日まで開催された。会場は松江市殿

町の島根県勸業展覽場構内の幼稚保育場二階で、当時の新聞によると六日間の会期中の入場者数は一万二千九十一人であった(『山陰新聞』明治二十二年九月十九日～十月十九日)。

(26)【田畑特別地価修正法】宅地を除き田地、畑地の地価総額が低減されることになり、これにより低減された地租は翌年分から適用されることが定められた(明治二十二年八月二十七日告示法律第二二二号)。

(27)【県訓令第一七三三号】特別地価修正にあたり、「地租改正当時ノ一町村限リ各地主一同協議ノ上地主惣代人式名以上ヲ撰定シ該取調ニ関スル一切ノヲ委任セシメ」、地主一同の委任状を提出することが県訓令により定められた(明治二十二年八月三十一日島根県訓令第一七三三号)。

(28)【白炭】吉舎炭とも呼ばれ主にナラを原料としている。銀吹製錬に使用するため、江戸後期には、代官所から領内の六村に対し吉舎炭の供給が割り当てられていた(仲野義文「銀山を支えた資材調達システム」『銀山社会の解明』二〇〇九年)。

(29)【邇摩・安濃郡長藤岡直蔵】島根県庁第一部農商課長だった藤岡は、明治二十二年(一八八九)年六月に中村秀年の後任として邇摩・安濃郡長となった(『衆議院議員候補者列伝』一八九〇年)。

(30)【島根県庁第一部】明治十九(一八八六)年の地方官官制の布告により各府県の長を知事とし、府県庁を第一部、第二部、収税部、警察本部で構成することとした(明治十九年七月二十日告示勅令第五四号)。農工商の事務は第一部の所管で、島根県庁では農商課が置かれていた(『職員録(乙)』明治二十一年三月三十一日)。

(31)【請書】「第三回内国勸業博覧会出品者心得要領」によると、出品物は一括して県庁から博覧会場に輸送されるため、請書を作成の上、出品物と一緒に第一部農商課あてに差し出すこととされていた(明治二十一年十二月二十七日島根県告示第一三八号)。

(32)【改修道路】明治十七(一八八四)年度から同二十四年度まで県内で三大道路の車馬道への改修(幅員三間)が進められた。これにより県土を縦断する国道二八号は、大森から降露坂を越える近世以来の銀山街道の路線から、水上、祖式、大家、井田、波積を経由する路線に変更・改修された(池橋達雄「山陰道」『島根県の地名』一九九五年)。

(33)【改修道路工費】三大道路改修事業の当初計画は、事業期間が明治十七年(一八八四)から五カ年、事業総額が七〇万六五四円であった。事業費には県費のほか国庫補助金を充てたが、総額の約四分の一は有志者義捐金の名目で沿道地元民の負担とされた(明治十七年度丁第一号成議書)『新修島根県史』史料編6 一九六六年)。

(34)【農商務統計表】県内の農業、工業、商業の各分野の状況を把握する目的で行われた統計調査で、集計結果は島根県内務部から『島根県農商統計表』、『島根県農工商統計表』などの名称で年度ごとに逐次刊行された。なお、No.498の表は「組合又ハ一己人ノ資本ヲ以テスル製造所」を記入する様式である(明治二十二年七月十五日島根県訓令第一四五号)。

(35)【川北潁】文久元(一八六一)年、大森中市の和泉屋七代目川北徹蔵(『第一集』注18参照)の三男として生まれる。明治二十二(一八八九)年、大森村の初代村長となる(岡田順吉『川北家と岡田家の伝承』一九九六年)。

石見銀山近代史料集 第二集

編集 島根県教育委員会（松江市殿町一番地）

大田市教育委員会（大田市大田町大田口二二一番地）

発行 島根県教育委員会

島根県教育庁文化財課世界遺産室

☎〇八五二一二一五六四二

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/sekaisan/>

発行日 平成二十九（二〇一七）年 三月十六日

印刷 株式会社 報光社

